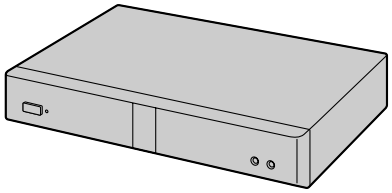
Panasonic



取扱説明書（操作編）

HD映像コミュニケーションユニット

品番 KX-VC300/KX-VC600

保証書別添付　技術基準適合認証品

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

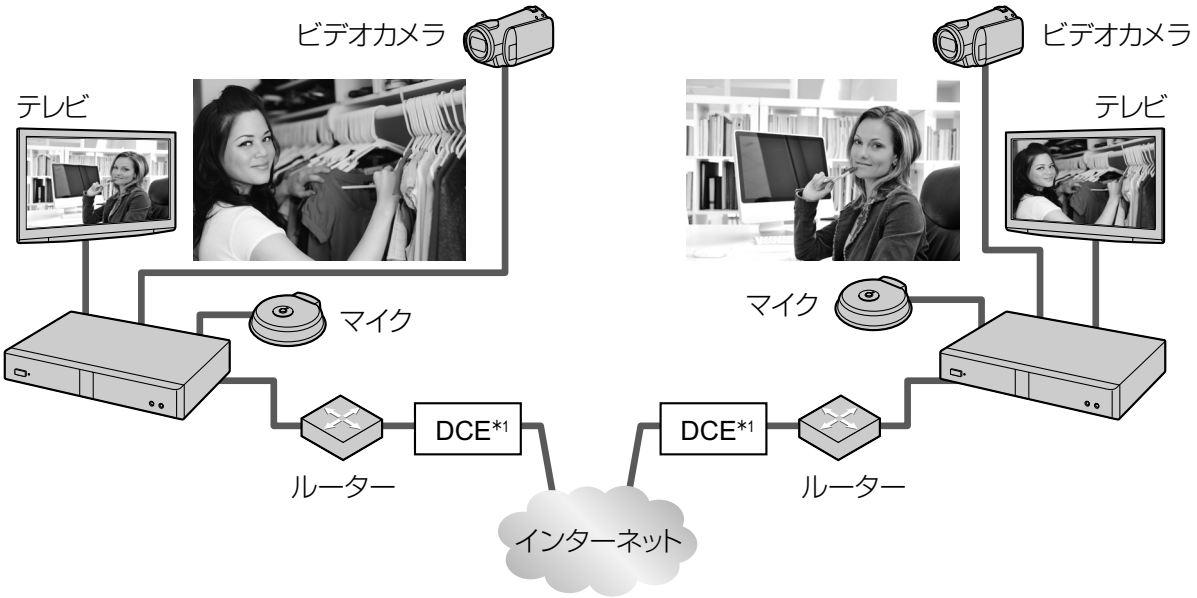
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（11～14ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

KX-VC300/KX-VC600: ソフトウェアバージョン　3.10以上

はじめに

HD映像コミュニケーションユニットの特長

イメージ図（インターネット回線使用時）



*1　DCE：回線終端装置

臨場感あふれるビジュアルコミュニケーション

なめらかな動きと高画質映像*1、クリアなステレオ*2 音声で臨場感あふれるビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

*1　KX-VC300をご使用の場合、フルHD解像度で映像を送信するには、アクティベーションキーカード（KX-VCS401）により機能を有効にする必要があります（135 ページ）。

*2　専用デジタルマイクを2台以上接続した場合、ステレオにするためには別途設定が必要です（109 ページ）。専用デジタルマイクと専用アナログマイクを同時に接続した場合など、接続の状態によっては、専用マイクの出力がモノラルになる場合があります（27 ページ、28 ページ）。

AV機器感覚のリモコン操作、シンプルでわかりやすいGUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）

AV機器感覚で操作できる付属のリモコンとシンプルでわかりやすいGUIで、操作や設定を行うことができます。

安定した通信品質

ネットワークの混み具合に応じて、自動的にパケットの送信レートを制御するなどの品質制御機能を使用し、パケット損失を抑えることで映像と音声の乱れを防ぐことができます。これにより、インターネット回線でも安定した通信品質でビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

リモコンでビデオカメラをリモート操作

リモコンで自分側のビデオカメラの向きを上下左右に動かしたり、ズームして映像を拡大・縮小することができます（63 ページ）。 操作後のビデオカメラの向きやズーム倍率を最大9パターンまで登録（プリセット登録）しておくこともできるので、登録内容を呼び出して簡単にビデオカメラの向きやズーム倍率を変更することができます（65 ページ、67 ページ）。また、お手元のリモコンから通信相手側のビデオカメラを操作することもできます。[*1]

[*1] 相手側のビデオカメラを操作するには、相手側での設定が別途必要です（114 ページ）。

コンテンツの共有

お手持ちのパソコンやビデオカメラを本体に接続することで、パソコンの画面やビデオカメラの映像をビジュアルコミュニケーション参加者間で共有することができます（79 ページ、87 ページ）。

暗号通信

パケットを暗号処理することで、パケットの漏えいによるビジュアルコミュニケーションの内容の盗聴や改ざんを防ぐことができます。[*1]

[*1] この機能はNGNモードでは利用できません。

つながるねっとサービス

「つながるねっとサービス」は簡単で、経済的なHD映像コミュニケーションユニットの通信環境を構築し、運用できるサービスです。[*1] 複雑なルーター設定が不要なため、ネットワーク管理者以外のお客様も簡単に通信環境を構築できます。また、お客様専用の番号を設定でき、従来のIPアドレスではなく専用の7桁の番号あてに発信できるため、電話をかける感覚で簡単に通信が可能です。暗号通信にも対応しており、インターネット回線でも安全に通信を行うことができます。

「つながるねっとサービス」の詳細については、以下のホームページを参照してください。
http://panasonic.biz/com/visual/tsunagaru/

[*1] ルーターの種類やお客様のインターネット回線の環境によってはご利用できない場合があります。
詳細については、販売店にお問い合わせください。

次世代ネットワーク（NGN）対応

NGNは、信頼性と安定性を備えた従来の電話網に、IPネットワークの長所を取り入れた帯域確保型の次世代通信ネットワークです。NGN回線を利用することにより、安定した音声と高画質映像でビジュアルコミュニケーションを行うことができます。この機能を使用するためにはNGNモードに設定する必要があります（122 ページ、140 ページ）。[*1]

[*1] お客様にて「フレッツ光ネクスト」、「ひかり電話オフィスタイプ」または「ひかり電話オフィスA（エース）タイプ」、「テレビ電話」のご契約が必要です。また、「電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）」のご契約を推奨します。詳細については、販売店にお問い合わせください。

SIPサーバー経由で発信

SIPサーバーを経由することで、IPアドレスだけではなくSIP-URI（SIPユーザー名@SIPドメイン名）でも通信を行うことができます。相手が自分と同じSIPドメイン名を設定していればSIPユーザー名だけでお互いに発信ができます（123 ページ）。 利用できるSIPサーバーについては、販売店にお問い合わせください。

アクティベーションキーによる機能拡張

別売のアクティベーションキーにより、本機の機能をアップグレードすることができます（95 ページ）。これにより、KX-VC300をご使用の場合は、3地点、4地点発信やフルHD解像度での映像送信、また片方向配信（片方向の映像と音声の多地点配信）を可能にすることができます。[*1] KX-VC600をご使用の場合は、片方向配信を可能にすることができます。 アクティベーションキーで有効にした機能は、システムの初期化を行った後でも有効です（135 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

[*1] 片方向配信の詳細については、販売店にお問い合わせください。

他社機接続

他社製のテレビ会議システムと接続し、2地点でのビジュアルコミュニケーションを行うことができます（52 ページ）。[*1]

[*1] 接続が可能な他社製テレビ会議システムの機種については販売店にお問い合わせください。この機能は標準モード使用時（122 ページ、140 ページ）のみ有効です。

MCU接続

MCU（多地点接続装置）に接続することで、通常は最大4拠点までの多地点通信を5拠点以上でも行うことができます（53 ページ）。[*1]

[*1] 接続が可能なMCUの機種については販売店にお問い合わせください。 この機能は標準モード使用時（122 ページ、140 ページ）のみ有効です。

商標および登録商標について

- HDMIは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- Polycom®は、Polycom, Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - **i.** 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
  - **ii.** 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- 本製品は、Polycom®によってライセンスされたG.722.1とG.722.1 Annex Cを使用しています。
- 本製品はDigia社によってライセンスされたQtライブラリを使用しています。本製品をお使いになる前に、本製品システム設定の**「使用許諾契約」**をお読みください。

オープンソースについて

この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPL、およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェアを使用しています。関連する条件はこのソフトウェアに適用されます。そのため、本製品をお使いになる前に、GPLやLGPLのライセンス情報、本製品システム設定の**「ライセンス情報」**をお読みください。 また、本製品の一部のソフトウェアは、MOZILLA PUBLIC LICENSE社（MPL）の認可を受けています。GPL、LGPL、およびMPLの条件のもとで認可されたソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。
製品販売後、少なくとも3年間、パナソニック株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL/MPL の利用許諾条件の下、実費にて、 GPL/LGPL/MPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。
上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、以下のホームページにあるお問い合わせフォームまたは巻末の電話番号へお問い合わせください。
https://sec.panasonic.biz/solution/info/

その他

画面について

本書では、画面の見かたや操作手順などの説明には、KX-VC600（標準モード使用時）（122 ページ）での表示画面を使用しています。KX-VC300では一部表示されない機能もありますが、あらかじめご了承ください。また、イラストについてもKX-VC600のイラストを使用しています。

品番の記載について

本書では、各品番の末尾の記載は、必要でない限り省略（例：KX-VCS301**J** → KX-VCS301）している場合があります。

著作権について

本製品で使用されているソフトウェアは、Radvision Ltd. のソースコードを使用しています。
Portions of this software are © 1996-2012 RADVISION Ltd. All intellectual property rights in such portions of the Software and documentation are owned by RADVISION and are protected by United States copyright laws, other applicable copyright laws and international treaty provisions. RADVISION and its suppliers retain all rights not expressly granted.

もくじ

安全上のご注意 11

ご使用にあたってのお願いとお知らせ 15

使用上のお願い 15

お客様の大切な情報を保護するために 16

プライバシー・肖像権について 16

準備 17

同梱物一覧 17

付属品／添付品について 17

各部のなまえとはたらき 19

本体（前面） 19

本体（背面） 20

リモコン 22

バウンダリーマイクロホン（別売品） 24

状態ランプ 24

スクリーンスタンバイ 25

本体を接続する 26

電源を入れる／切る 31

画面の見かた 32

ホーム画面（待受画面） 32

メニュー画面（待受画面） 34

通信中画面 35

入力について 37

通信をする 38

発信する 38

短縮ダイヤル（2地点通信／3地点通信／4地点通信）で発信する 38

アドレス帳（2地点通信／3地点通信／4地点通信）から発信する 41

宛先を直接入力して発信する 43

通信履歴から発信する 46

着信に応答する 50

他社製のテレビ会議システムと接続する 52

MCUに接続する 53

画面レイアウトを変更する 55

2地点通信中の画面レイアウトを変更する 55

3地点通信中の画面レイアウトを変更する 57

4地点通信中の画面レイアウトを変更する 60

ビデオカメラを操作する 63

ビデオカメラを操作する 63

プリセット登録をする 65
登録したプリセットを呼び出す 67
ビデオカメラの設定をする 68
音量や音質を調整する 74
音量を調整する 74
マイク音声をマイクオフする 75
マイク付近のノイズを減らす（KX-VC600のみ） 77
音質を調整する 78
コンテンツを共有する 79
パソコンの画面を共有する 79
サブビデオカメラの映像を共有する 87
接続状況などを表示する 92
接続状況を表示する 92
機器情報を表示する 93
拡張機能について 95
拡張機能を有効にする 95
アクティベーションキーについて 95
多地点発信を有効にする（KX-VC300のみ） 95
フルHD解像度での映像送信を有効にする（KX-VC300のみ） 95
設定と登録 96
アドレス帳に登録する 96
新規に登録する 96
登録内容を編集する 98
登録を削除する 99
履歴から登録する 99
システムの設定をする 101
機器名称を設定する 101
日時を設定する 102
ネットワークの設定をする 102
通信の設定をする 104
スクリーンスタンバイの設定をする 107
音の設定をする 108
マイク位置の設定をする（KX-VC600のみ） 108
リモコンの設定をする 111
言語の設定をする 113
配信の設定をする 114
ビデオカメラの設定をする 114
システムのメンテナンスをする 115
機器情報を表示する 115

拡張機能の確認を行う 115
ネットワーク接続の確認を行う 115
自己診断を行う 116
リモートメンテナンスを行う 117
ライセンス情報を表示する 117
使用許諾契約を表示する 118
管理者メニューの設定をする 119
管理者メニューにログインする 119
管理者パスワードの設定をする 119
暗号通信の設定をする 120
バージョンアップ確認の設定をする 121
接続モードを設定する 122
通信タイプの設定をする 122
SIPの設定をする 123
H.323の設定をする 125
静的NATの設定をする 126
コーデックの設定をする 129
音声入出力の設定をする 131
GUIの設定をする 131
HDMI制御の設定をする 132
データをエクスポートする 133
データをインポートする 134
拡張機能を有効にする 135
ソフトウェアを更新する 137
ビデオカメラを初期化する 138
システムの初期化を行う 139
発信元の設定をする 140
発信元を登録する 140
発信元を選択する 144
発信元情報を編集する 145
発信元情報を削除する 146
入力について 147
文字や数字を入力する 147
その他 159
リモコンの電池を交換する 159
お手入れ 160
困ったとき 161
基本動作について 161
音声について 168

機能の設定について 170
こんなメッセージが出たら 170
その他 179
仕様 180
おもなシステム仕様 180
保証とアフターサービス 182
索引 184

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

ACアダプターを分解・修理・改造はしない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- 使用を中止し、販売店へご相談ください。

ACコード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる　など）

禁　止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

電源コンセントや配線器具の定格を超える使い方やAC 100 V～240 V以外での使用はしない

禁　止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

機器内部に異物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁　止

火災・感電の原因になります。

- 異物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店へご相談ください。

電源プラグやACアダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全なまま使用すると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだ電源プラグやACアダプター、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠警告

リモコンを電子レンジに入れたり電磁調理機器などに置いたりしない

禁　止

発熱・発煙・火災・破裂の原因になります。

雷が鳴ったら本機や電源プラグ・ACアダプターに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグを抜き差しするときは、電源プラグ（金属でない部分）を持って抜く

感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグやACアダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグやACアダプターのほこりなどは定期的にとる

電源プラグやACアダプターにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグやACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

付属のACコードは、他の製品に使用しない

禁　止

火災や感電の原因になります。

電池は誤った使い方をしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **＋と－を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **＋と－を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

禁　止

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・爆発などを起こし、周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。
- 電池を廃棄する場合は、各自治体の指示（地域の条例）に従って処理してください。

電池の液がもれたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

⚠警告

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では、使用しない

禁　止

火災・感電の原因になることがあります。

水平でない場所や振動の激しい場所では、使用しない

禁　止

落下により破損・けがの原因になることがあります。

長期間使用しないときや、お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

漏電により、火災の原因になることがあります。

長期間使用しないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

専用のACコードやACアダプターを使用する

専用以外のACコードやACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

⚠注意

火気を近づけない

火気禁止

火災の原因になることがあります。

ヘッドセット使用時は、音量を上げすぎない

禁　止

耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

使用上のお願い

本機をご使用になる際は、以下のことに注意してください。

1. **設置・増設・修理は、お買い上げの販売店へご相談ください。**

2. **機器に、強い衝撃や振動を与えないでください。**
   落としたりぶつけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります。

3. **冷凍倉庫など特に温度の下がる場所に置かないでください。**
   故障や動作不良の原因になります。

4. **ラジオ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから約2 m以上離してお使いください。**
   機器からのノイズにより雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因になります。

5. **直射日光、暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください。**
   機器表面や部分が変形・劣化するほか、故障の原因になります。

6. **硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください。**
   故障や機器の寿命が短くなる原因になります。

7. **殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などに長時間付着させたままにしないでください。**
   変質したり、塗料がはげる原因になります。

8. **キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気カード類をマイクに近づけないでください。**
   カード類が使えなくなることがあります。

9. **電磁波発生源や磁気を帯びたもの（高周波ミシン・電気溶接機・磁石など）に近づけないでください。**
   雑音の発生や故障の原因になります。

10. **周囲の壁面から10 cm以上離してお使いください。**
    壁面に密着させると、機器の放熱効果が悪くなり、動作異常を起こす可能性があります。

11. **湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることは避けてください。**
    本機および電源プラグは防水仕様にはなっておりません。

12. **電源プラグは抜き差しが容易にできる近くの電源コンセントに接続してください。**

使用環境について

本機には、使用環境に合わせて、自動的に相手の声を聞き取りやすく調整する機能があります。通信開始直後は、本機が使用環境に適応できていない場合があり、音が途切れたり、エコー（自分の声がスピーカーから聞こえる現象）が発生することがあります。そのため、通信開始直後は、相手と交互にお話ください。

移動について

コード類を接続した状態で移動しないでください。コード類の破損の原因になります。

その他

- この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

  VCCI-A

- この製品は、高調波電流規格　JIS C 61000-3-2適合品です。
- 停電すると、本機は使えません。

お客様の大切な情報を保護するために

お客様固有の情報の流出による、不測の損害を回避するため、下記事項をお守りください。
本機の不正使用による損害に対し、当社は責任を負いかねます。

情報の損失を防ぐために

登録したアドレス帳および設定した暗号鍵の内容は、メモなどに控えるようにしてください。

情報の流出を防ぐために

- 不特定多数の人が出入りするような場所に、本機を放置しないようにしてください。
- 重要な情報を保存する場合は、本機を適切な場所で管理するようにしてください。
- 重要な個人情報は、本機に登録しないようにしてください。
- 下記のような場合は、アドレス帳および設定した暗号鍵の内容など、必要な利用者情報はメモなどに控え、本機をお買い上げ時の状態に初期化してください（139 ページ）。
  - 本機を譲渡・廃棄する場合
  - 本機を貸し出す場合
  - 本機を修理に出す場合
- 本機を修理に出す場合は、お買い上げの販売店へ依頼するようにしてください。

本製品は、お客様固有のデータ（アドレス帳、暗号鍵、発着信履歴など）を登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出などの不測の損害などを回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを必ず消去してください（139 ページ）。

ネットワーク上での情報の漏えいを防ぐために

- 重要な会議に使用する場合は、盗聴対策のとられているネットワーク上で本機を使用してください。
- 本機は、適切に管理されたLAN上で使用し、不正アクセスが行われないようにしてください。
- 本機と接続するパソコンのセキュリティーは、常に最新の状態にしてください。

プライバシー・肖像権について

本機の設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾われる音声に対するプライバシーを含む）、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

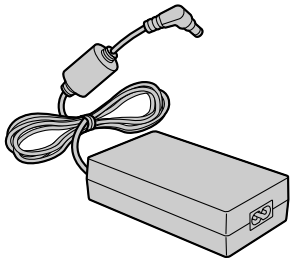
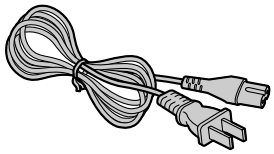
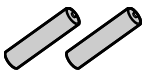
- 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。
- 自動応答機能をオンにすると、相手先からの着信と同時に通信が始まります。着信側は、予定外の時刻や予定外の相手先からの着信においても同様に通信が開始されます。 自動応答機能をオンにする場合は、予期せぬ自動着信によりプライバシー・肖像権の侵害、機密情報の漏えいの恐れがありますのでご注意ください。

同梱物一覧

付属品／添付品について

次のものが付属／添付されていますのでご確認ください。

付属品

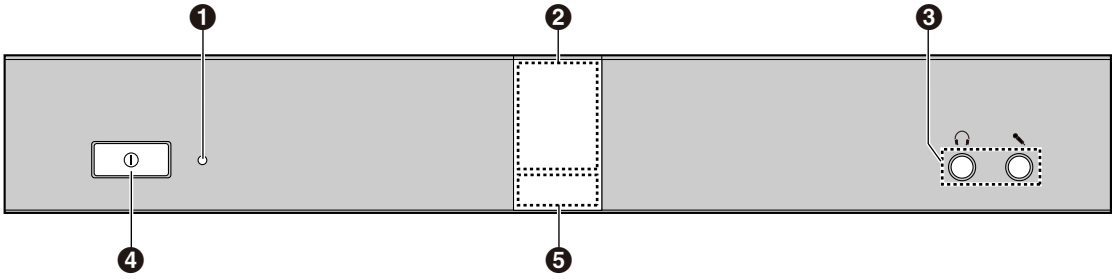
ACアダプター （極性統一形プラグ） （数量：1）	ACコード （数量：1）
 品番：PNLV6506	
リモコン （数量：1）	電池（単3形マンガン乾電池） （数量：2）
 品番：N2QAYB000675	

添付品

安全上のご注意とお知らせ（数量：1）	かんたんガイド（数量：1）	保証書（数量：1）

各部のなまえとはたらき

本体（前面）



❶ **電源ランプ**

電源の状態を表示します。電源が入っているときは緑色に点灯し、入っていないときは消灯しています。

❷ **リモコン受信部**

リモコンからの信号を受信します。最大受信範囲は本体正面で約8 m、左右それぞれ約20°の位置で約3 mです。

❸ **ヘッドセット入出力端子**

ヘッドセットを接続するときに使用します（29 ページ）。

お知らせ

- ヘッドセットを接続した場合、相手側の音声はヘッドセットから聞こえます。テレビやスピーカーからは聞こえません。
- ヘッドセットを接続した場合、相手側に送る音声は、同時に接続している機器によって次のとおり異なります。

同時に接続している機器	相手に送る音声
専用マイク	ヘッドセットのマイクのみ音声を拾います。専用マイクは音声を拾いません。
汎用マイク	汎用マイクとヘッドセットのマイクが同時に音声を拾います。
専用マイクと汎用マイク	汎用マイクとヘッドセットのマイクが同時に音声を拾います。専用マイクは音声を拾いません。

❹ **電源ボタン**

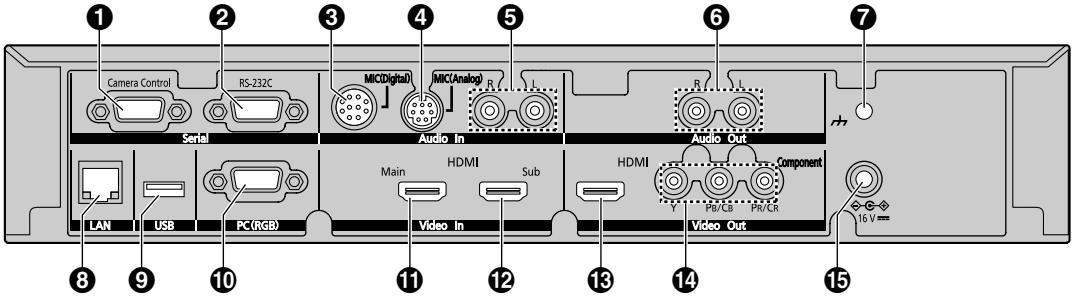
電源の「入／切」を行います（31 ページ）。

❺ **状態ランプ**

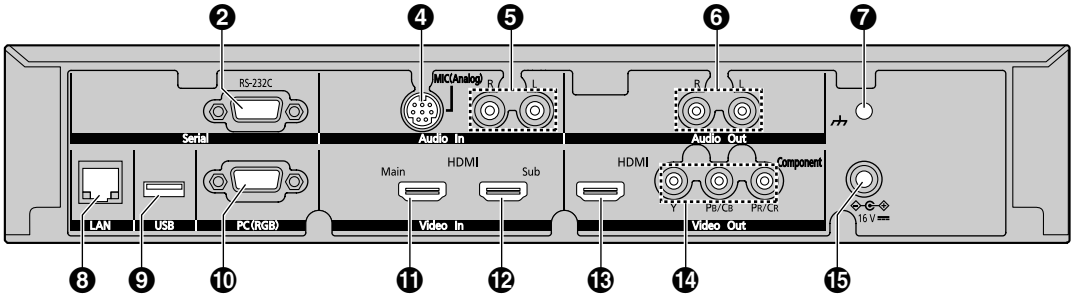
本体の状態を表示します（24 ページ）。

本体（背面）

KX-VC600



KX-VC300



❶ **Camera Control端子（カメラ制御端子）（KX-VC600のみ）**
使用しません。

❷ **RS-232C端子**
使用しません。

❸ **MIC (Digital)端子（専用デジタルマイク端子）（KX-VC600のみ）（26 ページ）**
専用デジタルマイク（別売品）（24 ページ）を接続するときに使用します。

❹ **MIC (Analog)端子（専用アナログマイク端子）（26 ページ）**
専用アナログマイク（別売品）（24 ページ）を接続するときに使用します。

❺ **Audio In L/R端子 （音声入力端子）（26 ページ）**
専用マイク以外の汎用マイクをライン入力で接続するときに使用します。

❻ **Audio Out L/R端子 （音声出力端子）**
アンプ・アクティブスピーカーを接続するときに使用します（30 ページ）。またはHDMI端子を持たないテレビのスピーカーを使用して音声を出力するときに使用します（30 ページ）。

❼ **機能アース端子**
ノイズが多い場合、アース（接地）を取り付けるときに使用します。

❽ **LANジャック（27 ページ）**
LANケーブルを接続します。

❾ **USB端子（133 ページ、137 ページ）**
動作ログを保存したり、ソフトウェアを更新したりするためのUSBメモリーを接続するときに使用します。

⑩ RGB端子（PC端子）（79 ページ）
コンテンツを共有するためのパソコンを接続するときに使用します。

⑪ Main端子 （メインカメラ端子）（26 ページ）
ビデオカメラ（メインビデオカメラ）をHDMIケーブルで接続します。

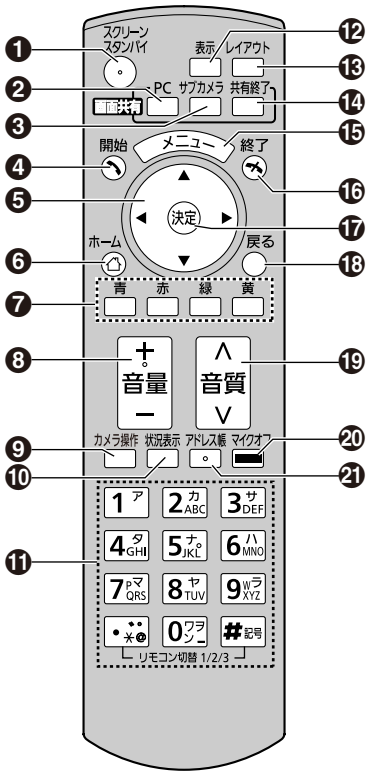
⑫ Sub端子 （サブカメラ端子）（87 ページ）
メインビデオカメラとは別に、コンテンツを共有するためのビデオカメラ（サブビデオカメラ）をHDMIケーブルで接続するときに使用します。

⑬ HDMI端子（テレビ端子）（26 ページ）
テレビをHDMIケーブルで接続するときに使用します。

⑭ Component端子（映像出力端子）（30 ページ）
テレビをコンポーネントケーブルで接続するときに使用します。

⑮ DC IN端子（27 ページ）
専用ACアダプターのDCコードを接続します。

リモコン



❶ 画面への映像出力を停止するときに使用します。（25 ページ）

❷ 通信中に通信相手とパソコンの画面を共有するときに使用します。非通信中に使用した場合は、自分の画面にのみパソコンの画面が表示されます。（80 ページ）

❸ 通信中に通信相手とサブビデオカメラの映像を共有するときに使用します。非通信中に使用した場合は、自分の画面にのみサブビデオカメラの映像が表示されます。（88 ページ）

❹ 発信をするときや、手動で着信に応答するときに使用します。（39 ページ、50 ページ）

❺ カーソルを移動したり、項目を選ぶときに使用します。

❻ ホーム画面を表示するときに使用します。（39 ページ）

❼ それぞれのボタンに割り当てられた機能を実行するときに使用します。実行可能な機能はガイドエリアに表示されます。（33 ページ）

❽ 通信中に音量を調整するときに使用します。【+】を押すと大きくなり、【−】を押すと小さくなります。（74 ページ）

❾ 自分側または相手側のPTZ（パン：左右移動、チルト：上下移動、ズーム：拡大・縮小）カメラ／固定カメラを操作するときに使用します。（63 ページ）

❿ ネットワークや周辺機器の接続状況を表示するときに使用します。（92 ページ）

⓫ 文字や数字を入力するときに使用します。（147 ページ）

⓬ ホーム画面や通信中画面のガイドエリアを表示／非表示するときに使用します。（33 ページ、36 ページ）

⓭ 通信中に画面レイアウトを変更するときに使用します。（55 ページ）

⓮ コンテンツ共有時にパソコンの画面やサブビデオカメラの映像をメインビデオカメラの映像に切り替えるときに使用します。（85 ページ、90 ページ）

⓯ メニュー画面を表示するときに使用します。（34 ページ）

⓰ 通信を終了するときに使用します。

⓱ 選んだ項目や入力した内容を決定するときに使用します。

⓲ ひとつ前の画面に戻るときに使用します。

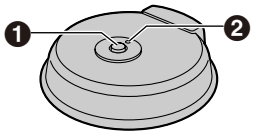
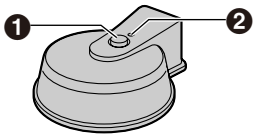
⓳ 通信中に音質を調整するときに使用します。（78 ページ）

⓴ 通信中に自分の声を相手に聞こえないようにするときに使用します。（75 ページ）

㉑ アドレス帳画面を表示するときに使用します。次の画面を表示中にのみ操作が可能です。

- ホーム画面
- メニュー画面
- パソコン画面／サブビデオカメラ映像（非通信中）

バウンダリーマイクロホン（別売品）

バウンダリーマイクロホン （デジタルインターフェイスタイプ） （専用ケーブル同梱 ケーブル長：約8.5 m）	バウンダリーマイクロホン （アナログインターフェイスタイプ） （専用ケーブル同梱 ケーブル長：約7 m）
	
品番：KX-VCA001	品番：KX-VCA002

❶ **マイクオフボタン**
通信中に自分の声を相手に聞こえないようにするときに使用します（75 ページ）。

❷ **ランプ**
バウンダリーマイクロホンの状態を表示します。
赤色（点灯）：マイクオフ中
緑色（点灯）：通信中
オレンジ（約1秒間点滅）：起動中
消灯：非通信中、ヘッドセット接続中などのマイク無効時

お知らせ

- 本書ではバウンダリーマイクロホンを「専用マイク」と記載しています。また、バウンダリーマイクロホン（デジタルインターフェイスタイプ）を「専用デジタルマイク」、バウンダリーマイクロホン（アナログインターフェイスタイプ）を「専用アナログマイク」と記載しています。
- 専用デジタルマイクは4台までカスケード接続できます。
- 専用アナログマイクはカスケード接続できません。
- ご注文は、お買い上げの販売店へご相談ください。

状態ランプ

ランプ表示で本体の状態を確認することができます。

ランプ	本体の状態
水色（点灯）	• 起動中
青色（ゆっくり点滅）	• 待受状態
青色（点灯）	• 通信中（発信中、着信中、切断中を含む）
橙色（点灯）	• 自己診断中
橙色（点滅）	• 本体とテレビの動作周波数[*1]の不一致 （30秒間点滅した後、本機はセーフモードで再起動します。）
赤色（点灯）	• 障害発生中 • 保守メンテナンス中

ランプ	本体の状態
赤色（点滅）	• 重大な障害発生中
消灯	• 電源「切」状態 • スクリーンスタンバイ状態

*1 テレビやビデオカメラなどの機器は、それぞれの映像形式に基づいた動作周波数で動作します。動作周波数の詳細については、販売店にお問い合わせください。

スクリーンスタンバイ

通信していない状態でリモコンの操作を約10分間（デフォルト）行わなかった場合、またはリモコンの**【スクリーンスタンバイ】**を押すと、スクリーンスタンバイ状態になります。スクリーンスタンバイ状態になるとテレビへの映像の出力が停止され、状態ランプが消灯します。
リモコンの操作を行ったり、着信があると、スクリーンスタンバイ状態は解除されます。

お願い

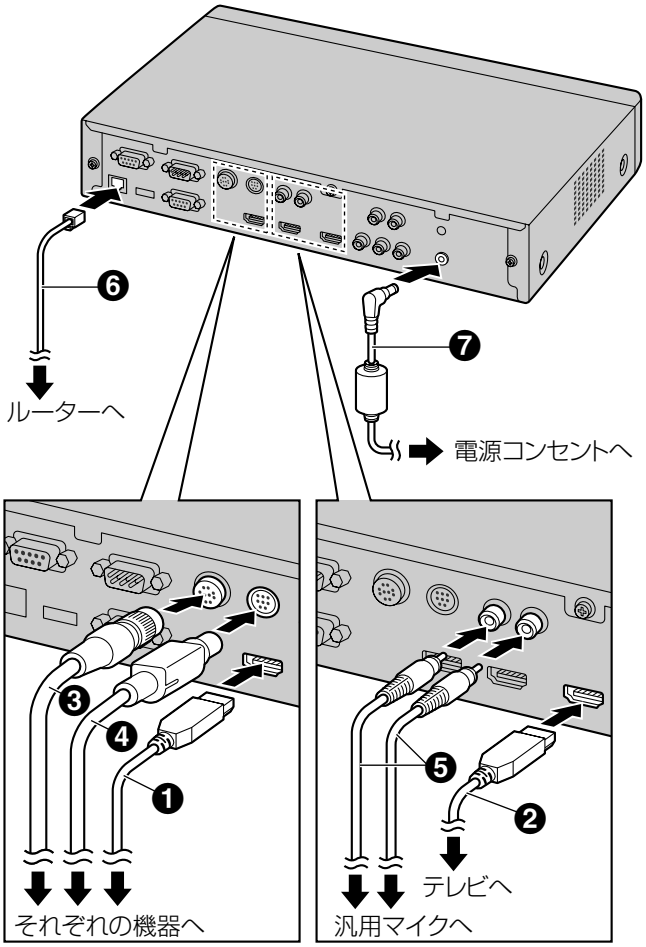
- 本機でスクリーンスタンバイ状態を解除しても、映像が映らないときは、テレビやビデオカメラの省電力機能を解除してください。解除のしかたは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- スクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を変更することができます（107 ページ）。
- リモコンの操作をある一定期間行わなくても、パソコン画面またはサブビデオカメラの映像を自分のテレビに表示している間は、スクリーンスタンバイ状態に移行しません。
- リモコンの操作を行ってスクリーンスタンバイ状態を解除した場合は、常にホーム画面が表示されます。
- スクリーンスタンバイ状態のとき、リモコンの操作を行ってもスクリーンスタンバイ状態が解除されるだけで、操作したボタンの機能は実行されません。
- アドレス帳登録画面などの編集作業中にスクリーンスタンバイ状態へ移行した場合は、保存していない変更は破棄されます。
- スクリーンスタンバイ状態を解除して、映像が映るまでに、約7秒かかります。
（かかる時間はお使いのテレビの種類により異なります。）

本体を接続する

ここではメインビデオカメラ、テレビ、マイク、LANケーブル、ACアダプター、ACコードの接続のしかたを説明します。



お願い

- 必ず付属のACコードを使用してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

1 メインビデオカメラを接続する

- HDMI ケーブル（❶）でメインビデオカメラと本体背面のMain端子をつないでください。

2 テレビを接続する

- HDMI ケーブル（❷）でテレビと本体背面のHDMI端子をつないでください。

お知らせ

- パナソニック（株）製テレビの場合は、次の確認をしてください。
  - 業務用PDPの設定例：
    「画面位置／サイズメニュー」で水平・垂直位置／サイズを調整してください。
    音声の調整、音量オートおよびサラウンドをオフに設定してください。
  - 民生用テレビの設定例：
    「設定する」の「画面の設定」の「HD表示領域」を「フルサイズ」に設定してください。

- 接続するテレビがHDMIに対応していない場合は、コンポーネントケーブルをお使いください（30 ページ）。コンポーネントケーブル使用時は、音声信号は伝送されませんので、アンプ／アクティブスピーカーを接続するか（30 ページ）、テレビのスピーカーを使用してください（30 ページ）。

3 マイクを接続する

専用デジタルマイク（別売品）（KX-VC600のみ）

専用ケーブル（❸）で専用デジタルマイクと本体背面のMIC (Digital)端子をつないでください。

- 必ず専用デジタルマイクに付属のケーブルを使用してください。
- 専用ケーブルのコネクター部をカチッと音がなるまで押して回してください。接続できない場合は、コネクター部の上下を反転させて、再度実施ください。

専用アナログマイク（別売品）

専用ケーブル（❹）で専用アナログマイクと本体背面のMIC (Analog)端子をつないでください。

- 必ず専用アナログマイクに付属のケーブルを使用してください。
- 専用ケーブルコネクター部の矢印の部分を上に向けて差し込んでください。専用ケーブルを抜くときは、コネクター部をしっかりと持って引き抜いてください。

汎用マイク

マイクアンプなどでラインレベルまで信号レベルを増幅してから、ステレオピンプラグケーブル

（❺）で汎用マイクと本体背面のAudio In L/R端子をつないでください。

- 左チャンネル（L）、右チャンネル（R）を確認して、接続してください。

お知らせ

- 専用マイクと汎用マイクをともに接続した場合は、両方のマイクからの音声入力が有効です。
- ヘッドセットを接続する場合は29 ページを参照してください。

4 ネットワークに接続する

- カテゴリー5以上のLANケーブル（❻）でルーターと本体背面のLANジャックをつないでください。

お知らせ

- ハブ、ルーターの設定はオートネゴシエーションに設定してください。
- 全二重（100M Full）固定で運用の場合はシステム設定を変更してください。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 半二重に設定されたハブ、ルーターに接続しないでください。
- ルーターおよびDCE（回線終端装置）の詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

5 専用ACアダプターとACコードを接続する

- 必ず本体に付属のACコードを使用してください。

6 専用ACアダプターのDCコード（❼）を本体背面のDC IN端子に差し込む

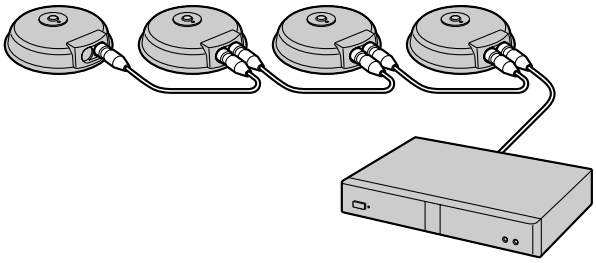
- 必ず本体に付属の専用ACアダプターを使用してください。

7 電源プラグを電源コンセントに差し込む

- 電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くの電源コンセントに接続してください。

専用デジタルマイクについて（KX-VC600のみ）

専用デジタルマイクは4台までカスケード接続できます。マイク側の端子に入力／出力の区別はありません。また、専用アナログマイク、汎用マイクと同時に使えます。



お知らせ

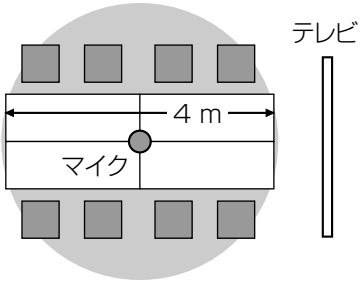
- マイクは、テレビ、スピーカーから1 m以上離して設置してください。
- 専用デジタルマイクを5台以上接続しないでください。接続すると専用デジタルマイクからの音声入力がすべて機能しなくなります。また、専用アナログマイクを同時に接続している場合、専用アナログマイクからの音声入力もすべて機能しなくなります。
- 次の条件をすべて満たす場合、相手側に送る音声はステレオになります。それ以外の場合はモノラルになります。
  - HD映像コミュニケーションユニットとSIPでの２地点通信中で、帯域が約1.8 Mbps以上の場合
  - ステレオで集音するように、マイク位置を自動または手動で設定した場合（108 ページ、109 ページ）
- ヘッドセットを接続した場合、ヘッドセットのマイク音声が優先され、専用デジタルマイクは音声を拾わなくなります。

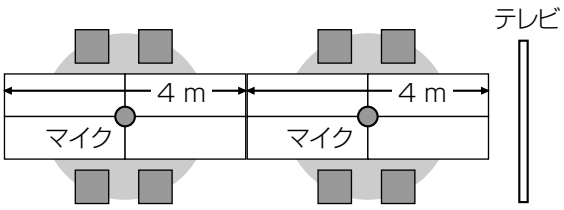
使用する会議室の騒音レベルとマイクの数によって、マイク1台あたりの集音範囲（マイクを中心とした半径）は異なります。次の表を参考にマイクを配置してください。

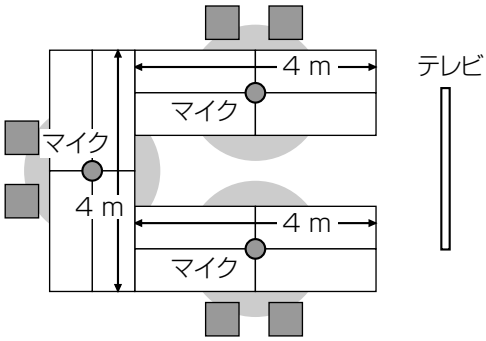
騒音レベル／マイク	静かな会議室（40 dBsplA）	通常の会議室（45 dBsplA）	騒がしい会議室（50 dBsplA）
1台	約3 m	約2.2 m	約1.2 m

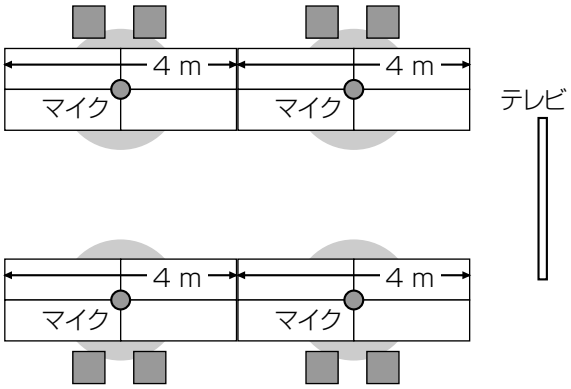
騒音レベル／マイク	静かな会議室（40 dBsplA）	通常の会議室（45 dBsplA）	騒がしい会議室（50 dBsplA）
2台	約2.8 m	約1.5 m	約1 m
3台	約2.3 m	約1.3 m	—
4台	約2 m	約1.1 m	—

レイアウト例（通常の会議室）
（グレーの円が集音範囲を示しています。）：



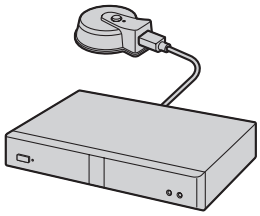






専用アナログマイクについて

1台の専用アナログマイクを接続できます。
また、専用デジタルマイク、汎用マイクと同時に使えます。



お知らせ

- マイクは、テレビ、スピーカーから1 m以上離して設置してください。
- マイクのコネクターを必ずテレビ側に向けて設置してください。
- 次の条件をすべて満たす場合、相手側に送る音声はステレオになります。それ以外の場合はモノラルになります。

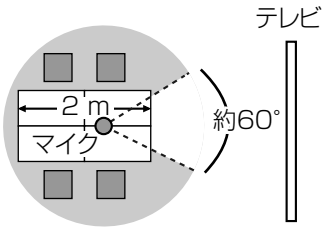
– HD映像コミュニケーションユニットとSIPでの2地点通信中で、帯域が約1.8 Mbps以上の場合
– 専用デジタルマイクと同時に接続しない場合

- ヘッドセットを接続した場合、ヘッドセットのマイク音声が優先され、専用アナログマイクは音声を拾わなくなります。

使用する会議室の騒音レベルによって、マイクの集音範囲（マイクを中心とした半径）は異なります。次の表を参考にマイクを配置してください。

騒音レベル／マイク	静かな会議室（40 dBsplA）	通常の会議室（45 dBsplA）	騒がしい会議室（50 dBsplA）
1台	約2 m	約1.5 m	約1 m

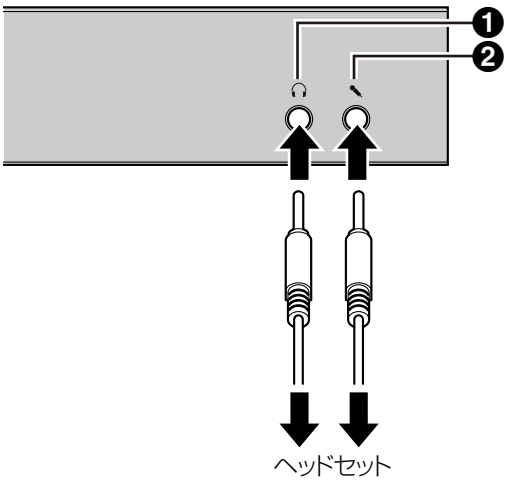
レイアウト例（通常の会議室）
（グレーの部分が集音範囲を示しています。）：



コネクター側の約60°が集音範囲外になります。

ヘッドセットについて

本体前面のヘッドセット入出力端子に、ヘッドセットを接続します。

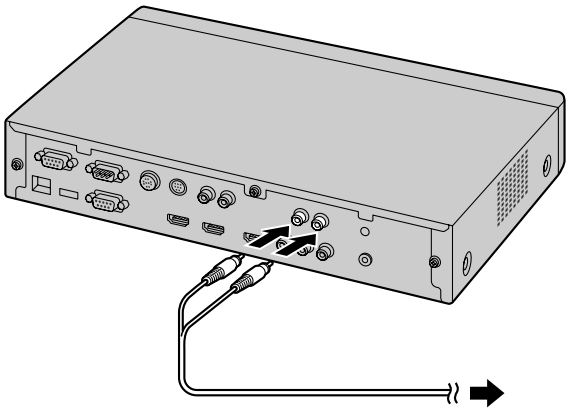


お知らせ

- ヘッドホンコネクター（❶）、マイクコネクター（❷）を確認して、接続してください。
- 専用マイクとヘッドセットを同時に接続した場合、ヘッドセットのマイク音声が優先され、専用マイクは音声を拾わなくなります。
- 汎用マイクとヘッドセットを同時に接続した場合、両方のマイクが音声を拾います。
- ヘッドセットを接続した場合、テレビやスピーカーからの音声は聞こえません。

アンプ／アクティブスピーカーの接続

ここではアンプ／アクティブスピーカーの接続のしかたを説明します。

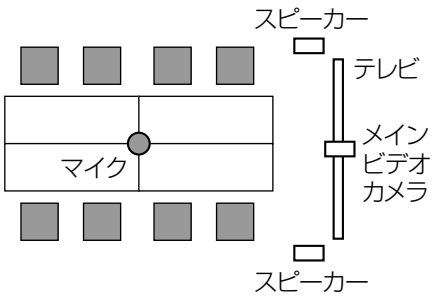


1 ステレオピンプラグケーブルでアンプ／アクティブスピーカーと本体背面のAudio Out L/R端子をつないでください。

お知らせ

- 左チャンネル（L）、右チャンネル（R）を確認して、接続してください。
- アンプおよびアクティブスピーカーの詳細については、それぞれの取扱説明書を参照してください。

配置例：
以下のようにテレビの両側にスピーカーを配置してください。

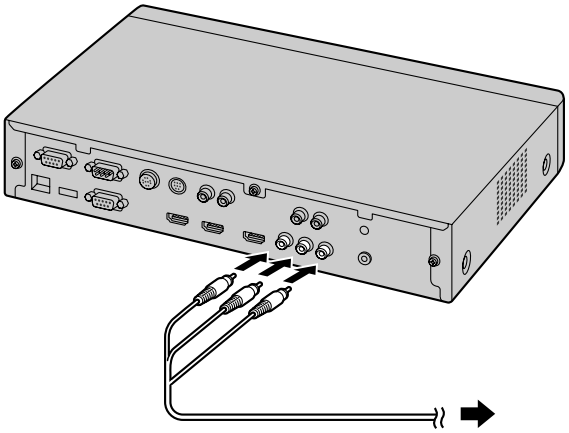


お願い

- テレビの両側にスピーカーを配置してください。会議室の前方にテレビ、後方にスピーカーを配置すると、相手に送る映像に対して音の左右が逆転するため、相手側では、音の左右が映像と一致しなくなります。

コンポーネントケーブルでのテレビの接続

テレビがHDMI端子を持たない場合は、コンポーネントケーブルで接続してください。



1 コンポーネントケーブルでテレビと本体背面のComponent端子をつないでください。

お知らせ

- テレビのスピーカーを使用して音声を出力したい場合は、ステレオピンプラグケーブルでテレビと本体背面のAudio Out L/R端子（20 ページ）をつないでください。

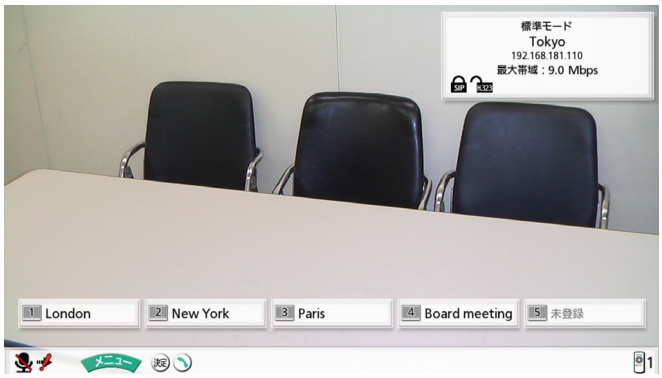
電源を入れる／切る

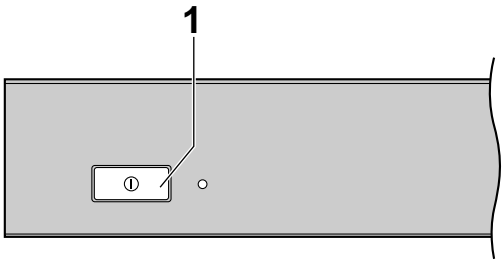
お知らせ

- 本機以外の周辺機器（例：テレビ、メインビデオカメラ）の電源が入っていることを確認してください。

1 本体前面の電源ボタンを押す

- 電源を入れると、電源ランプが点灯します。その後、状態ランプが青色にゆっくり点滅してホーム画面が表示されます。



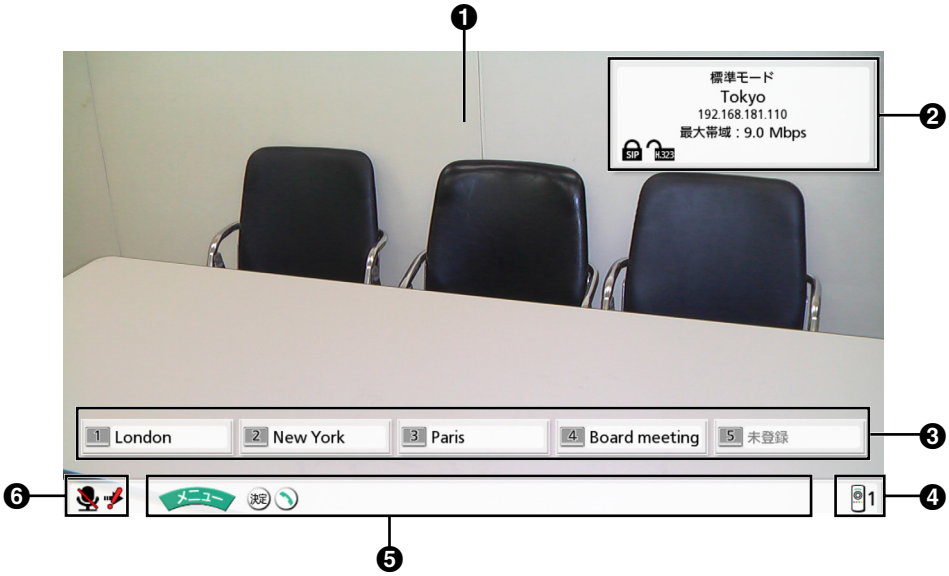


- 電源を切ると、電源ランプが消灯します。

画面の見かた

ホーム画面（待受画面）

電源を入れると表示されます。リモコンの【ホーム】を押しても表示されます。



❶ **メインビデオカメラ映像エリア**
メインビデオカメラの映像を表示します。

❷ **本体情報**
選択している接続モードによって（122 ページ）、表示される内容は異なります。

標準モード：接続モード、本体の名称、IPアドレス（SIPユーザー名［SIPサーバー使用時］／H.323内線番号、H.323名［ゲートキーパー使用時］）、最大帯域、静的NAT利用状況（静的NAT使用時）、暗号通信利用状況アイコン
NGNモード：接続モード、本体の名称、電話番号、最大帯域

お知らせ

- 発信元選択時（144 ページ）は、選択している発信元の情報を表示します。本体の名称ではなく、発信元名が表示されます。発信元の接続モードによって（140 ページ）、表示される内容は異なります。
- 発信元名、SIPユーザー名、H.323内線番号、またはH.323名が画面に収まらない場合は、末尾が"…"に置き換わります。

暗号通信利用状況アイコン

SIP／H.323使用時の暗号通信の設定状況をアイコンで表示します。
アイコンの詳細は以下のとおりです。

アイコン	設定状況
SIP	**「SIPの使用」**で**「する」**を選び、**「暗号通信（SIP）」**で**「有効」**を選んでいます。

アイコン	設定状況
	「SIPの使用」で**「する」**を選び、**「暗号通信（SIP）」**で**「無効」**を選んでいます。
	「H.323の使用」で**「する」**を選び、**「暗号通信（H.323）」**で**「有効」**を選んでいます。
	「H.323の使用」で**「する」**を選び、**「暗号通信（H.323）」**で**「無効」**を選んでいます。

❸ **会議名／拠点名**

短縮ダイヤルの1～5に登録されている会議名／拠点名を表示します。会議名／拠点名が画面に収まらない場合は、末尾が"…"に置き換わります。

❹ **リモコンID**

本体のリモコンIDを表示します（設定時のみ）（111 ページ）。

❺ **ガイドエリア**

操作可能なリモコンのボタンを表示し、操作をサポートします。

❻ **状況表示エリア**

アイコンで本体の状況を表示します。

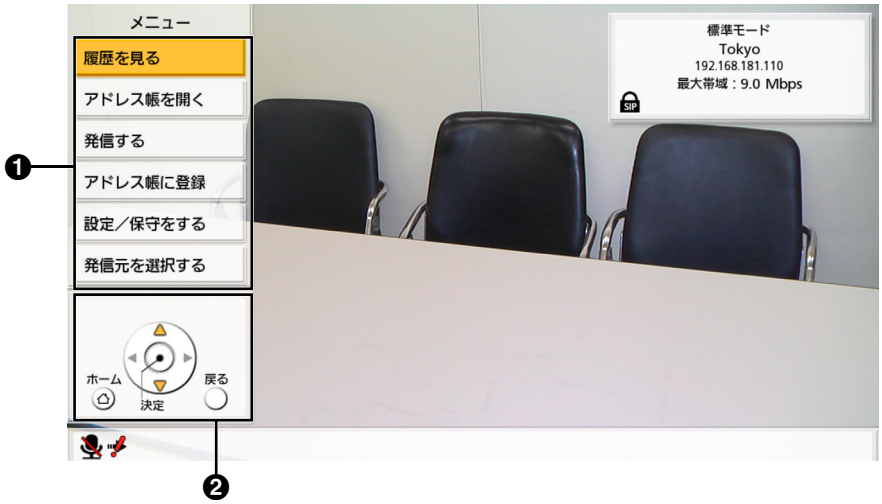
アイコン	本体の状況
	マイクオフ中 **お知らせ** • システム設定によりマイク検知設定が無効の場合（106 ページ）、専用マイク／ヘッドセットをマイクオフしてもアイコンは表示されません。
	ネットワークや各種サーバー、周辺機器の接続エラー（未接続・機器の故障など）が発生中 **お知らせ** • システム設定によりマイク検知設定が無効の場合（106 ページ）、専用マイク／ヘッドセットが未接続でもアイコンは表示されません。LANケーブルなど他の機器が未接続の場合や機器の故障で接続に不具合がある場合は、アイコンが表示されます。

お知らせ

- 管理者メニューで**「ホームのガイド表示」**を**「しない」**に設定すると、❷❸❹❺の表示を非表示にすることができます（131 ページ）。非表示にした場合でも、リモコンの**【表示】**を押すと再び表示されます。

メニュー画面（待受画面）

リモコンの【メニュー】を押すと表示されます。機能を実行したり、設定を変更するときに表示します。



❶ **メニュー一覧**

さまざまな機能を使用したり、設定を行うためのメニューが表示されます。

❷ **ガイドエリア**

機能の実行時／設定の変更時に、操作可能なリモコンのボタンを表示し、操作をサポートします。

通信中画面

❶ **相手先情報**

標準モード使用時：

- アドレス帳に登録されている場合は、相手先の会議名／拠点名を表示します。
- アドレス帳に登録されていない場合は、相手先のIPアドレス、SIP-URI（SIPユーザー名@SIPドメイン名）、ホスト名（hdvc.example.comなど）、H.323内線番号、H.323名、MCUの会議室番号@IPアドレス、またはMCUのSIPユーザー名@IPアドレスを表示します。相手が自分と同じSIPドメイン名を設定している場合は、SIP-URIではなくSIPユーザー名のみを表示します。

NGNモード使用時：

- 電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に加入しており、相手から電話番号を通知してきた場合、アドレス帳に登録されているときは、相手先の拠点名を表示します。登録されていないときは、通知してきた電話番号を表示します。
- 電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に未加入の場合や相手から電話番号を通知してこなかった場合は、**「非通知」**と表示されます。

❷ **映像エリア**

相手側や自分側の映像、コンテンツ共有時のパソコンの画面やサブビデオカメラの映像を表示します（79 ページ、87 ページ）。

❸ **サブ画面**

画面レイアウトを変更すると、自分側や相手側の映像を表示します（55 ページ、57 ページ、60 ページ）。

❹ **通信時間**

通信時間を表示します。

お知らせ

- 通信時間が100時間を越えても、99時間59分までしか表示されません。

❺ **ガイドエリア**

操作可能なリモコンのボタンを表示し、操作をサポートします。

❻ **ネットワーク状況アイコン**

ネットワークの混み具合をアンテナの数で表示します。アイコンの詳細は以下のとおりです。

アンテナ0本（ ）：ネットワークが非常に混雑している

アンテナ1本（ ）：ネットワークが混雑している

アンテナ2本（ ）：ネットワークがやや混雑している

アンテナ3本（ ）：良好

お知らせ

- アンテナの数が0～1本の状態が続く場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 多地点通信中、アイコンは相手側の映像に対してそれぞれ表示されますが、自分側の映像には表示されません。
- アイコンを表示するかどうかを設定することができます。この設定は表示中の相手側の映像すべてに反映されます（106 ページ）。例えば、アイコンを表示する設定にした場合、相手側の映像すべてにアイコンが表示されます。アイコンを非表示にする設定にした場合、相手側のどの映像にもアイコンは表示されません。
  パソコン画面との合成表示中は、設定にかかわらずアイコンは表示されません（80 ページ）。

❼ **状況表示エリア**

アイコンで本体の状況を表示します（33 ページ）。

お知らせ

- リモコンの**【表示】**を押すと、相手先情報、通信時間、ネットワーク状況アイコン[*1]、ガイドエリアを表示／非表示にできます。

[*1] ネットワーク状況アイコンを表示しない設定にしている場合は、**【表示】**を押してもアイコンを表示することはできません。

入力について

- 宛先の入力や登録で入力可能な文字は次のとおりです。
  - SIPユーザー名／H.323名／MCUの会議室番号：英数字、記号 . = * + _ - $ ~ ! ? / ' ( )（半角で最大60文字）
  - SIPドメイン名：英数字、記号 . -（半角で最大128文字）
  - H.323内線番号：数字、記号 # *（半角で最大20文字）
  - @を含まないホスト名：英数字、記号 . = * + _ - $ ~ ! ? / ' ( )（半角で最大128文字）
- 「ユーザー名@ドメイン名」形式のホスト名の場合、「ユーザー名」「ドメイン名」に入力可能な文字と文字数は「SIPユーザー名」「SIPドメイン名」と同じです。
- アドレス帳にアドレスを登録する場合、各アドレス形式で入力可能な文字に加えて、記号 @ % : が入力可能です。
- 規格に準拠した値を入力してください。詳細についてはネットワーク管理者にご相談ください。

発信する

通信を開始するには次の発信方法があります。

お知らせ

- 通信中は、**【メニュー】**を押してメニュー画面を表示させたり、**【アドレス帳】**を押してアドレス帳画面を表示させることはできません。
- 本機以外の周辺機器（例：テレビ、メインビデオカメラ）の電源が入っていることを確認してください。
- 発信後、一定時間（約60秒）内に相手から応答がなかった場合、自動的に発信を中止します。
- KX-VC300をご使用の場合、 アクティベーションキーカード（KX-VCS301）により多地点発信機能を有効にした後のみ3地点、4地点発信することができます（135 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 2地点、3地点、4地点通信は発信履歴から発信することができます。
- 着信履歴からは2地点通信のみ発信することができます。
- 通信中に通信相手を追加することはできません。
- 3地点、4地点通信中に1地点でも通信を終了すると、残りの通信者間での通信もすべて終了します。
- 応答した地点間のみで通信が開始されます。4地点通信で1地点しか応答しなかった場合は、2地点通信が開始されます。
- 帯域の設定によっては、3地点、4地点通信ができない場合があります（104 ページ、141 ページ）。
- SIPサーバーを経由したSIP-URIによる発信は、標準モード使用時で、SIPの設定が正しく行われている場合のみ可能です。
- H.323内線番号またはH.323名を使用した発信は、標準モード使用時で、ゲートキーパーの設定が正しく行われている場合のみ可能です。
- 短縮ダイヤルに登録された通信タイプ（SIPまたはH.323）が、通信タイプ設定画面で**「しない」**に設定されている場合、発信はできません。
- NGNモード使用時、他社機接続時、H.323使用時は、2地点通信のみ可能です。
- NGNモード使用時は、本機から3桁番号サービス（例：110番、119番）は利用できません。
- アドレス帳で**「多地点会議」**を**「しない」**と登録した相手先に、アドレス帳または短縮ダイヤルで発信する場合、アドレスごとに登録した最大帯域で発信を行います（96 ページ）。アドレス帳と一致する履歴から発信する場合も、アドレスごとの最大帯域で発信します。

短縮ダイヤル（2地点通信／3地点通信／4地点通信）で発信する

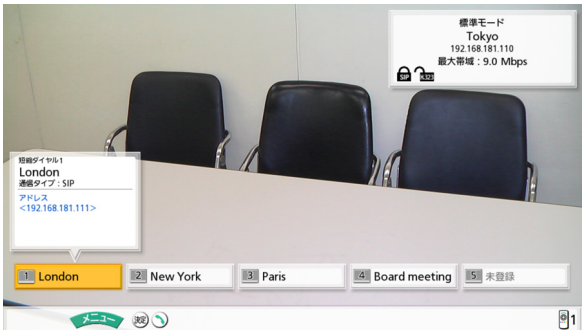
お知らせ

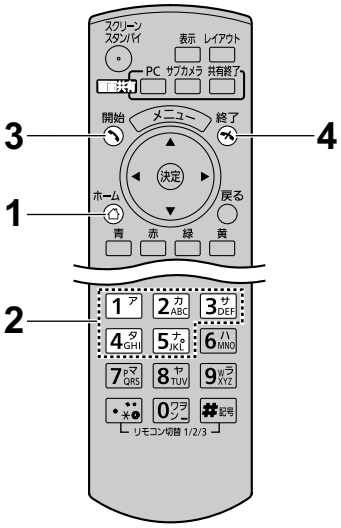
- 短縮ダイヤルで発信するには、あらかじめアドレス帳の**「短縮ダイヤル」**に番号を登録しておく必要があります（96 ページ）。

ホーム画面から発信する

1 【ホーム】を押す
- ホーム画面が表示されます。

2 短縮ダイヤル番号（1～5）を押す
- 選んだ短縮ダイヤル番号の登録先情報が表示されます。





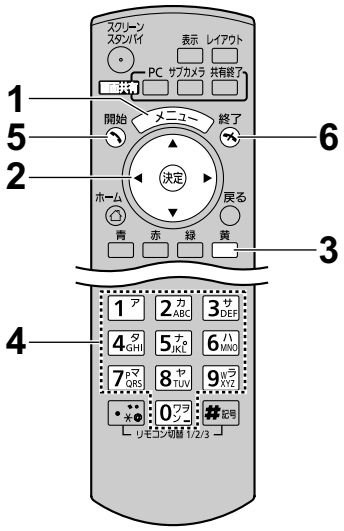
3 【開始】を押し、通信する
- 【決定】を押して、通信することもできます。

4 通信を終了するときは、【終了】を押す
- ホーム画面が表示されます。

メニュー画面から発信する

お知らせ

- メニュー画面からの発信は、最大300件の短縮ダイヤル番号（1～300）から相手を選ぶことができます。（ホーム画面からの発信は、最大5件の短縮ダイヤル番号［1～5］から相手を選びます）



1 【メニュー】を押す
   - メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「アドレス帳を開く」を選び、【決定】を押す
   - アドレス帳画面が表示されます。

   お知らせ
   - 【緑】を押すと、アドレス帳修正画面が表示され、編集できます（98 ページ）。

3 【黄】を押す
   - 短縮ダイヤル画面が表示されます。短縮ダイヤル番号順に表示されます。

4 短縮ダイヤル番号（1～300）を押す

5 【開始】を押し、通信する

6 通信を終了するときは、【終了】を押す
   - ホーム画面が表示されます。

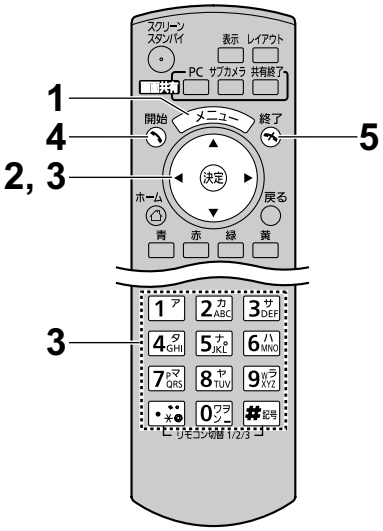
アドレス帳（2地点通信／3地点通信／4地点通信）から発信する

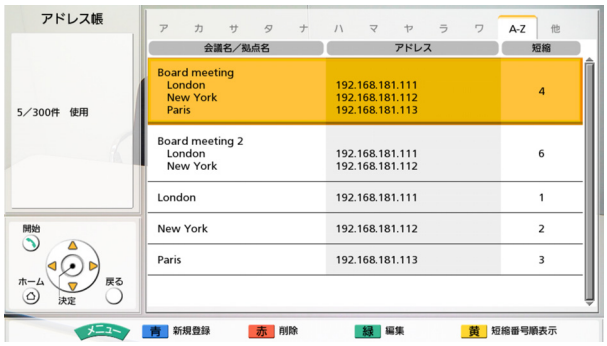
お知らせ

- アドレス帳から発信するには、あらかじめアドレス帳に相手先を登録しておく必要があります（96 ページ）。
- ネットワークの設定画面で**「IPアドレスの設定」**を**「自動」**に設定している場合（102 ページ）、DHCPサーバーを利用して自動的にIPアドレスを取得するため、相手側のアドレス帳にすでに登録されているIPアドレスから変わる可能性があります。この場合、相手側がアドレス帳のIPアドレスを選んで発信してもつながりません。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「アドレス帳を開く」**を選び、**【決定】**を押す
- アドレス帳画面が表示されます。**「会議名／拠点名」**の50音・アルファベット順に、行ごとのタブで表示されます。





お知らせ

- 次の画面を表示中に**【アドレス帳】**を押しても、同様にアドレス帳画面が表示されます。
  - ホーム画面
  - メニュー画面
  - パソコン画面／サブビデオカメラ映像（非通信中）

3 【▲】【▼】で発信したい相手を選ぶ

- 【◀】【▶】を押すと、前後のタブ（行）に切り替わります。（アドレスが登録されていないタブには切り替わりません。）
- リモコンの数字ボタンを押すと、各ボタンに割り当てられたタブ（行）に切り替わります。

数字ボタン	タブ（行）
1	ア行
2	カ行
3	サ行
4	タ行
5	ナ行
6	ハ行
7	マ行
8	ヤ行
9	ラ行
0	ワ行
＊	A-Z
#	他

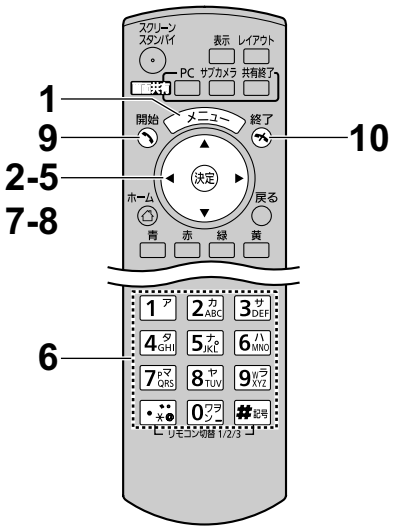
4 【開始】を押し、通信する

5 通信を終了するときは、【終了】を押す

- ホーム画面が表示されます。

宛先を直接入力して発信する

標準モード使用時は相手先のIPアドレス（またはホスト名）、SIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名、またはMCUの会議室番号@IPアドレス、NGNモード使用時は電話番号を入力して発信します。

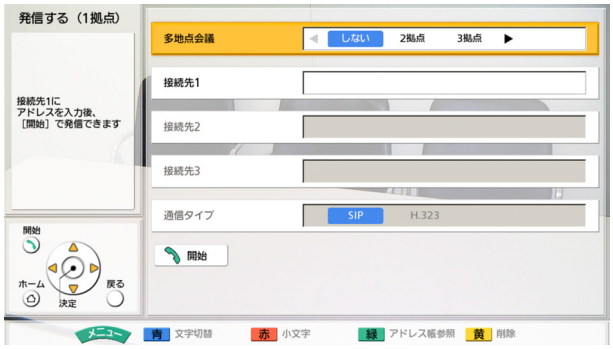


1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「発信する」を選び、【決定】を押す

- 入力画面が表示されます。



お知らせ

- 手順1、手順2の代わりにホーム画面で【開始】を押しても、入力画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「多地点会議」を選ぶ

お知らせ

- NGNモード使用時は、「多地点会議」は表示されません。手順6にすすんでください。
- KX-VC300をご使用の場合、 アクティベーションキーカード（KX-VCS301）により多地点発信機能を有効にした後のみ「多地点会議」を選ぶことができます（135 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

4 【◀】【▶】で以下のいずれかを選ぶ

2地点通信の場合：「しない」
3地点通信の場合：「2拠点」
4地点通信の場合：「3拠点」

お知らせ

- MCU接続時または他社機接続時は、3地点通信、4地点通信はできません。
- 「多地点会議」で2拠点以上を選択する場合、「通信タイプ」で「H.323」を選択できません。

5 【▲】【▼】で**「接続先1」**、**「接続先2」**、**「接続先3」**を選ぶ

6 標準モード使用時はIPアドレス（またはホスト名）、SIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名、またはMCUの会議室番号@IPアドレス、NGNモード使用時は電話番号（最大32桁）を入力する
- 入力画面が表示されます。

7 【▲】【▼】で**「通信タイプ」**を選ぶ

8 【◀】【▶】で**「SIP」**、**「H.323」**を選ぶ

9 **【開始】**を押し、通信する
- **【決定】**を押して、通信することもできます。

10 通信を終了するときは、**【終了】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 1桁または2桁の数値を含むIPアドレスを入力する場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001
- SIP-URI（SIPユーザー名@SIPドメイン名）を入力して発信するには、**「SIPサーバーの使用」**を**「する」**に設定し、**「SIPサーバーアドレス」**、**「SIPユーザー名」**、**「SIPドメイン名」**を設定する必要があります。必要に応じて**「ダイジェスト認証」**、**「認証用ID」**、**「認証用パスワード」**の設定も行ってください（123 ページ）。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 自分と同じSIPドメインへ発信する場合は、SIPユーザー名のみの入力で発信できます。自分と異なるSIPドメインへ発信する場合は、SIPユーザー名に加えてSIPドメイン名の入力が必要です。SIPドメイン名を入力しなかった場合は、自分のSIPドメイン名が自動的に付与されて発信します。誤った相手に発信する可能性がありますのでご注意ください。
- 宛先の入力で入力可能な文字は37 ページを参照してください。
- MCUの会議室番号@IPアドレスを入力して発信するには、**「SIPサーバーの使用」**および**「ゲートキーパーの使用」**を**「しない」**に設定する必要があります（123 ページ、125 ページ）。
- 3.00より古いソフトウェアバージョン（3.00は含みません）を使用している相手に発信する場合、H.323は使用できません。通信タイプ設定画面で**「SIPの使用」**を**「する」**に設定する必要があります（123 ページ）。

- NGNモード使用時は、3桁の電話番号を入力することはできません。
- 次の手順で、アドレス帳から宛先を選んで入力することができます。（通信履歴から宛先を入力することはできません。）

  標準モード使用時：IPアドレス（またはホスト名）／SIP-URI（またはSIPユーザー名）／H.323内線番号／H.323名／MCUの会議室番号@IPアドレス
  NGNモード使用時：電話番号

  1. **【緑】**を押す
  - アドレス帳画面が表示されます。

  2. **【▲】【▼】**で相手を選ぶ
  - **【◀】【▶】**、または数字ボタンを押すと、**「ア」**～**「ワ」**、**「A-Z」**、**「他」**から表示するタブ（行）が選べます（42 ページ）。

  3. **【決定】**を押す

- H.323を使用する場合、宛先としてIPアドレス（またはホスト名）%H.323内線番号（またはH.323名）を入力して発信することができます。

通信履歴から発信する

通信履歴から相手に発信することができます。通信履歴は発信履歴と着信履歴に分かれます。発信履歴と着信履歴には、発着信の履歴が新しい順に30件まで記憶されています。拠点名またはアドレス情報[*1]、日時、通信時間、通信結果、通信タイプなどの情報が発信履歴、着信履歴にそれぞれ表示されます。通信履歴に拠点名で表示されている相手のアドレスをアドレス帳から削除または編集した場合、通信履歴の表示は拠点名ではなくアドレス情報になります。

[*1] アドレス情報は次のとおりです。
IPアドレス／ホスト名／SIP-URI／H.323内線番号／H.323名／MCUの会議室番号@IPアドレス／MCUのSIPユーザー名@IPアドレス／電話番号[*2]

[*2] NGNモード使用時は、電話番号が表示されます。

お知らせ

- 相手が自分と同じSIPドメイン名を設定している場合、通信履歴には、SIP-URI（SIPユーザー名@SIPドメイン名）ではなくSIPユーザー名のみが表示されます。

発信履歴：

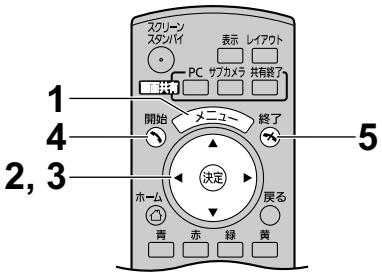
- 標準モード使用時は、発信履歴から2地点、3地点、4地点通信を発信することができます。
- NGNモード使用時、H.323使用時、または他社機接続時は、発信履歴からは2地点通信のみ発信することができます。
- アドレス帳から発信した場合、拠点名が表示されます。IPアドレス（またはホスト名）／SIP-URI／H.323内線番号／H.323名／MCUの会議室番号@IPアドレス／電話番号を直接入力して発信した場合（43 ページ）、拠点名ではなく入力した宛先が表示されます。（入力した宛先がアドレス帳に登録されている場合でも、直接入力した宛先が表示されます。）
- 続けて同じ相手に発信した場合は、最新の履歴のみ発信履歴に記憶されます。

着信履歴：

- 2地点通信のみ着信履歴から発信することができます。
- かけてきた相手のIPアドレス／SIP-URI／H.323内線番号／H.323名／MCUの会議室番号@IPアドレスがアドレス帳に登録されている場合、拠点名が表示されます。登録されていない場合は、IPアドレス（またはホスト名）／SIP-URI／H.323内線番号／H.323名／MCUの会議室番号@IPアドレス／MCUのSIPユーザー名@IPアドレスが表示されます。
- MCUの機種によっては、会議室番号@IPアドレスではなく、MCUのSIPユーザー名@IPアドレスで着信する場合があります。この着信履歴から発信しても、MCUの会議室に直接入ることはできません。
- NGNモード使用時は、電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に加入している場合、かけてきた相手の電話番号がアドレス帳に登録されているときは、着信履歴には拠点名が表示されます。登録されていないときは、電話番号が表示されます。
- 続けて同じ相手から異常着信（暗号設定不一致など）があった場合は、最新の履歴のみ着信履歴に記憶されます。
- NGNモード使用時は、電話番号表示サービス（ナンバーディスプレイ）に未加入の場合、着信履歴には**「非通知」**と表示されます。また、加入している場合でも、相手が非通知で発信した場合は、着信履歴には**「非通知」**と表示されます。**「非通知」**と表示されている相手に発信することはできません。
- 規格に準拠していないなどの理由から、着信履歴のSIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、またはH.323名から発信できない場合があります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

1 【メニュー】を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「履歴を見る」を選び、【決定】を押す
- 発信履歴一覧画面が表示されます。



お知らせ

- 通信の結果は、「結果」に次のとおり表示されます。
  - ○：相手とつながった場合
  - ×：相手とつながらなかった場合
- 【緑】を押すと、着信履歴画面に切り替わります。【緑】を押すたびに、発信履歴画面と着信履歴画面に切り替えることができます。
- 標準モード使用時：
  アドレス帳に登録されていない相手の場合、着信履歴には相手のIPアドレスなど、相手から通知されたアドレス情報が表示されます。
  NGNモード使用時：
  ナンバーディスプレイに加入している場合、電話番号がアドレス帳に登録されていないときは、着信履歴には相手の電話番号が表示されます。加入していない場合や相手が非通知で発信した場合は、「非通知」と表示されます。

- 発信履歴には、アドレス帳に登録されている場合は、拠点名が表示されます。IPアドレス（またはホスト名）、SIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名、MCUの会議室番号@IPアドレス、または電話番号を直接入力して発信した場合（43 ページ）、アドレス帳に登録されていても、拠点名ではなく入力した宛先が表示されます。
- 着信履歴の相手をアドレス帳に登録すると、着信履歴が更新され、アドレス帳に登録した拠点名が表示されます。
- アドレス帳に登録されていない相手を選んで**【青】**を押すと、アドレス帳登録画面が表示され、相手を登録することができます（99 ページ）。規格に準拠していないなどの理由から、着信履歴のSIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名をアドレス帳に登録できない場合があります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

3 **【▲】【▼】**で発信したい相手を選ぶ

お知らせ

- **【決定】**を押すと、履歴詳細画面が表示されます。

- 発信元を選択していないとき（144 ページ）は、**「発信元選択名」**には何も表示されません。
- **「帯域」**には最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が表示されます。相手とつながらなかった場合は、表示されません。
- 通信相手によっては、**「機器名」**には何も表示されないことがあります。
- **【緑】**を押すと、発信の入力画面が表示され、アドレスを編集して発信することができます。

4 【開始】を押す

- 発信の入力画面が表示されます。

お知らせ

- 発信する拠点数や接続先のアドレスを編集することができます。

5 【開始】を押し、通信する

6 通信を終了するときは、【終了】を押す

- ホーム画面が表示されます。

着信に応答する

着信に応答する方法として、手動応答と自動応答があり、設定によりどちらかが設定されています（104 ページ）。

お知らせ

- 本機以外の周辺機器（例：テレビ、メインビデオカメラ）の電源が入っていることを確認してください。

手動応答の場合

着信があると着信音が鳴り、ダイアログボックスが表示されます。

標準モード使用時：

- アドレス帳に登録されている場合は、かけてきた相手の会議名／拠点名が表示されます。
- アドレス帳に登録されていない場合は、IPアドレスなど、相手から通知されたアドレス情報が表示されます。

NGNモード使用時：

- ナンバーディスプレイに加入している場合、かけてきた相手の電話番号がアドレス帳に登録されているときは、拠点名が表示されます。登録されていないときは、電話番号が表示されます。[*1]
- ナンバーディスプレイに未加入の場合は、**「非通知」**と表示されます。

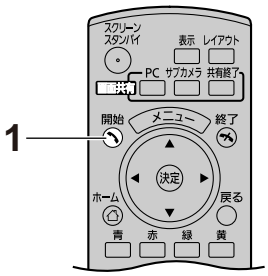
[*1] ナンバーディスプレイに加入している場合でも、相手が非通知で発信した場合は、**「非通知」**と表示されます。

お知らせ

- 相手が自分と同じSIPドメイン名を設定している場合は、SIP-URI（SIPユーザー名@SIPドメイン名）ではなくSIPユーザー名のみが表示されます。
- 会議名／拠点名、ホスト名、SIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、またはH.323名が画面に収まらない場合は、末尾が"…"に置き換わります。

応答する

1 **【開始】**を押す
   - 通信が開始されます。
   - **【決定】**を押して、応答することもできます。



お知らせ

- 着信後、一定時間（約60秒）内に応答をしなかった場合、自動的に切断されます。

自動応答の場合

着信があると着信音が一度だけ鳴った後、自動的に応答して通信が開始されます。

他社製のテレビ会議システムと接続する

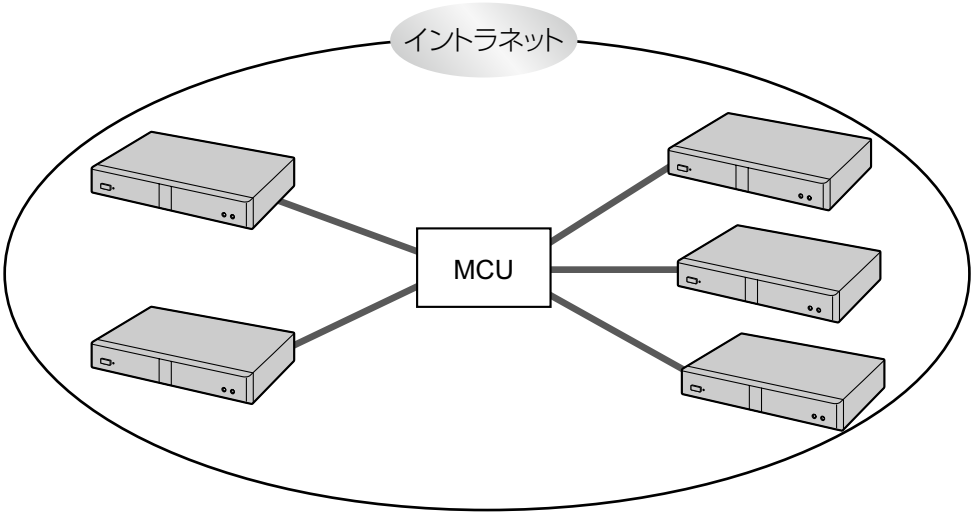
他社製のテレビ会議システムと接続し、2地点でのビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

お知らせ

- 接続する他社製テレビ会議システムは次の条件を満たしている必要があります。他社製テレビ会議システムの設定をご確認ください。
  - SIPまたはH.323での通信が可能である
  - H.264 Baseline Profile（ベースラインプロファイル）、H.264 High Profile（ハイプロファイル）での通信が可能である
  - 音声コーデックG.711、G.722、G.722.1、G.722.1 Annex Cでの通信が可能である
- 接続が可能な他社製テレビ会議システムの機種については、販売店にお問い合わせください。
- 他社機接続の場合、SIPサーバーを経由したSIP-URIによる通信は動作保証外です（123 ページ）。必ずIPアドレスによる通信を行ってください。
- 接続仕様（解像度など）や利用できる機能（コンテンツ共有など）は、接続する機種によって異なります。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 他社機接続時は、2地点通信のみ可能です。
- 相手側に送る音声はモノラルになります。
- サブビデオカメラの映像を共有中に、サブビデオカメラの静止画を送信することはできません。
- 暗号通信ができない場合がありますので、その場合はイントラネット回線またはＶＰＮをご利用ください。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 他社製のテレビ会議システムと通信中は、通信開始時に設定した最大帯域が適用されます。ネットワークの状態に応じて、適切な帯域を設定する必要があります（104 ページ、141 ページ）。
- 接続する他社製テレビ会議システムによっては、こちら側で最大帯域の設定が必要な場合があります。このような場合、発信元設定で最大帯域を登録することができます（141 ページ）。

MCUに接続する

MCUに接続することで、5拠点以上の多地点間でのビジュアルコミュニケーションを行うことができます。

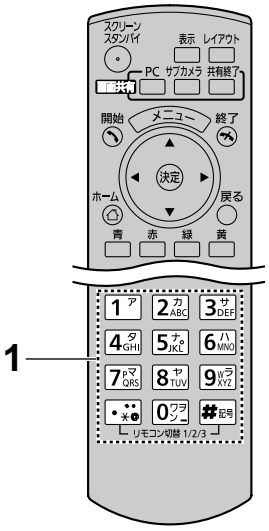


お知らせ

- 接続するMCUは次の条件を満たしている必要があります。MCUの設定をご確認ください。
  - SIPまたはH.323での通信が可能である
  - H.264 Baseline Profile（ベースラインプロファイル）、H.264 High Profile（ハイプロファイル）での通信が可能である
  - 音声コーデックG.711、G.722、G.722.1、G.722.1 Annex Cでの通信が可能である
- 接続が可能なMCUの機種については、販売店にお問い合わせください。
- MCU接続の場合、SIPサーバーを経由したSIP-URIによる通信は動作保証外です（123 ページ）。必ずIPアドレスによる通信を行ってください。
- 接続仕様（解像度など）や利用できる機能（コンテンツ共有など）は、接続する機種によって異なります。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- MCU接続を行う操作手順は、接続するMCUにより異なります。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- 相手側に送る音声はモノラルになります。
- サブビデオカメラの映像を共有中に、サブビデオカメラの静止画を送信することはできません。
- 暗号通信ができない場合がありますので、その場合はイントラネット回線またはＶＰＮをご利用ください。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- MCUと通信中は、通信開始時に設定した最大帯域が適用されます。ネットワークの状態に応じて、適切な帯域を設定する必要があります（104 ページ、141 ページ）。

トーン信号でMCUを遠隔操作する

MCUと通信中にリモコンのボタン（0-9、#、＊）を押すと、トーン信号を送信することができます。トーン信号を送信することで、MCUの遠隔操作（例：画面レイアウトの変更）を行うことができます。



お知らせ

- MCUと通信中にのみ、トーン信号を送信することができます。当社製HD映像コミュニケーションユニット同士の通信中は、対応しておりません。
- 遠隔操作できる機能や操作手順は、接続するMCUにより異なります。
- 接続するMCUがトーン信号を受信できない場合は、エラーメッセージが表示され、トーン信号を送信しません。
- 相手側がトーン信号を送信してきた場合、音切れが発生したり、音が鳴ったりすることがあります。

1 トーン信号（0-9、#、＊）を入力する

- 入力欄（❶）が表示されます。

お知らせ

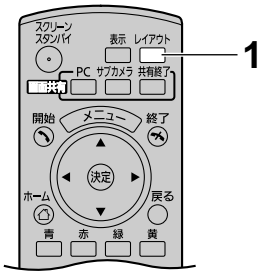
- 入力欄に表示されるトーン信号は最大16桁までです。例えば、17桁目を入力した場合、最初に入力した1桁目が非表示になり、2桁目から17桁目までが表示されます。
- トーン信号が入力されていないときは、入力欄は表示されません。
- 最後に入力してから約3秒間、トーン信号が入力されない場合は、入力欄は消えます。
- 入力欄が消えたあと、再度トーン信号を入力した場合は、前回入力したトーン信号の続きから表示されます。

2地点通信中の画面レイアウトを変更する

2地点間の通信中に、画面レイアウトを3パターンから選ぶことができます。

1 【レイアウト】を押す

- 【レイアウト】を押すたびに、以下の順番に画面レイアウトが切り替わります。
  - **レイアウト1**：画面全体に相手側の映像
  - **レイアウト2**：画面全体に相手側の映像・右上のサブ画面に自分側の映像
  - **レイアウト3**：画面全体に自分側の映像



レイアウト1

A

レイアウト2

A
B

レイアウト3

B

A: 相手側の映像
B: 自分側の映像

お知らせ

- 【青】、【赤】を押すと、各ボタンに割り当てられた画面レイアウトに直接切り替えることができます。各ボタンに表示される内容は、使用中の画面レイアウトにより異なります。

表示	画面レイアウト
相手映像表示	レイアウト1
相手（自映像）	レイアウト2
自映像表示	レイアウト3

例：画面レイアウト2を使用中の場合

【青】：画面レイアウト3に切り替わります。
【赤】：画面レイアウト1に切り替わります。

- MCU接続または他社機接続の場合、相手からの映像が正しい映像横縦比（映像の横と縦の長さの比）で表示されない場合があります。通信中に、次の手順で映像横縦比を変更してください。（変更した映像横縦比は通信が終了すると、**「自動」**［デフォルト］に戻ります。）

  1 【緑】を押す
    - 映像横縦比を変更するダイアログボックスが表示されます。
  2 【▲】【▼】で**「自動」**（デフォルト）、**「16:9」「4:3」**を選ぶ
    - 選んだ映像横縦比で表示され、約3秒後にダイアログボックスが消えます。

- MCU接続の場合、相手側の映像にはMCUの画面が表示されます。MCUの画面レイアウトを変更する場合は、トーン信号による遠隔操作が必要です（54 ページ）。

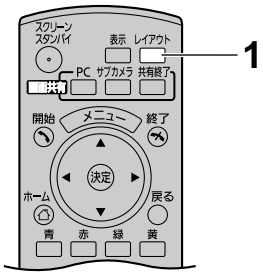
3地点通信中の画面レイアウトを変更する

3地点間（自分、相手1、相手2）の通信中に、画面レイアウトを7パターンから選ぶことができます。

お知らせ

- NGNモード使用時、MCU接続時、他社機接続時、H.323使用時には、この操作はできません。

1 **【レイアウト】**を押す



- **【レイアウト】**を押すたびに、以下の順番に画面レイアウトが切り替わります。
  - **レイアウト1**：画面左に相手1の映像・画面右に相手2の映像
  - **レイアウト2**：映像は以下のように表示されます。
    相手1：左上
    相手2：右上
    自分側：中央下
  - **レイアウト3**：画面全体に相手1の映像・右上のサブ画面に相手2の映像
  - **レイアウト4**：画面全体に相手2の映像・左上のサブ画面に相手1の映像
  - **レイアウト5**：画面全体に相手1の画像
  - **レイアウト6**：画面全体に相手2の映像
  - **レイアウト7**：画面全体に自分側の映像

A: 相手1の映像
B: 相手2の映像
C: 自分側の映像

お知らせ

- **【青】**、**【赤】**、**【緑】**を押すと、画面上の各ボタンに表示されている画面レイアウトに、直接切り替えることができます。[*1] 各ボタンに表示される内容は、使用中の画面レイアウトにより異なります。

  [*1] **レイアウト2**へは直接切り替えることができません。**レイアウト2**へ切り替える場合は、**【レイアウト】**を押してください（57 ページ）。

表示	画面レイアウト
相手１／相手２	レイアウト１
相手１（相手２）	レイアウト３
（相手１）相手２	レイアウト４
相手１全画面	レイアウト５
相手２全画面	レイアウト６
自映像表示	レイアウト７

例：画面レイアウト3を使用中の場合

【青】：画面レイアウト5に切り替わります。
【赤】：画面レイアウト6に切り替わります。
【緑】：画面レイアウト7に切り替わります。

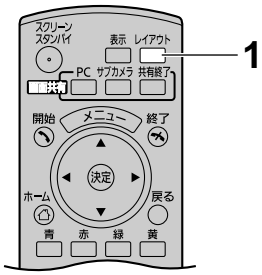
4地点通信中の画面レイアウトを変更する

4地点間（自分、相手1、相手2、相手3）の通信中に、画面レイアウトを6パターンから選ぶことができます。

お知らせ

- NGNモード使用時、MCU接続時、他社機接続時、H.323使用時には、この操作はできません。

1 **【レイアウト】**を押す



- **【レイアウト】**を押すたびに、以下の順番に画面レイアウトが切り替わります。
  - **レイアウト1**：映像は以下のように表示されます。
    相手1：左上
    相手2：中央下
    相手3：右上
  - **レイアウト2**：映像は以下のように表示されます。
    相手1：左上
    相手2：左下
    相手3：右上
    自分：右下
  - **レイアウト3**：画面全体に相手1の映像
  - **レイアウト4**：画面全体に相手2の映像
  - **レイアウト5**：画面全体に相手3の映像
  - **レイアウト6**：画面全体に自分側の映像

A: 相手1の映像　B: 相手2の映像
C: 相手3の映像　D: 自分側の映像

*1 映像の端が切り取られ、中央部が表示されます。

お知らせ

- 【青】、【赤】、【緑】を押すと、画面上の各ボタンに表示されている画面レイアウトに、直接切り替えることができます。各ボタンに表示される内容は、使用中の画面レイアウトにより異なります。

表示	画面レイアウト
3 拠点表示	レイアウト1
4 拠点表示	レイアウト2
相手 1 全画面	レイアウト3
相手 2 全画面	レイアウト4
相手 3 全画面	レイアウト5
自映像表示	レイアウト6

例：画面レイアウト3を使用中の場合

【青】：画面レイアウト1に切り替わります。
【赤】：画面レイアウト2に切り替わります。
【緑】：画面レイアウト6に切り替わります。

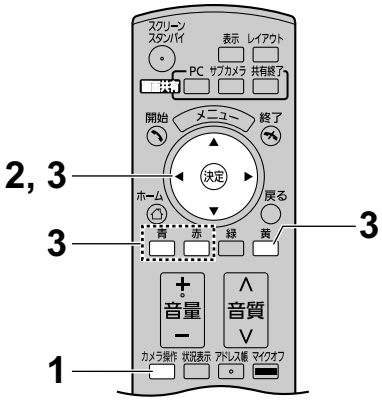
ビデオカメラを操作する

通信中、自分側または相手側に接続されたPTZ（パン・チルト・ズーム） カメラまたは固定カメラのパン（左右移動）、チルト（上下移動）、ズームを操作することができます。メインまたはサブビデオカメラで操作が可能です。

お知らせ

- 本書では、ビデオカメラの方向を変えるとき、カメラ可動部が回転するタイプを「PTZカメラ」と記載しています。可動部がなく、ビデオカメラ自体は回転しないタイプを「固定カメラ」と記載しています。
- 相手側でKX-VC400またはKX-VC500を使用している場合、相手側のビデオカメラは操作できません。相手側から自分側のビデオカメラを操作することは可能です。
- 通信参加者の中に、2.30より古いソフトウェアのバージョン（2.30は含みません）を使用している相手がいる場合、相手側のビデオカメラは操作できません。自分側のビデオカメラ操作のみ可能です。
- 自分側のビデオカメラについて、相手側からの操作を許可するには、自分側で**「通信相手からのカメラ制御」**の設定（デフォルト：**「無効」**）を**「有効」**にする必要があります（114 ページ）。
- 対応しているビデオカメラの機種については、販売店にお問い合わせください。
- ビデオカメラの機種によっては、利用できる機能が限られる場合があります。
（例：ズーム機能のみのビデオカメラ）
- 相手側が他社製のテレビ会議システムを使用している場合、操作ができなかったり、誤動作を起こす可能性があります。

1 **【カメラ操作】**を押す
- 拠点選択ダイアログボックスが表示されます。



お知らせ

- 拠点選択ダイアログボックスが表示されてから約3秒間操作を行わなかった場合、ダイアログボックスの表示が消えます。

2 【▲】【▼】で表示したい拠点を選び、**【決定】**を押す

- カメラ操作画面が表示されます。

3 リモコンのボタンを押してビデオカメラを操作する
【青】：ズームアウト
【赤】：ズームイン
【◀】【▶】：ビデオカメラを左方向／右方向に移動
【▲】【▼】：ビデオカメラを上方向／下方向に移動

- ボタンを押している間動作を続け、ボタンを離すと停止します。微調整したい場合は、ボタンを押してすぐ離す操作を繰り返してください。
- 別の拠点のビデオカメラを操作したい場合は**【黄】**を押してください。**【黄】**を押すたびに、拠点選択ダイアログボックスで上から表示されている順番に拠点が切り替わります。
  例：４地点通信中

  相手1 → 相手2 → 相手3 → 自拠点

- 通信中画面に戻りたい場合は**【戻る】**を押してください。

お知らせ

- リモコンの**【表示】**を押すと、ガイドエリアを表示／非表示にできます。非表示にした場合、ガイド表示の一部を非表示にするか、全部を非表示にするかを管理者メニューで設定できます（131 ページ）。
- 以下のような場合は**【カメラ操作】**を押してもビデオカメラを操作できません。
  - パソコン画面共有中
  - 機器情報表示画面表示中、接続表示画面表示中
  - ダイアログボックス表示中

プリセット登録をする

非通信中、自分側にメインまたはサブビデオカメラとして接続されたビデオカメラのプリセット（パン、チルト、ズームなどの調整）を9通りまで登録することができます。

お知らせ

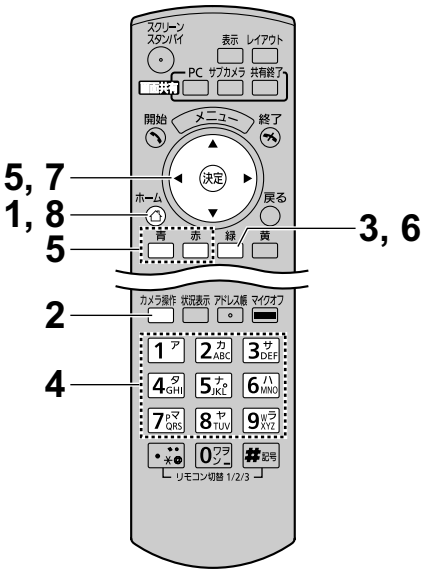
- プリセット登録は、プリセット機能をサポートしているビデオカメラを使用している場合のみ可能です。詳細については、販売店にお問い合わせください。
- ビデオカメラの機種によっては、利用できる機能が限られる場合があります。
（例：ズーム機能のみのビデオカメラ）

1 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- サブビデオカメラのプリセット登録をする場合は、**【サブカメラ】**を押してください。



2 **【カメラ操作】**を押す

- 自分側のビデオカメラのカメラ操作画面が表示されます。

3 **【緑】**を押す

- プリセット登録画面が表示されます。

4 数字ボタン（1-9）を押して、登録したいプリセット番号を選ぶ

- 画面右上に選んだプリセット番号が表示されます。

お知らせ

- すでに登録しているプリセット番号を選んで登録を行った場合、プリセット登録情報は上書きされます。

5 リモコンのボタンを押して、ビデオカメラのプリセットを調整する

【青】：ズームアウト
【赤】：ズームイン
【◀】【▶】：ビデオカメラを左方向／右方向に移動
【▲】【▼】：ビデオカメラを上方向／下方向に移動

6 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- プリセット登録画面が表示されます。

お知らせ

- 連続して登録したい場合は、手順**4**～**7**をくり返してください。

8 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- プリセット登録情報はビデオカメラ側に保存されます。ビデオカメラを初期化した場合、プリセット登録情報は破棄されますので、本機を使用して再度プリセット登録を行ってください。

登録したプリセットを呼び出す

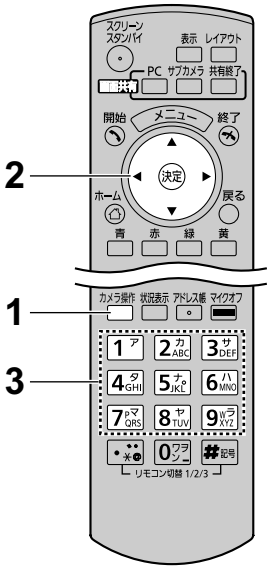
通信中に、事前に登録した自分側のビデオカメラのプリセットを呼び出し、ビデオカメラの向き、ズーム倍率、トリミングズームの設定内容などをご希望の状態に調整することができます。

お知らせ

- 対応しているビデオカメラの機種については、販売店にお問い合わせください。
- 通信中は、相手側で登録されたビデオカメラのプリセットを呼び出すことも可能です。

1 **【カメラ操作】**を押す

- 拠点選択ダイアログボックスが表示されます。



お知らせ

- 拠点選択ダイアログボックスが表示されてから約3秒間操作を行わなかった場合、ダイアログボックスの表示が消えます。

2 **【▲】【▼】**で**「自拠点」**を選び、**【決定】**を押す

- カメラ操作画面が表示されます。

3 数字ボタン（1–9）を押して、呼び出したいプリセット番号を選ぶ

- ビデオカメラの向きやズーム倍率が、事前に登録した状態になります。

ビデオカメラの設定をする

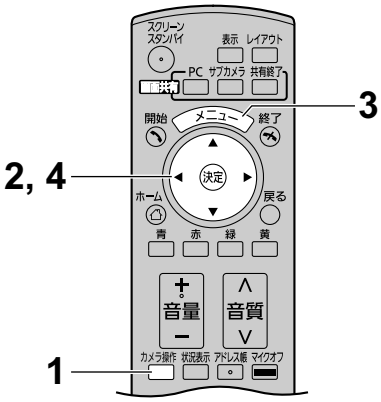
通信中または非通信中、自分側にメインまたはサブビデオカメラとして接続されたビデオカメラの明るさやホワイトバランスなどを設定することができます。

お知らせ

- ビデオカメラの機種によっては、設定できない場合があります。
  対応しているビデオカメラの機種については、販売店にお問い合わせください。

1 **【カメラ操作】**を押す

- 拠点選択ダイアログボックスが表示されます。



お知らせ

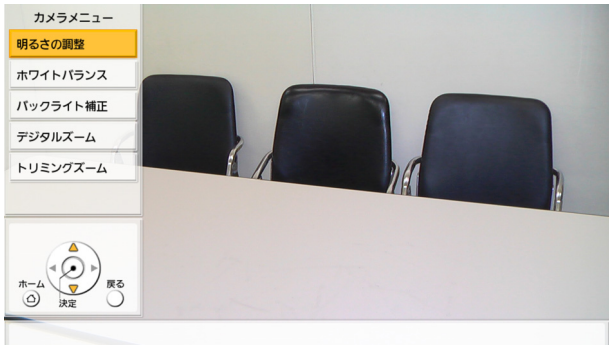
- 拠点選択ダイアログボックスが表示されてから約3秒間操作を行わなかった場合、ダイアログボックスの表示が消えます。

2 **【▲】【▼】**で**「自拠点」**を選び、**【決定】**を押す

- カメラ操作画面が表示されます。

3 【メニュー】を押す

- カメラメニュー画面が表示されます。



4 【▲】【▼】で設定したい項目を選び【決定】を押す

- 各項目の設定画面が表示されます。

お知らせ

- ビデオカメラの機種によっては、設定項目が表示されない場合があります。
- カメラメニュー画面で設定を行っている間、相手側から自分側のビデオカメラを操作することはできません。

「明るさの調整」画面
「明るさモード」:【決定】を押し、【▲】【▼】で「標準」、「手動」を選ぶ

お知らせ

- 「手動」を選んだ場合、リモコンのボタンを押して手動で明るさを調整できます。

  【青】:暗く
  【赤】:明るく

「ホワイトバランス」画面
さまざまな光源のもとで、白色が白色に映し出せるよう色合いを補正する機能です。

「ホワイトバランス」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で設定したいホワイトバランスの値（**「自動」**、**「室内1」**、**「室内2」**、**「室外（晴れ）」**、**「室外（曇り）」**、**「ワンプッシュ」**）を選ぶ

お知らせ

- 光源などにより色合いが不自然な場合以外は、**「自動」**を選んでください。
- **「室内1」**は光源が白熱電球などの場合、**「室内2」**は光源が電球色蛍光灯やナトリウムランプなどの場合に使用します。
- **「ワンプッシュ」**を選んだ場合、ホワイトバランスを調整できます。次の手順に従ってください。

  1. **【決定】**を押す
     - 以前に**「ワンプッシュ」**を選んでホワイトバランスを設定していた場合は、前回調整した状態が呼び出されます。
  2. 白い紙をビデオカメラに向ける
  3. **【緑】**を押す

「フォーカスの調整」画面：**【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

「フォーカス位置」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で**「中央」**、**「両サイド」**を選ぶ

「フォーカスモード」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で**「自動」**、**「手動」**を選ぶ

お知らせ

- **「手動」**を選んだ場合、リモコンのボタンを押してフォーカスを調整できます。

  【青】：近く
  【赤】：遠く

「バックライト補正」画面
逆光時に被写体が暗くなるのを自動で補正する機能です。

「バックライト補正」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で**「する」**、**「しない」**を選ぶ

「フリッカー補正」画面
映像のちらつきを補正する機能です。

「フリッカー補正」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で**「する」**、**「しない」**を選ぶ

「デジタルズーム」画面
撮影範囲の中央を切り出して、デジタル処理で拡大する機能です。

「デジタルズーム」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で**「する」**、**「しない」**を選ぶ

「トリミングズーム」画面
映像の一部を切り出し、画面の四隅に表示する機能です。

「トリミングズーム」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で**「する」**、**「しない」**を選ぶ

<u>お知らせ</u>

- トリミングズーム機能を利用する場合は、次の手順に従ってください。

1. 「**する**」を選び【**決定**】を押す
   - 画面全体に自分側の映像・右上のサブ画面に自分側のトリミング映像が表示されます。

2. リモコンの【**緑**】を押してトリミングズームの詳細を設定する

   お知らせ
   - トリミングズームの設定は、プリセット登録することができます（65 ページ）。

   （トリミングする位置を変更する場合）：
   トリミングする内容を変更したい場合は、【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、トリミング位置を示す枠を移動させて、調整してください。

   （トリミングした映像の倍率を変更する場合）：
   サブ画面に表示されるトリミング映像のサイズを変更したい場合、ズームインするには【**赤**】、ズームアウトするには【**青**】を押してください。

   （画面レイアウトを変更する場合）：
   画面上の、トリミング映像の位置を変更したい場合は【**黄**】を押してください。
   【**黄**】を押すたびに、以下の順番にトリミング映像の位置が切り替わります。

   右上 → 右下 → 左下 → 左上

   例：点線部分をトリミングズームし、画面左上に表示した場合

3. 「**トリミングズーム**」画面に戻る場合は【**戻る**】を、カメラメニュー画面に戻る場合は【**メニュー**】を押す

お知らせ

- 各設定画面で設定を完了したら【**決定**】を押してください。その後【**メニュー**】または【**戻る**】を押すとカメラメニュー画面が表示されます。

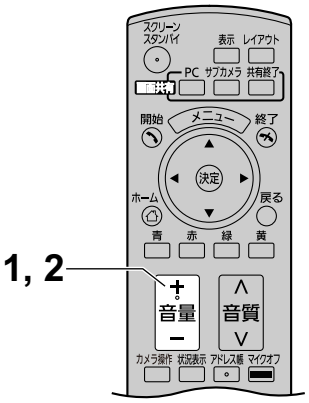
音量を調整する

通信中に音量を調整することができます。

1 **【音量（＋／－）】**を押す
- 音量調整バーが画面下に表示されます。

2 **【音量（＋／－）】**で音量を調整する
- **【＋】**を押すと、相手の声が大きくなります。
- **【－】**を押すと、相手の声が小さくなります。

約3秒後、音量調整バーの表示が消えます。



お知らせ

- 通信開始時の音量を設定することができます（108 ページ）。
- 通信終了後は、設定した通信開始時の音量に戻ります。
- 通信中の音量を調整できます。テレビの音量は調整できません。

マイク音声をマイクオフする

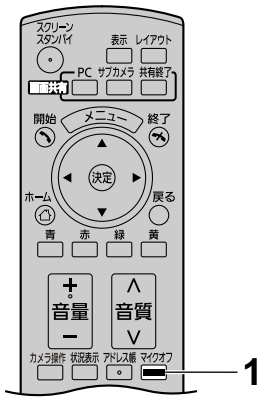
通信中に、自分の声を相手に聞こえないようにすること（マイクオフ）ができます。相手の声は聞こえますが、相手には自分の声は聞こえません。

お知らせ

- 応答して通信を開始した時のマイクを、マイクオフにする設定ができます（106 ページ）。

マイクオフする（リモコンで操作する）

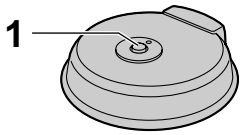
1 **【マイクオフ】**を押す
   - 画面の状況表示エリアにアイコン（32 ページ）が表示され、専用マイクのランプ（24 ページ）が赤色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。
   - もう一度**【マイクオフ】**を押すと、マイクオフは解除されます。専用マイクのランプ（24 ページ）が緑色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。



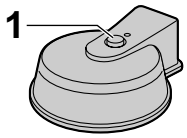
マイクオフする（専用マイクで操作する）

1 マイクオフボタンを押す
   - 画面の状況表示エリアにアイコン（32 ページ）が表示され、専用マイクのランプ（24 ページ）が赤色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。
   - もう一度マイクオフボタンを押すと、マイクオフは解除されます。専用マイクのランプ（24 ページ）が緑色点灯します。ランプの色が変わったことを確認してください。

   お知らせ
   - 専用デジタルマイクを複数接続している場合、ひとつの専用デジタルマイクのマイクオフボタンを押すとすべての専用デジタルマイクがマイクオフになります。
   - 専用デジタルマイクと専用アナログマイクを同時に接続している場合、一方の専用マイクのマイクオフボタンを押すと両方の専用マイクがマイクオフになります。（KX-VC600使用時のみ）
   - ヘッドセットを接続している場合、専用マイクのマイクオフボタンは使用できません。



専用デジタルマイク

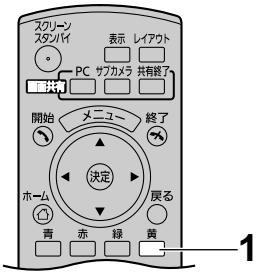


専用アナログマイク

マイク付近のノイズを減らす（KX-VC600のみ）

通信中に自分のマイク付近のノイズ（書類をめくる音などの雑音）を減らし、相手に自分の音声を聞きやすくします。音声とノイズが同時にマイクに入った場合は、音声が小さくなることがあります。

1 **【黄】**を押す



- **「手元ノイズ抑圧 [ON]」**が表示され、本機能が有効になります。

- もう一度**【黄】**を押すと**「手元ノイズ抑圧 [OFF]」**が表示され、本機能が無効になります。

お知らせ

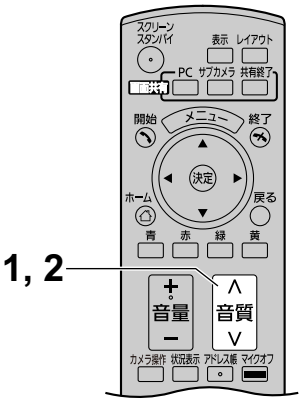
- 本機能は、専用デジタルマイク接続時にのみ有効です。
- 通信を開始した時に本機能を有効にするかどうかを、あらかじめ設定することができます（106 ページ）。
- 通信終了後は、本機能は設定した通信開始時の設定に戻ります。

音質を調整する

通信中に音質を調整することができます。

1 【音質（∧／∨）】を押す

- 音質調整ダイアログボックスが表示され、現在使用中の音質モードが確認できます。



2 【音質（∧／∨）】で音質を選ぶ

- **「高音強調」**：高音を強調します。
- **「標準」**：通常（デフォルト）の音質になります。
- **「低音強調」**：低音を強調します。
- **「音声」**：雑音が多い場合、音声を聞き取りやすくします。
- **「音楽」**：音楽などの音声より音域の広い音を聞き取りやすくします。

約3秒後、音質調整ダイアログボックスの表示が消えます。

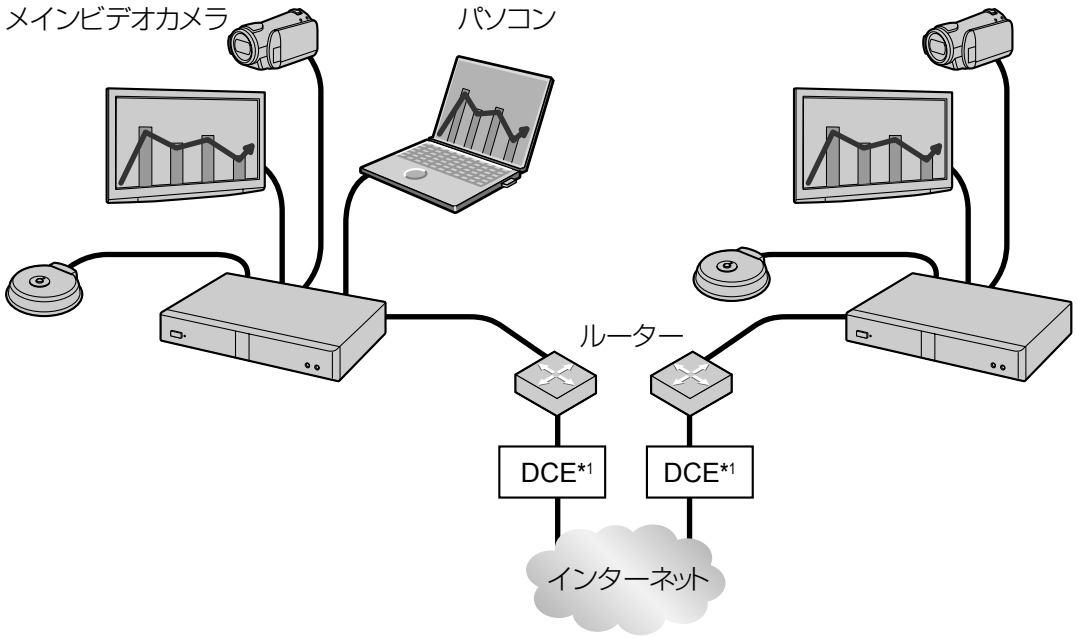
お知らせ

- 通信開始時の音質を設定することができます（108 ページ）。
- 通信終了後は、音質は通信開始時の設定に戻ります。

パソコンの画面を共有する

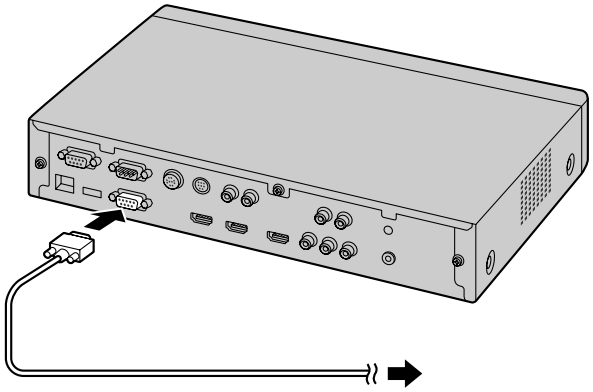
本機にパソコンを接続すると、パソコン画面を自分と相手のテレビに表示させることができます。
パソコン画面を見せながら説明をする場合などに便利です。

イメージ図（インターネット回線使用時）



*1　DCE：回線終端装置

パソコンを接続する



- お手持ちのパソコンをVGAケーブルで本体背面のRGB端子に接続してください（20 ページ）。
- RGB端子のコネクター形状とパソコンのコネクター形状をそれぞれ確認して、ケーブルを準備してください。
- パソコンは通信中でも接続したり、取り外すことができます。
- 同時に画面を共有できるパソコンは1台のみです。

- パソコン画面共有に対応している解像度はVGA（640 × 480）、SVGA（800 × 600）、XGA（1024 × 768）、HD（1280 × 720）、WXGA（1280 × 768、1280 × 800）です。
  SXGA（1280 × 1024）には対応していません。対応する解像度の詳細については、以下を参照してください。

解像度	リフレッシュレート（Hz）
VGA	60／72／75／85
SVGA	60／72／75／85
XGA	60／70／75／85
HD	49.827／50／59.855／59.941
WXGA	60／75

パソコン画面を共有する

通信中に、テレビの表示をメインビデオカメラの映像からパソコン画面に切り替えることができます。

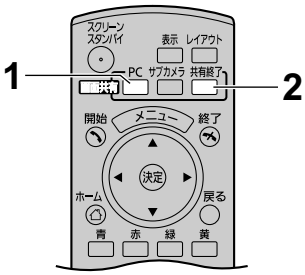
お知らせ

- 本書では、パソコンを本機に接続し、パソコン画面を通信参加者間で共有することを「パソコン画面を共有する」と記載しています。KX-VC300使用時にはパソコン画面のみ表示可能、KX-VC600使用時には合成画面（パソコン画面と自分側、相手側の映像）とパソコン画面のみの表示を切り替えることが可能ですが、いずれの状態も「パソコン画面を共有する」と記載しています。

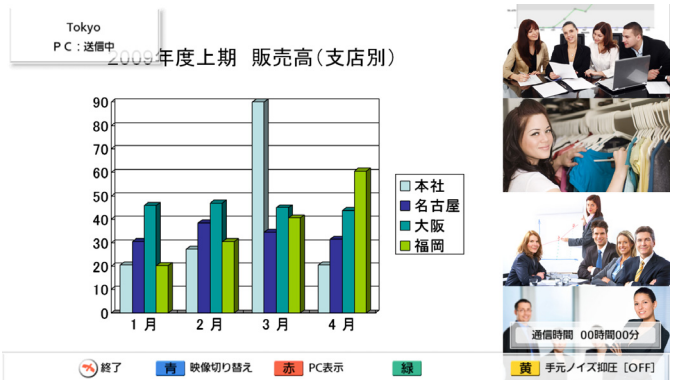
1 【PC】を押す

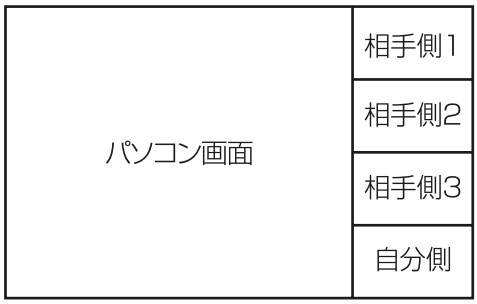
KX-VC600使用時：

- パソコン画面と自分側、相手側の映像が合成され表示されます。自分側と相手側の映像は、画面右上から「相手側の映像→自分側の映像」の順番に表示されます。相手のテレビにも同様にパソコン画面と自分側、相手側の映像の合成画面が表示されます。



例：4地点通信中

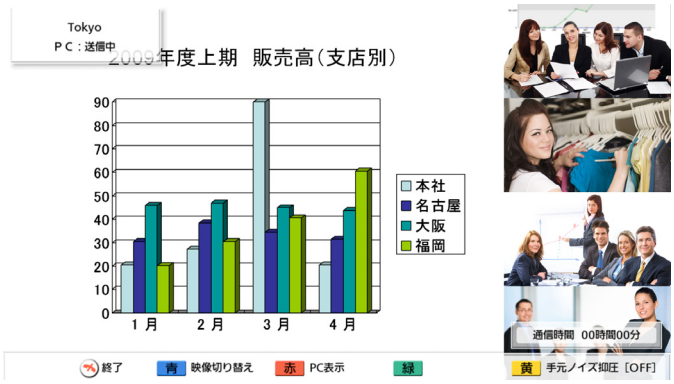


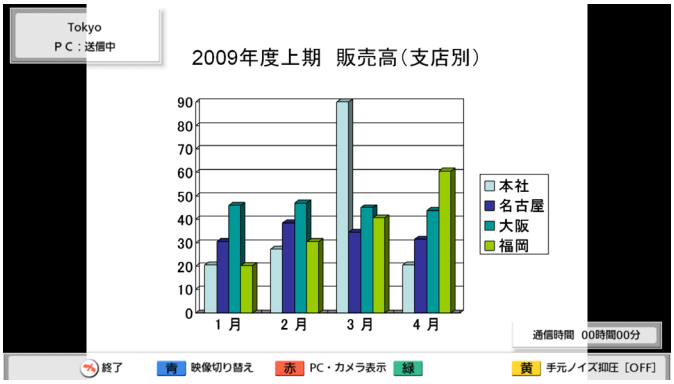


お知らせ

（KX-VC600使用時）

- 合成画面表示中は、パソコン画面と自分側、相手側の映像はそれぞれ95%のサイズに縮小して表示されます。
- **【表示】**を押すと、ガイドエリアの表示／非表示を切り替えることができます。（パソコン画面の共有開始時は非表示です。）
- **【赤】**を押すと、パソコン画面のみ表示されます。**【赤】**を押すたびに、合成画面とパソコン画面の表示を切り替えることができます。（ガイドエリアの表示／非表示にかかわらず切り替えることができます。）

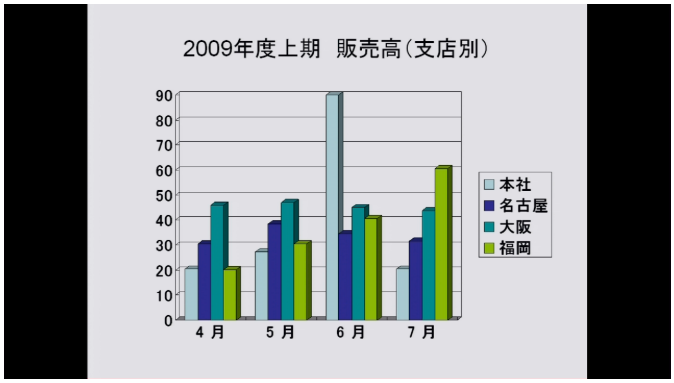




- NGNモード使用時は、**【赤】**を押しても合成画面とパソコン画面の表示を切り替えることはできません。
- 以下の場合は**【PC】**を押してもパソコン画面のみ表示されます。
  - MCU接続時／他社機接続時／H.323使用時
  - 通信設定画面で**「PC共有時の画面合成」**（107 ページ）を**「しない」**に設定している場合
  - 通信参加者の中に2.30より古いソフトウェアのバージョン（2.30は含みません）を使用している相手がいる場合

KX-VC300使用時：

- パソコン画面がテレビに表示されます。相手のテレビにも同じ画面が表示されます。



お知らせ

（KX-VC300/KX-VC600使用時）

- NGNモード使用時、MCU接続時、他社機接続時、H.323使用時には、相手の画面レイアウトの状態によっては、相手のテレビに同じ画面が表示されない場合があります。
  NGNモード使用時：
  【レイアウト】を押して、相手側の画面レイアウトを**レイアウト1**に変更するように伝えてください（55 ページ）。
  MCU接続時／他社機接続時／H.323使用時：
  相手側の画面レイアウトを、こちら側の画面を表示するレイアウトに変更するように伝えてください。
- MCU接続、他社機接続、H.323使用の場合、エラーメッセージが表示され、パソコン画面を共有できないことがあります。**【決定】**を押すと、メインビデオカメラの映像に戻ります。

- リモコンの【**表示**】を押すと、相手先情報、通信時間、ガイドエリアを表示／非表示にできます。
- 標準モード使用時
  - パソコン画面を共有している間は、相手側が【**PC**】を押しても、相手側のパソコン画面には切り替わりません。
  - サブビデオカメラを接続している場合は、【**サブカメラ**】を押すとサブビデオカメラの映像に切り替わります（87 ページ）。【**PC**】を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。【**PC**】を押すと、パソコン画面に戻ります。
  - パソコン画面を共有中に【**青**】を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示することができます（55 ページ、57 ページ、60 ページ）。相手側はこの操作はできません。また、パソコン画面を表示しているか相手側の映像を表示しているかは、相手側には分かりません。相手側の映像を表示している間は、画面レイアウトは**レイアウト1**から変更できません。【**青**】を押すと、パソコン画面に戻ります。
- MCU接続時／他社機接続時／H.323使用時
  - パソコン画面の共有中でも、相手側も自分のパソコン画面の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のパソコン画面が表示されますのでご注意ください。
  - サブビデオカメラを接続している場合は、【**サブカメラ**】を押すとサブビデオカメラの映像に切り替わります（87 ページ）。【**PC**】を押すと、パソコン画面に戻ります。相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のサブビデオカメラの映像が表示されますのでご注意ください。
  - パソコン画面を共有中に【**青**】を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（55 ページ）。【**赤**】を押すと、パソコン画面に戻ります。

- NGNモード使用時
  - パソコン画面と自分側、相手側の映像を表示中に相手側が【PC】を押すと、パソコン画面のみの表示に変わりますのでご注意ください。合成画面表示に戻したい場合は、相手側に【**共有終了**】を押すよう伝えてください。
  - パソコン画面の共有中でも、相手側が【PC】を押すと、相手側も自分のパソコン画面の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のパソコン画面が表示されますのでご注意ください。
  - サブビデオカメラを接続している場合は、【**サブカメラ**】を押すとサブビデオカメラの映像に切り替わります（87 ページ）。【PC】を押すと、パソコン画面に戻ります。
  - 相手側が【**サブカメラ**】を押すと、相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のサブビデオカメラの映像が表示されますのでご注意ください。
  - パソコン画面を共有中に【**青**】を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（55 ページ）。【**赤**】を押すと、パソコン画面に戻ります。

2 メインビデオカメラの映像に戻すときは【**共有終了**】を押す

お知らせ

- 【PC】を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。

お知らせ

- ホーム画面を表示中に【PC】を押すと、自分のテレビにパソコン画面を表示することができます。パソコン画面を表示中は、スクリーンスタンバイ状態に移行しません。ホーム画面に戻るときは、【**共有終了**】を押してください。

デュアルストリームでパソコン画面を共有する

通信設定画面で**「H.239の受信」**を**「する」**に設定している場合（107 ページ）、デュアルストリーム（H.239）により相手から送られてきた映像とパソコン画面を、受信側で合成し表示することができます。

お知らせ

- この機能は、H.323を使用し、MCU接続または他社機接続している場合のみ有効です。
- リモコンのボタンを押して表示を切り替えることができます。
  - **【赤】**を押すと、パソコン画面のみ表示されます。**【赤】**を押すたびに、合成画面とパソコン画面の表示を切り替えることができます。

    デュアルストリーム受信中（合成画面）

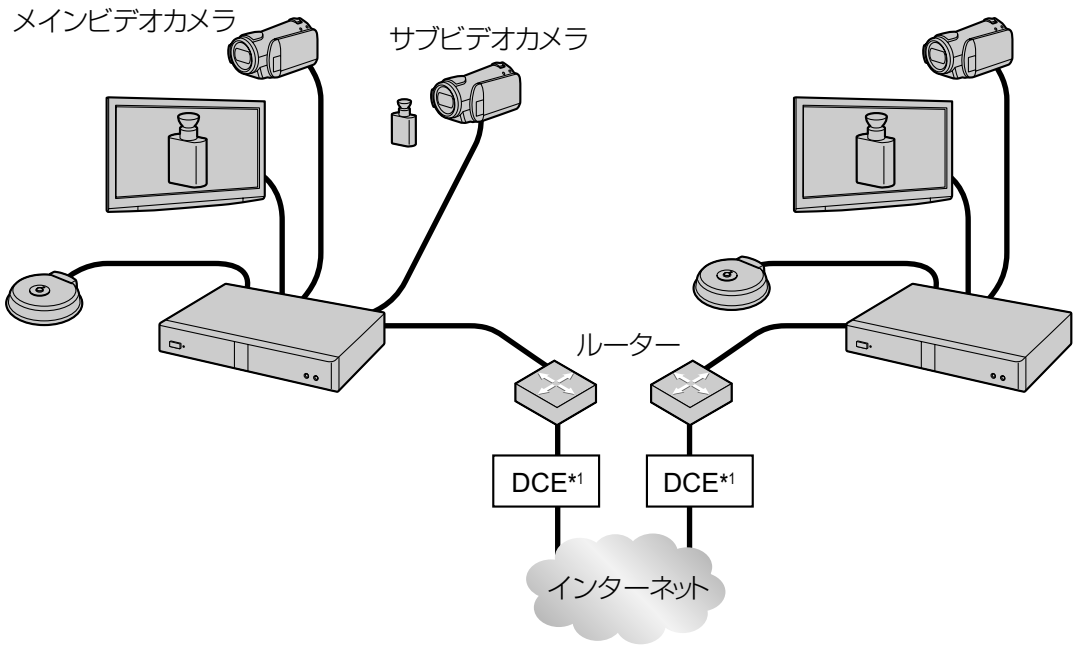
    ⇩ ⇧

    デュアルストリーム受信中（パソコン画面）
  - **【青】**を押すと、画面全体に相手側の映像を表示します。**【青】**を押すたびに、相手側の映像とデュアルストリーム受信画面の表示を切り替えることができます。

サブビデオカメラの映像を共有する

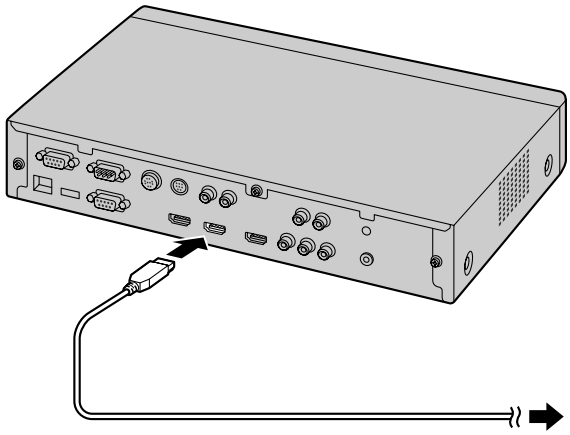
本機にサブビデオカメラを接続すると、サブビデオカメラの映像を自分と相手のテレビに表示させることができます。表示させた映像は、自分側と相手側から操作が可能です（63 ページ）。

イメージ図（インターネット回線使用時）



*1　DCE：回線終端装置

サブビデオカメラを接続する



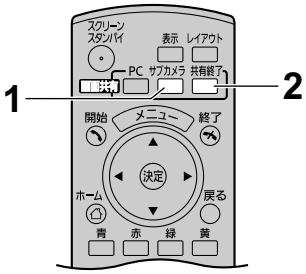
- お手持ちのビデオカメラをHDMIケーブルで本体背面のSub端子に接続してください（20 ページ）。
- サブビデオカメラは通信中でも接続したり、取り外すことができます。
- 同時に映像を共有できるサブビデオカメラは1台のみです。
- 接続できるビデオカメラは、HDMI出力解像度が1080iのもののみです。

サブビデオカメラの映像を共有する

通信中に、テレビの表示をメインビデオカメラの映像からサブビデオカメラの映像に切り替えることができます。

1 **【サブカメラ】**を押す

- サブビデオカメラの映像が表示されます。相手のテレビにも同じ映像が表示されます。



お知らせ

- NGNモード使用時、MCU接続時、他社機接続時、H.323使用時には、相手の画面レイアウトの状態によっては、相手のテレビに同じ映像が表示されない場合があります。
  NGNモード使用時：
  【レイアウト】を押して、相手側の画面レイアウトを**レイアウト1**に変更するように伝えてください（55 ページ）。
  MCU接続時／他社機接続時／H.323使用時：
  相手側の画面レイアウトを、こちら側の映像を表示するレイアウトに変更するように伝えてください。

お知らせ

- リモコンの【**表示**】を押すと、相手先情報、通信時間、ガイドエリアを表示／非表示にできます。
- 標準モード使用時
  - サブビデオカメラの映像を共有している間は、相手側が【**サブカメラ**】を押しても、相手側のサブビデオカメラの映像には切り替わりません。
  - パソコンを接続している場合は、【**PC**】を押すとパソコンの画面に切り替わります（79 ページ）。【**サブカメラ**】を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。【**サブカメラ**】を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。
  - サブビデオカメラの映像を共有中に【**青**】を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示することができます（55 ページ、57 ページ、60 ページ）。相手側はこの操作はできません。また、サブビデオカメラの映像を表示しているか相手側の映像を表示しているかは、相手側には分かりません。相手側の映像を表示している間は、画面レイアウトは**レイアウト1**から変更できません。【**青**】を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。
- MCU接続時／他社機接続時／H.323使用時
  - サブビデオカメラの映像を共有中でも、相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のサブビデオカメラの映像が表示されますのでご注意ください。
  - パソコンを接続している場合は、【**PC**】を押すとパソコン画面に切り替わります（79 ページ）。【**サブカメラ**】を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。相手側も自分のパソコン画面の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のパソコン画面が表示されますのでご注意ください。
  - サブビデオカメラの映像を共有中に【**青**】を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（55 ページ）。【**赤**】を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。

- NGNモード使用時
  - サブビデオカメラの映像を共有中でも、相手側が【サブカメラ】を押すと、相手側も自分のサブビデオカメラの映像の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のサブビデオカメラの映像が表示されますのでご注意ください。
  - パソコンを接続している場合は、【PC】を押すとパソコン画面に切り替わります（79 ページ）。【サブカメラ】を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。
  - 相手側が【PC】を押すと、相手側も自分のパソコン画面の共有を開始できます。この場合、画面上の相手側の映像には、相手側のパソコン画面が表示されますのでご注意ください。
  - サブビデオカメラの映像を共有中に【青】を押すと、**レイアウト1**で相手側の映像を表示します（55 ページ）。【赤】を押すと、サブビデオカメラの映像に戻ります。

2 メインビデオカメラの映像に戻すときは【共有終了】を押す

お知らせ

- 【サブカメラ】を押して共有を開始した地点以外では、この操作はできません。

お知らせ

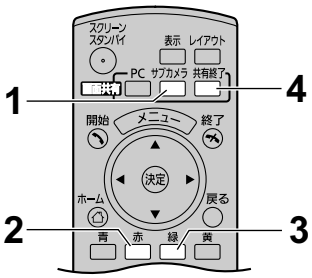
- ホーム画面を表示中に【サブカメラ】を押すと、自分のテレビにサブビデオカメラの映像を表示することができます。サブビデオカメラの映像を表示中は、スクリーンスタンバイ状態に移行しません。ホーム画面に戻るときは、【共有終了】を押してください。

サブビデオカメラの静止画を共有する

通信中に、サブビデオカメラの静止画を表示することができます。

お知らせ

- 画像がぶれないように、サブビデオカメラと被写体を動かさないようにしてください。
- NGNモード使用時、MCU接続時、他社機接続時、H.323使用時は、この操作はできません。



1 【サブカメラ】を押す
- サブビデオカメラの映像が表示されます。

2 【赤】を押す
- サブビデオカメラの静止画が自分と相手のテレビに表示されます。

お知らせ

- 黒い画面が約1秒間表示された後、次第に画像が鮮明になります。
- 静止画を送信中に【赤】を押すと、押した時点の画像が再度相手のテレビに送信されます。
- 低帯域のネットワークまたはパケットロスが多いネットワークの場合、鮮明な画像が表示されるのに時間がかかったり、ぶれた画像が表示されたりします。

3 【緑】を押す
- 静止画から通常のサブビデオカメラの映像に戻ります。

お知らせ

- 【緑】を押した後、黒い画面が約1秒間表示されます。

4 【共有終了】を押す
- メインビデオカメラの映像に戻ります。

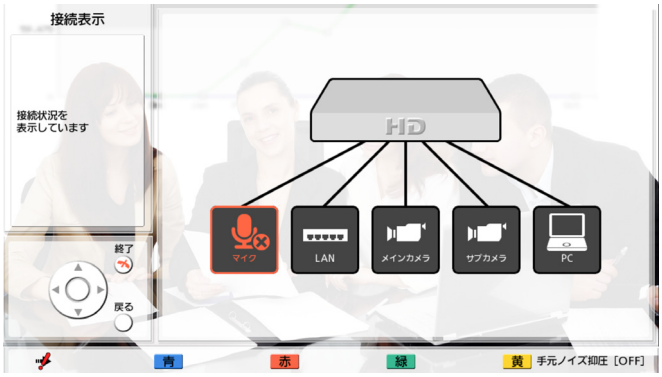
接続状況を表示する

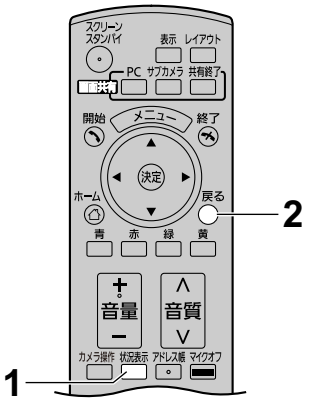
ネットワークや周辺機器の接続状況を確認することができます。

1 **【状況表示】**を押す

- 接続表示画面が表示されます。接続や接続機器に不具合がある箇所、または接続されていない機器がある箇所には「X」のマークが表示されます。

例：専用マイクの接続に不具合がある場合





お知らせ

- **「マイク」**には専用マイク／ヘッドセットの接続状況が表示されます。汎用マイクの接続状況は表示されません。
- 設定によりマイク検知設定を無効にしている場合、専用マイク／ヘッドセットの接続状況は表示されません（106 ページ）。

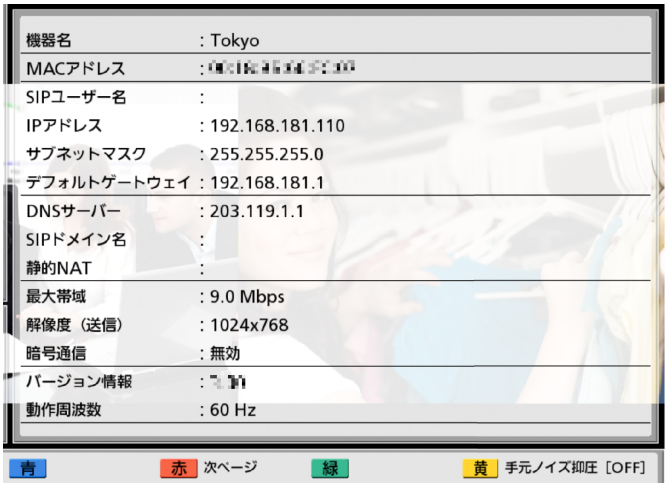
2 **【戻る】**を押す

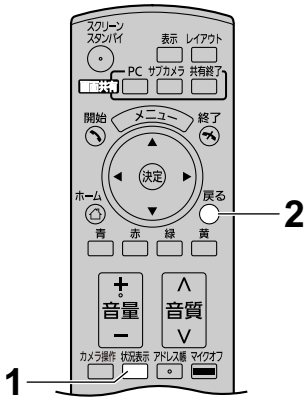
- 接続表示画面を表示させる前の画面に戻ります。

機器情報を表示する

1 【状況表示】を2回押す

- 機器情報表示画面が表示されます。

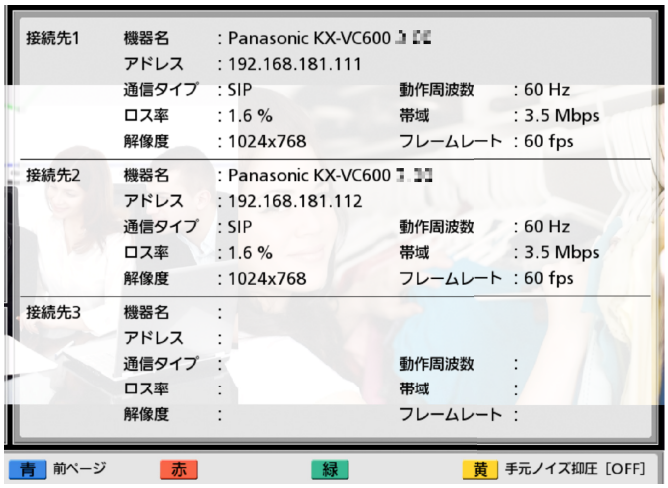




お知らせ

- SIPサーバーを使用していない場合、**「SIPユーザー名」**と**「SIPドメイン名」**には何も表示されません。
- **「暗号通信」**には暗号通信の有効／無効、**「解像度(送信)」**には映像送信時の解像度が表示されます。通信していない場合はいずれも表示されません。[*1]
  [*1] NGNモード使用時は、**「暗号通信」**は表示されません。また、**「SIPユーザー名」**ではなく**「電話番号」**が表示されます。
- 非通信中、通信タイプ設定画面で**「SIPの使用」**と**「H.323の使用」**の両方を**「する」**に設定している場合（122 ページ）、**【緑】**を押してSIP／H.323の機器情報表示画面を切り替えることができます。

- 通信中にこの操作を行った場合、**【赤】**を押して次の画面に切り替えることができます。**「接続先1」**、**「接続先2」**、**「接続先3」**には通信中の相手の機器名、IPアドレス（またはホスト名）／SIP-URI（またはSIPユーザー名）／MCUの会議室番号@IPアドレス／MCUのSIPユーザー名@IPアドレス／H.323内線番号／H.323名、パケットロス率、帯域、解像度、フレームレート、動作周波数がそれぞれ表示されます。[*2*3*4]
  [*2] NGNモード使用時は、**「アドレス」**は表示されず、**「電話番号」**が表示されます。
  [*3] MCU接続時、他社機接続時、H.323使用時は、**「動作周波数」**は表示されません。
  [*4] 通信相手によっては、**「機器名」**には何も表示されないことがあります。
- H.323を使用し、**「H.239の受信」**を**「する」**に設定している場合（107 ページ）、ひとつの接続先の情報の中に、複数の受信映像の情報が含まれることがあります。



2 **【戻る】**を押す
- 手順1を行う前の画面に戻ります。

拡張機能を有効にする

アクティベーションキーについて

別売のアクティベーションキーにより、以下のような機能の拡張ができます。
設定については、135 ページを参照してください。

品番（Model No.）	製品名	種類（Activation Key Type）	対象モデル	内容
KX-VCS301	アクティベーションキーカード（4地点接続拡張）	4地点接続拡張	KX-VC300	多地点発信機能を有効にします
KX-VCS302	アクティベーションキーカード（片方向配信拡張）	片方向配信拡張	KX-VC300 KX-VC600	片方向の映像と音声の多地点配信機能を有効にします
KX-VCS401	アクティベーションキーカード（1080フルHD拡張）	1080フルHD拡張	KX-VC300	フルHD解像度での映像送信機能を有効にします

お知らせ

- 一度ソフトウェアの拡張（135 ページ）により有効にした機能は、ソフトウェアを更新した後も、本機を初期化した後も有効です。
- 一度のソフトウェアの拡張（135 ページ）で有効にできる機能はひとつです。複数の機能を有効にしたい場合は続けてソフトウェアの拡張を行ってください。ソフトウェアの拡張毎に再起動が必要になります。
- 本体交換などでハードウェアが変わった場合は、Registration Key（レジストレーションキー）を再取得して再度機能を有効にする必要があります。この場合、Registration Key（レジストレーションキー）の再取得は無料です。

多地点発信を有効にする（KX-VC300のみ）

KX-VC300をご使用の場合、デフォルトでは3地点、4地点発信を利用できませんが、アクティベーションキーカード（KX-VCS301）によって機能を拡張することで3地点、4地点発信が可能になります（135 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

フルHD解像度での映像送信を有効にする（KX-VC300のみ）

KX-VC300をご使用の場合、送信する映像の最大解像度は、デフォルトではHD（1280 × 720）になりますが、アクティベーションキーカード（KX-VCS401）によって機能を拡張することでフルHD（1920 × 1080）を使用することが可能になります（135 ページ）。フルHD解像度で映像を送信するためには、最大解像度の設定を変更してください（105 ページ、142 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

アドレス帳に登録する

アドレス帳には相手先を最大300件まで登録することができます。

お知らせ

- 入力中に着信があると、応答するかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
  【◀】【▶】で、「はい」、「いいえ」を選び、【決定】を押す
  – 「はい」を選ぶと着信に応答し、入力中の内容は反映されず、破棄されます。
  – 「いいえ」を選ぶと、入力を続けることができます。
- 管理者メニューの設定で、アドレス帳の新規登録、編集、削除が行えないようにすることができます（131 ページ）。

新規に登録する

1地点を登録する

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「アドレス帳に登録」を選び、【決定】を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

標準モード使用時

「会議名／拠点名」：拠点名（全角、半角共通で最大24文字）を入力する（147 ページ）

「短縮ダイヤル」：短縮ダイヤル番号（1～300）を入力する

「最大帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で最大帯域（256 kbps、384 kbps、512 kbps、768 kbps、1.0 Mbps、1.2 Mbps、1.5 Mbps、2.0 Mbps、2.5 Mbps、3.0 Mbps、3.5 Mbps、4.0 Mbps、4.5 Mbps、5.0 Mbps、5.5 Mbps、6.0 Mbps、6.5 Mbps、7.0 Mbps、7.5 Mbps、8.0 Mbps、8.5 Mbps、9.0 Mbps、10.0 Mbps、指定なし［デフォルト］）を選ぶ

お知らせ

- 「指定なし」を設定した場合、通信設定画面（104 ページ）（発信元選択時は発信元設定画面［140 ページ］）で設定した最大帯域が適用されます。
- 標準モード使用時の通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。
- 販売店により設定された最大帯域より大きい値で通信することはできません。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 3地点通信を行う場合は、「1.0 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- 4地点通信を行う場合は、「1.5 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。

「通信タイプ」：【◀】【▶】で通信タイプ（SIPまたはH.323）を選ぶ

「多地点会議」：【◀】【▶】で「しない」を選ぶ

「アドレス」：IPアドレス（またはホスト名）、SIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名、またはMCUの会議室番号@IPアドレスを入力する

お知らせ

- IPアドレスを入力するとき、1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力して

ください。「.001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001

- 宛先の入力で入力可能な文字は37 ページを参照してください。
- 相手が自分と同じSIPドメイン名を設定している場合は、SIPユーザー名のみの入力で登録できます。自分と異なるSIPドメイン名の場合は、SIPユーザー名に加えてSIPドメイン名の入力が必要です。
- SIPドメイン名を入力しなかった場合は、自分のSIPドメイン名が自動的に付与され登録されます。意図しない相手を登録する可能性がありますのでご注意ください。
- H.323を使用する場合、IPアドレス（またはホスト名）%H.323内線番号（またはH.323名）を入力することができます。
- 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

NGNモード使用時
「拠点名」：拠点名（全角、半角共通で最大24文字）を入力する
「短縮ダイヤル」：短縮ダイヤル番号（**1**～**300**）を入力する
「最大帯域」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で最大帯域（**指定なし**［デフォルト］、**256 kbps**、**384 kbps**、**512 kbps**、**768 kbps**、**1.0 Mbps**、**1.2 Mbps**、**1.5 Mbps**、**2.0 Mbps**、**2.5 Mbps**、**3.0 Mbps**、**3.5 Mbps**、**4.0 Mbps**、**4.5 Mbps**、**5.0 Mbps**、**5.5 Mbps**、**6.0 Mbps**、**6.5 Mbps**、**7.0 Mbps**、**7.5 Mbps**、**8.0 Mbps**、**8.5 Mbps**、**9.0 Mbps**、**10.0 Mbps**）を選ぶ

お知らせ

- NGNモード使用時の通信中は、発信側の最大帯域が適用されます。
- NGNモード使用時は、ご契約タイプにより利用可能な帯域が異なります。利用可能な帯域をご確認のうえ、設定を行ってください。
- NGNモード使用時は、ご利用帯域により料金が異なる場合があります。料金をご確認のうえ、設定を行ってください。

「電話番号」：電話番号（最大32桁）を入力する

お知らせ

- 3桁の電話番号を入力することはできません。

4 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- アドレス帳画面が表示されます。

お知らせ

- 連続して登録したい場合は、**【青】**を押して、手順**3**～**5**をくり返してください。

6 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

多地点を登録する

お知らせ

- NGNモード使用時またはH.323使用時は、多地点を登録することはできません。
- KX-VC300をご使用の場合、 アクティベーションキーカード（KX-VCS301）により多地点発信機能を有効にした後のみ多地点を登録することができます（135 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**アドレス帳に登録**」を選び、【**決定**】を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「**会議名／拠点名**」：会議名（全角、半角共通で最大24文字）を入力する（147 ページ）

「**短縮ダイヤル**」：短縮ダイヤル番号を入力する（1～300）

「**多地点会議**」：【◀】【▶】で「**2拠点**」、「**3拠点**」を選ぶ

「**拠点名1**」／「**拠点名2**」／「**拠点名3**」：次の手順でアドレス帳画面から選ぶ

1 【▲】【▼】で「**拠点名1**」／「**拠点名2**」／「**拠点名3**」を選ぶ

2 【**決定**】を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で相手を選ぶ

- 【◀】【▶】、または数字ボタンを押すと、「**ア**」～「**ワ**」、「**A-Z**」、「**他**」から表示するタブ（行）が選べます（42 ページ）。

4 【**決定**】を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。

お知らせ

- 「**多地点会議**」で「**2拠点**」または「**3拠点**」を設定した場合、通信設定画面（104 ページ）（発信元選択時は発信元設定画面［140 ページ］）で設定した最大帯域が適用されます。

4 【**緑**】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

お知らせ

- 連続して登録したい場合は、【**青**】を押して、手順**3**～**5**をくり返してください。

6 【**ホーム**】を押す

- ホーム画面が表示されます。

登録内容を編集する

1 【**メニュー**】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**アドレス帳を開く**」を選び、【**決定**】を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で編集したい相手を選ぶ

- 【◀】【▶】、または数字ボタンを押すと、「**ア**」～「**ワ**」、「**A-Z**」、「**他**」から表示するタブ（行）が選べます（42 ページ）。

4 【**決定**】を押す

- アドレス帳詳細画面が表示されます。

5 【緑】を押す

- アドレス帳修正画面が表示されます。

6 【▲】【▼】で編集したい項目を選び、編集する（147 ページ）

7 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

8 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- アドレス帳詳細画面が表示されます。

9 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

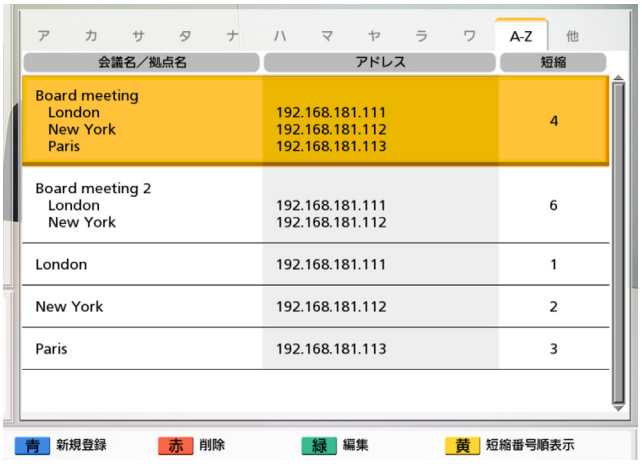
登録を削除する

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「アドレス帳を開く」を選び、【決定】を押す

- アドレス帳画面が表示されます。



3 【▲】【▼】で削除したい登録先を選ぶ

- 【◀】【▶】、または数字ボタンを押すと、「ア」～「ワ」、「A-Z」、「他」から表示するタブ（行）が選べます（42 ページ）。

4 【赤】を押す

- 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- アドレス帳画面が表示されます。

6 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

履歴から登録する

1地点を登録する

発着信履歴から相手先をアドレス帳に登録することができます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、着信履歴に「非通知」と表示されている場合、アドレス帳に登録することはできません。

- 規格に準拠していないなどの理由から、着信履歴のSIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名をアドレス帳に登録できない場合があります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「履歴を見る」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信履歴一覧画面が表示されます。

お知らせ
- **【緑】**を押すと、着信履歴を表示することができます。

3 **【▲】【▼】**で登録したい1地点の履歴を選び、**【青】**を押す
- アドレス帳登録画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で必要な項目を選び、入力する（147 ページ）

5 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信履歴一覧画面または着信履歴一覧画面が表示されます。手順**2**で表示した画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

多地点を登録する

発信履歴から多地点をアドレス帳に登録することができます。

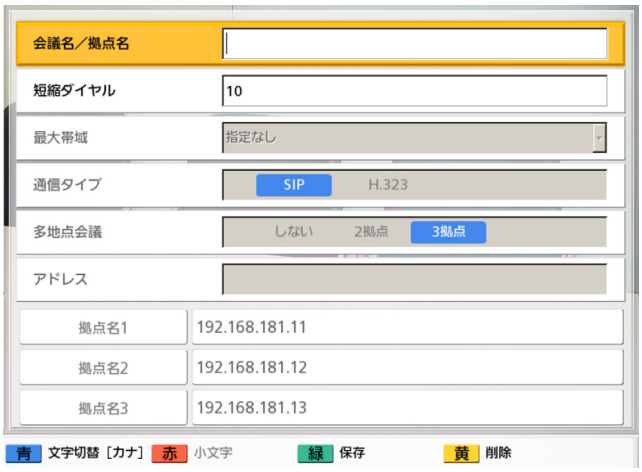
お知らせ
- 履歴から多地点をアドレス帳に登録すると、各地点がそれぞれ自動的に1地点として登録され、**「会議名／拠点名」**にはIPアドレス（またはホスト名）またはSIP-URI（またはSIPユーザー名）が登録されます。
- NGNモード使用時またはH.323使用時は、多地点を登録することはできません。
- 規格に準拠していないなどの理由から、着信履歴のSIP-URI（またはSIPユーザー名）をアドレス帳に登録できない場合があります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- KX-VC300をご使用の場合、 アクティベーションキーカード（KX-VCS301）により多地点発信機能を有効にした後のみ多地点を登録することができます（135 ページ）。アクティベーションキーの詳細については、販売店にお問い合わせください。

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「履歴を見る」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信履歴一覧画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で登録したい多地点の履歴を選び、【青】を押す

- アドレス帳登録画面が表示されます。



4 【▲】【▼】で必要な項目を選び、入力する（147 ページ）

5 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 履歴一覧画面が表示されます。

7 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

システムの設定をする

お知らせ

- 入力中に着信があると、応答するかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
  【◀】【▶】で「はい」、「いいえ」を選び、【決定】を押す
  - 「はい」を選ぶと着信に応答し、入力中の内容は反映されず、破棄されます。
  - 「いいえ」を選ぶと、入力を続けることができます。

機器名称を設定する

1 【メニュー】を押す

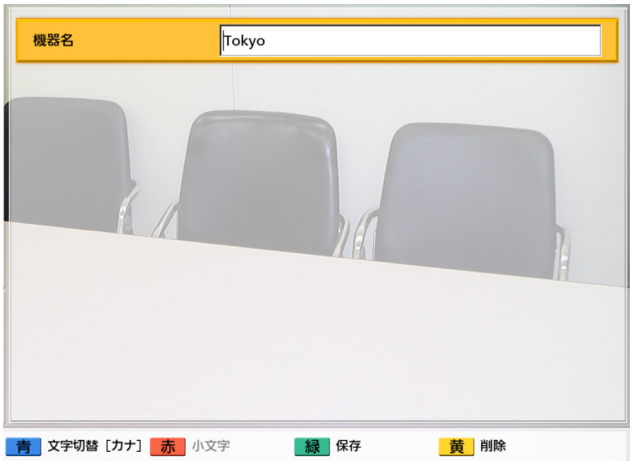
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「機器の設定」を選び、【決定】を押す

- 機器名称の設定画面が表示されます。



4 機器名称（全角、半角共通で最大24文字）を入力する（147 ページ）

お知らせ

- ＆＜＞，” を使用したい場合は、カナモード（全角）で入力してください。

5 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては保存に時間がかかる場合があります。

7 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

日時を設定する

1 【メニュー】を押す

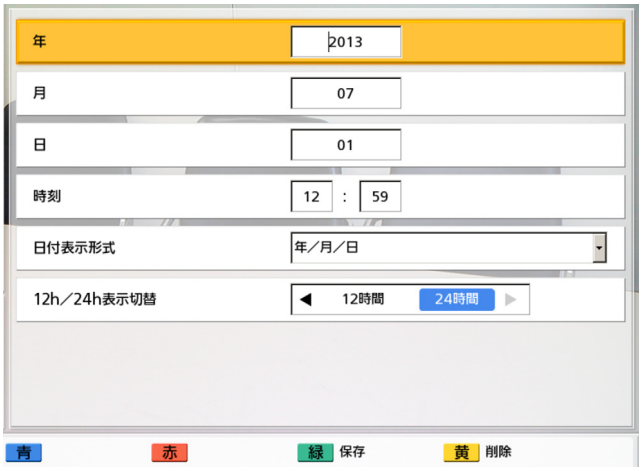
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「日時の設定」を選び、【決定】を押す

- 日時の設定画面が表示されます。



4 【▲】【▼】で項目を選び、情報を入力する

- 西暦（4桁）、月（1～2桁）、日（1～2桁）、時刻（24時間表示）を入力し、日付表示形式（月／日／年、日／月／年、年／月／日）、時間表示（12時間／24時間）を選択してください。

5 【緑】を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

ネットワークの設定をする

お知らせ

- NGNモード使用時は、自動的にネットワーク設定が行われるため、この設定を行うことはできません。
- 管理者メニューの設定で、ネットワークの設定画面を表示しないようにすることができます（131 ページ）。

1 【メニュー】を押す

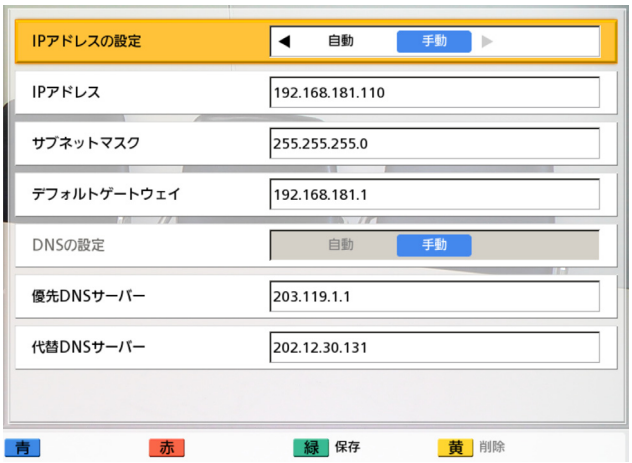
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「**ネットワークの設定**」を選び、【**決定**】を押す

- ネットワークの設定画面が表示されます。



4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「**IPアドレスの設定**」:【◀】【▶】で本機のIPアドレス情報（「**IPアドレス**」、「**サブネットマスク**」、「**デフォルトゲートウェイ**」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

– 「**自動**」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。

– 「**手動**」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「**自動**」に設定していても、ネットワーク障害の発生などによりIPアドレス情報を取得できない場合があります。この場合、ホーム画面の右上に「**アドレス未取得**」と表示されます。ネットワーク管理者にご相談ください。

「**IPアドレス**」：本機のIPアドレスを入力する
「**サブネットマスク**」：サブネットマスクを入力する
「**デフォルトゲートウェイ**」：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「**IPアドレス**」、「**サブネットマスク**」、「**デフォルトゲートウェイ**」は、「**IPアドレスの設定**」を「**手動**」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「**IPアドレス**」、「**サブネットマスク**」、「**デフォルトゲートウェイ**」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

「**DNSの設定**」:【◀】【▶】でDNSサーバーのIPアドレス情報（「**優先DNSサーバー**」、「**代替DNSサーバー**」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

– 「**自動**」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。

– 「**手動**」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「**自動**」を選ぶには、「**IPアドレスの設定**」を「**自動**」に設定している必要があります。
- 次の機能を使用するためには、DNSサーバーの設定が必要です。
  – ホスト名での発信
  – ホスト名でのSIPサーバー／ゲートキーパーアドレスの設定
  – バージョンアップの確認
  – ネットワークからの最新バージョンのダウンロード

「**優先DNSサーバー**」：優先DNSサーバーのIPアドレスを入力する
「**代替DNSサーバー**」：代替DNSサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「**優先DNSサーバー**」、「**代替DNSサーバー**」は、「**DNSの設定**」を「**手動**」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「**優先DNSサーバー**」、「**代替DNSサーバー**」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

5 【**緑**】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

7 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

通信の設定をする

お知らせ

- 管理者メニューの設定で、通信設定画面を表示しないようにすることができます（131 ページ）。

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で「通信の設定」を選び、【決定】を押す

- 通信設定画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

- 項目は3画面に渡って表示されます。【赤】を押すと次の画面へ、【青】を押すと前の画面へ移動し、すべての項目を表示することができます。

お知らせ

- 画面を移動する前に、変更した設定内容を保存する必要があります。
- 通信タイプ設定画面（122 ページ）で「SIPの使用」を「しない」に設定している場合、「暗号通信（SIP）」、「優先制御」、「音声通信」、「静止画送信時の解像度」、「PC共有時の画面合成」は設定できません。
- 通信タイプ設定画面（122 ページ）で「H.323の使用」を「しない」に設定している場合、「暗号通信（H.323）」、「H.239の受信」は設定できません。

「着信時の応答方法」：【◀】【▶】で着信方法（「手動応答」［デフォルト］、「自動応答」）を選ぶ（50 ページ）

「最大帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で最大帯域（256 kbps、384 kbps、512 kbps、768 kbps、1.0 Mbps、1.2 Mbps、1.5 Mbps、2.0 Mbps、2.5 Mbps、3.0 Mbps、3.5 Mbps、4.0 Mbps、4.5 Mbps、5.0 Mbps、5.5 Mbps、6.0 Mbps、6.5 Mbps、7.0 Mbps、7.5 Mbps、8.0 Mbps、8.5 Mbps、9.0 Mbps［デフォルト］、10.0 Mbps）を選ぶ

お知らせ

- 標準モード使用時の通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。
- NGNモード使用時の通信中は、発信側の最大帯域が適用されます。
- 販売店により設定された最大帯域より大きい値を設定することはできません。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 3地点通信を行う場合は、「1.0 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- 4地点通信を行う場合は、「1.5 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- NGNモード使用時は、ご契約タイプにより利用可能な帯域が異なります。利用可能な帯域をご確認のうえ、設定を行ってください。

- NGNモード使用時は、ご利用帯域により料金が異なる場合があります。料金をご確認のうえ、設定を行ってください。

「暗号通信（SIP)」／「暗号通信（H.323)」：**【◀】【▶】**で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ

– **「有効」**：暗号通信を有効にします。
– **「無効」**（デフォルト）：暗号通信を無効にします。

お知らせ

- NGNモード使用時は、**「暗号通信（SIP)」／「暗号通信（H.323)」**は表示されません。
- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。
- **「暗号通信（SIP)」／「暗号通信（H.323)」**の設定ができない場合は、ネットワーク管理者にご連絡ください。

「画質」：**【◀】【▶】**で映像の動きのなめらかさと解像度のどちらを優先させるかを選ぶ

– **「動き優先」**（デフォルト）：動きのなめらかさを優先させます。
– **「解像度優先」**：画質を優先させます。

お知らせ

- 通信参加者の中に、2.30より古いバージョンのソフトウェア（2.30は含みません）を使用している相手がいる場合、常に**「動き優先」**になります。

「最大解像度」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で通信中のメインビデオカメラとサブビデオカメラの最大解像度を選ぶ

– **「フルHD」**：最大解像度： 1920 × 1080
– **「HD」**（デフォルト［KX-VC300使用時］）：最大解像度： 1280 × 720
– **「自動」**（デフォルト［KX-VC600使用時］）：利用可能な帯域に基づいて、**「フルHD」**または**「HD」**を選びます。

お知らせ

- 推奨設定値は**「自動」**または**「HD」**です。
- KX-VC300をご使用の場合、**「最大解像度」**を**「フルHD」**に設定、または**「画質」**を**「動き優先」**に設定して**「最大解像度」**を**「自動」**に設定するためには、アクティベーションキーカード（KX-VCS401）によりフルHD解像度での映像送信機能を有効にする必要があります（135 ページ）。
- **「画質」**で**「解像度優先」**に設定している場合、**「フルHD」**、**「HD」**は最大解像度で固定となります。ネットワークの状態に応じて解像度を切り替えたい場合は、**「自動」**を設定してください。
- 低帯域ネットワークを使用したり、帯域を低く設定したりしている場合、**「画質」**を**「解像度優先」**に設定すると、映像の表示が遅れる可能性があります。
- **「画質」**で**「動き優先」**に設定している場合、**「フルHD」**を設定し、帯域が低い通信相手と通信を行うと、**「HD」**または**「自動」**を設定した場合よりも、低い解像度になる可能性があります。
- 3地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。
- 4地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラとサブビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。
- MCU接続または他社機接続の場合、いずれを選んでも動作には影響しません。

「優先制御」：**【◀】【▶】**で低帯域時やネットワーク混雑時に、音声と映像のどちらを優先させるかを選ぶ

– **「音声優先」**（デフォルト）：低帯域時の音声品質を優先させ、ネットワーク混雑時の音声の乱れを防止します。
– **「映像優先」**：低帯域時やネットワーク混雑時でも、映像品質を優先させます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、**「優先制御」**は表示されません。
- MCU接続または他社機接続の場合、いずれを選んでも動作には影響しません。
- 通信参加者の中に、2.30より古いバージョンのソフトウェア（2.30は含みません）

を使用している相手がいる場合、常に**「音声優先」**になります。

「音声通信」：**【◀】【▶】**で、低帯域時やネットワーク混雑時に、音声のみの通信（音声通信）に切り替えるかどうかを選ぶ。音声通信中、相手拠点には自拠点の映像ではなくブルーバック画面が送信される。

– **「有効」**：低帯域時やネットワーク混雑時に音声のみの通信になります。
– **「無効」**（デフォルト）：低帯域時やネットワーク混雑時も、音声のみの通信にはなりません。

お知らせ

- NGNモード使用時は、**「音声通信」**は表示されません。
- **「有効」**を選ぶには、**「優先制御」**で**「音声優先」**を選んでいる必要があります。
- 音声通信中はコンテンツ共有はできません。
- MCU接続または他社機接続の場合、いずれを選んでも動作には影響しません。
- 通信参加者の中に2.30より古いバージョンのソフトウェア（2.30は含みません）を使用している相手がいる場合、**「音声通信」**を**「有効」**にしていても、音声のみの通信にはなりません。
- ブルーバック表示に切り替わるまでに、時間がかかる場合があります。切り替わるまでの間、映像が乱れることがあります。

「静止画送信時の解像度」：**【◀】【▶】**でサブビデオカメラから静止画を送信するときの解像度を選ぶ

– **「フルHD」**（デフォルト［KX-VC600使用時］）：静止画の解像度はフルHDになります。
– **「HD」**（デフォルト［KX-VC300使用時］）：静止画の解像度はHDになります。

お知らせ

- NGNモード使用時は、**「静止画送信時の解像度」**は表示されません。
- MCU接続または他社機接続の場合、いずれを選んでも動作には影響しません。
- 低帯域のネットワークまたはパケットロスが多いネットワークの場合、**「HD」**を推奨します。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- KX-VC300をご使用の場合、**「フルHD」**に設定するためには、アクティベーションキーカード（KX-VCS401）によりフルHD解像度での映像送信機能を有効にする必要があります（135 ページ）。
- 4地点通信中は**「フルHD」**に設定していても、解像度は**「HD」**になります。

「着信時のマイクオフ」：**【◀】【▶】**で応答して通信を開始した時のマイクを、マイクオフするかどうかを選ぶ

– **「する」**：マイクをマイクオフします。
– **「しない」**（デフォルト）：マイクをマイクオフしません。

「最長通信時間」：1回の通信で、連続通信できる最長時間（時間・分）を入力する

お知らせ

- 0時間0分（デフォルト）に設定すると、通信時間に制限はありません。
- 設定した通信時間が経過すると、自動的に通信が切断されます。

「マイク状態表示」：**【◀】【▶】**で専用マイク／ヘッドセットの接続状況検知を有効にするかどうかを選ぶ

– **「する」**（デフォルト）：専用マイク／ヘッドセットの検知を有効にします。
– **「しない」**：専用マイク／ヘッドセットの検知を無効にします。

お知らせ

- 専用マイク／ヘッドセットを使用していないときは、**「しない」**に設定してください。

「ネットワーク状況アイコン表示」：**【◀】【▶】**でネットワーク状況アイコンを表示するかどうかを選ぶ

– **「する」**（デフォルト）：ネットワーク状況アイコンを表示します。
– **「しない」**：ネットワーク状況アイコンを非表示にします。

「通信開始時のガイド表示」：**【◀】【▶】**で通信開始時のガイドエリアを表示をするかどうかを選ぶ

– **「する」**（デフォルト）：ガイドエリアを表示します。
– **「しない」**：ガイドエリアを非表示にします。

「通信開始時の手元ノイズ抑圧」（KX-VC600使用時のみ）：**【◀】【▶】**で通信開始時のノイズ抑圧機能を有効にするかどうかを選ぶ

– **「ON」**：ノイズ抑圧機能を有効にします。
– **「OFF」**（デフォルト）：ノイズ抑圧機能を無効にします。

「ＰＣ共有時の画面合成」（KX-VC600使用時のみ）：**【◀】【▶】**でパソコン画面共有時の画面合成機能を有効にするかどうかを選ぶ

– **「する」**（デフォルト）：画面合成機能を有効にします。
– **「しない」**：画面合成機能を無効にします。

「H.239の受信」：**【◀】【▶】**で**「する」**（デフォルト）、**「しない」**を選ぶ

お知らせ

- NGNモード使用時は、**「H.239の受信」**は表示されません。
- **「する」**を選ぶには、**「H.323の使用」**を**「する」**に設定している必要があります（123 ページ）。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては保存に時間がかかる場合があります。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

スクリーンスタンバイの設定をする

ある一定期間、リモコンの操作を行わない場合や着信がない場合、スクリーンスタンバイ状態に移行します。スクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定することができます。

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定／保守をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「スタンバイの設定」**を選び、**【決定】**を押す

- スクリーンスタンバイ設定画面が表示されます。

4 本機がスクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間（分）（**0**～**99**）を入力する（デフォルト：**10**）

お知らせ

- **「0」**に設定した場合、本機は自動的にはスクリーンスタンバイ状態に移行しません。リモコンの**【スクリーンスタンバイ】**を押すと、**「0」**に設定した場合でも、スクリーンスタンバイ状態に移行します。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

音の設定をする

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を押す

- 次のページが表示されます。

4 【▲】【▼】で「音の設定」を選び、【決定】を押す

- 音設定画面が表示されます。

5 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「起動音量」：【決定】を押し、【▲】【▼】で起動時の音量レベル（「切」、「小」、「中」［デフォルト］、「大」）を選ぶ

「発信音量」：【決定】を押し、【▲】【▼】で発信音の音量レベル（「切」、「小」、「中」［デフォルト］、「大」）を選ぶ

お知らせ

- 話し中の音の音量レベルは、発信音の音量と同じになります。

「着信音量」：【決定】を押し、【▲】【▼】で着信音の音量レベル（「切」、「小」、「中」［デフォルト］、「大」）を選ぶ

「通信開始時の音量」：【◀】【▶】で通信開始時の音量レベル（0～20）を選ぶ（デフォルト：16）

「通信開始時の音質」：【決定】を押し、【▲】【▼】で通信開始時の音質（「高音強調」、「標準」［デフォルト］、「低音強調」、「音声」、「音楽」）を選ぶ（78 ページ）

お知らせ

- 【赤】を押すと以下の項目を試聴することができます。
  - 「起動音量」
  - 「発信音量」
  - 「着信音量」

6 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

8 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

マイク位置の設定をする（KX-VC600のみ）

テレビから見た、専用デジタルマイクの集音位置を設定することができます。音声が通信相手に送信されると、設定した集音位置に基づいたステレオ音声で相手に聞こえます。

マイク位置を自動で設定する

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を押す

- 次のページが表示されます。

4 【▲】【▼】で「**マイク位置の設定**」を選び、【**決定**】を押す

- おまかせ設定画面が表示されます。

お知らせ

- ユーザー設定画面が表示されている場合、【**青**】を押して、おまかせ設定画面に切り替えてください。

5 【**緑**】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- システム設定画面が表示されます。

お知らせ

- 接続する専用デジタルマイクの台数により、専用デジタルマイクの出力は次のとおり異なります。
  - 2台以上の専用デジタルマイクを接続した場合：
    モノラル
  - 1台の専用デジタルマイクを接続した場合：
    ステレオ
- 専用デジタルマイクと専用アナログマイクを同時に接続した場合、専用マイクの出力はどちらもモノラルになります。

7 【**ホーム**】を押す

- ホーム画面が表示されます。

マイク位置を手動で設定する

1 【**メニュー**】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**設定／保守をする**」を選び、【**決定**】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を押す

- 次のページが表示されます。

4 【▲】【▼】で「**マイク位置の設定**」を選び、【**決定**】を押す

- おまかせ設定画面が表示されます。

お知らせ

- ユーザー設定画面が表示されている場合は、手順**6**にすすんでください。

5 【**青**】を押す

- ユーザー設定画面が表示されます。

6 【▲】【▼】で設定したい専用デジタルマイクを選び、【決定】を押す

7 【▲】【▼】で専用デジタルマイクの集音位置を選ぶ

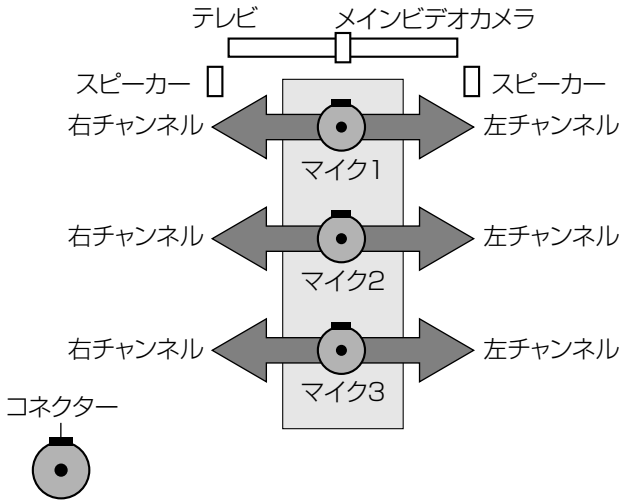
「左側」：左側の音声として送信される
「右側」：右側の音声として送信される
「中央モノラル」：すべての音声が左右両方のスピーカーへ同じ音量で送信される
「中央ステレオ」：マイクに集音された左右の音声がそれぞれ左側と右側のスピーカーへ同じ音量で送信される

お知らせ

- 専用デジタルマイクを**「中央ステレオ」**に設定する場合、専用デジタルマイクのコネクターを必ずテレビ側に向けて専用デジタルマイクを設置してください。
- 専用デジタルマイクと専用アナログマイクを同時に接続した場合、専用マイクの出力は次のとおり異なります。
  - 専用デジタルマイク：
    手動で設定した出力
  - 専用アナログマイク：
    モノラル
- 次の図中の設定値は、メインビデオカメラ側から見たチャンネルの左右を記載しています。

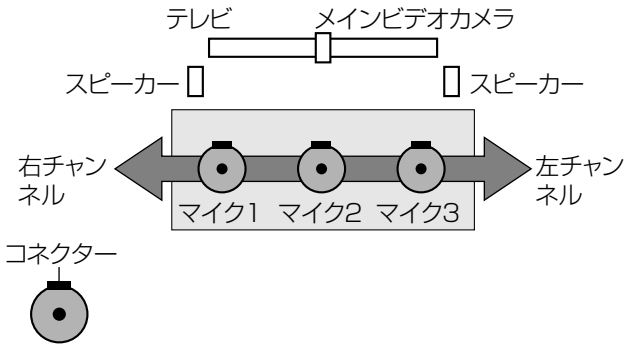
専用デジタルマイクの集音位置の設定例は次のとおりです。

専用デジタルマイクをテレビに対して垂直に設置する場合：



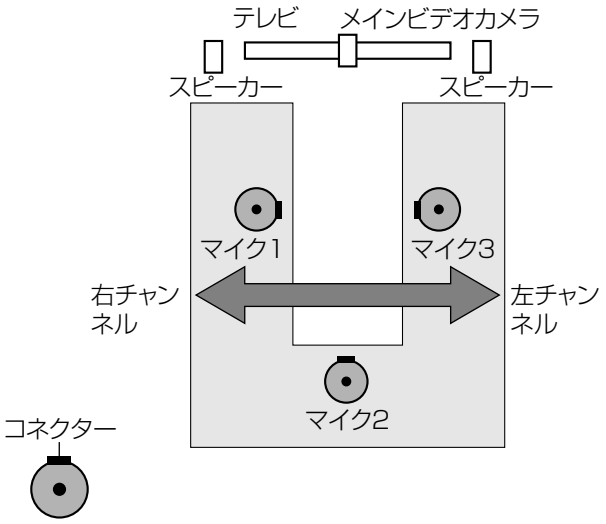
マイク1：**「中央ステレオ」**
マイク2：**「中央ステレオ」**
マイク3：**「中央ステレオ」**

専用デジタルマイクをテレビに対して平行に設置する場合：



マイク1：**「右側」**
マイク2：**「中央モノラル」**
マイク3：**「左側」**

専用デジタルマイクを次のように設置する場合：



マイク1：**「右側」**
マイク2：**「中央モノラル」**
マイク3：**「左側」**

お知らせ

- 専用デジタルマイクの近くで音を鳴らしてください。音を拾った専用デジタルマイクに「▶」が表示されます。
- 専用デジタルマイクをマイクオフしている場合は、「▶」は表示されません。
- 複数の専用デジタルマイクが同時に音を拾った場合、「▶」は表示されません。
- 専用デジタルマイクをマイクオフしているときに、マイクオフボタンを押すと、押したときの音を拾って「▶」が表示される場合があります。

8 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

9 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

10 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 設定後、専用デジタルマイクを移動しないでください。設定が専用デジタルマイクの位置と合わなくなる場合があります。

リモコンの設定をする

リモコンと本体にリモコンID（1、2、3）を設定することができます。
リモコンIDが同じリモコンからの信号に本体は反応します。リモコンIDを設定しない場合、本体はすべてのリモコンからの信号に反応します。ホーム画面で本体のリモコンIDを確認することができます（32 ページ）。

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定／保守をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「リモコンの設定」**を選び、**【決定】**を押す

- リモコン設定画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する
「リモコンIDの設定」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

- **「する」**を選ぶと、本体のリモコンIDを設定することができます。
- **「しない」**を選ぶと、本体はすべてのリモコンに反応します。

「本体のリモコンID」：**【◀】【▶】**で本体のリモコンID（**「ID1」**［デフォルト］、**「ID2」**、**「ID3」**）を選ぶ

「IDの不一致確認」：**【◀】【▶】**で**「する」**（デフォルト）、**「しない」**を選ぶ

- **「する」**を選ぶと、本体に設定したIDと異なるリモコンからの信号を、ホーム画面を表示中に受信したとき、警告画面が表示されます。画面上の次の手順に従って、リモコンIDを変更してください。
- **「しない」**を選ぶと、本体に設定したIDと異なるリモコンから信号を受信しても、ホーム画面に警告画面は表示されません。

お知らせ

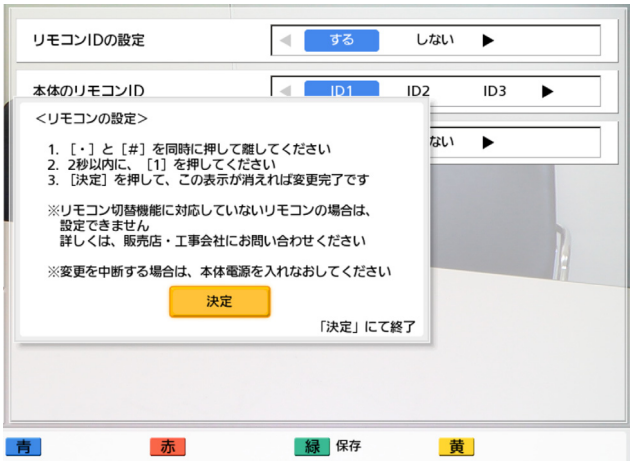
- 近くで複数のリモコンIDを使用している場合は、**「IDの不一致確認」**を**「しない」**に設定してください。

6 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

8 **「リモコンIDの設定」を「する」に設定している場合**（111 ページ）：
リモコンのIDを変更するダイアログボックスが表示されます。手順**9**にすすんでください。



お知らせ

- ダイアログボックスが表示されている間は、着信できません。

「リモコンIDの設定」を「しない」に設定している場合（111 ページ）：
システム設定画面が表示されます。**【ホーム】**を押して、ホーム画面に戻ります。

9 次の手順に従って、リモコンのIDを変更する

1 **【・】**と**【#】**を同時に押したままにする

2 ボタンを離して2秒以内に、手順**4**の**「本体のリモコンID」**で設定したIDと一致する番号（**1**～**3**）を押す

- **1**: ID1
- **2**: ID2
- **3**: ID3

10 **【決定】**を押す

- ダイアログボックスが消えて、本体のリモコンIDが保存されます。

お知らせ

- ダイアログボックスが消えない場合は、上記の手順をくり返し実行してください。何度実行してもダイアログボックスが消えない場合は、電源を一度切ったあと再度入れ

直して、設定を中止してください。詳細については、販売店へお問い合わせください。

11 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

言語の設定をする

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を押す

- 次のページが表示されます。

4 【▲】【▼】で「言語の設定」を選び、【決定】を押す

- 言語設定画面が表示されます。

5 【決定】を押し、【▲】【▼】で言語を選ぶ

お知らせ

- 選択可能な言語は以下のとおりです：
「日本語」（デフォルト）、
「English(US)」：米語、
「English(UK)」：英語、「Deutsch」：ドイツ語、「Français(FR)」：本国フランス語、「Français(CFR)」：カナダフランス語、「Italiano」：イタリア語、
「Español」：スペイン語、
「Nederlands」：オランダ語、
「Português」：ポルトガル語、
「Ｒｕｓｓｋｉｙｊａｚｙｋ」：ロシア語、
「简体中文」：中国語
- NGNモード使用時は、「日本語」以外は選べません。

6 【決定】を押す

7 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

8 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が選択した言語で表示されます。

お知らせ

- 誤って希望しない言語に切り替えてしまった場合は、次の手順で設定を変更してください。
  1. 【ホーム】を押す
  2. 【メニュー】を押す
  3. 【▼】を4回押して上から5つ目の項目を選び、【決定】を押す
  4. 【▶】を押す
     - 次のページが表示されます。
  5. （KX-VC300使用時）
     【▼】を2回押して上から3つ目の項目を選び、【決定】を押す
     （KX-VC600使用時）
     【▼】を3回押して上から4つ目の項目を選び、【決定】を押す
     - 言語設定画面が表示されます。
  6. 手順5からやり直す

9 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

配信の設定をする

お知らせ

- 片方向配信機能で使用する設定です。
  詳細については、販売店にお問い合わせください。

ビデオカメラの設定をする

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「カメラの設定」を選び、【決定】を押す

- ビデオカメラ設定画面が表示されます。

5 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「通信相手からのカメラ制御」：【◀】【▶】で、通信相手からのビデオカメラ操作を許可するかどうかを選ぶ

– 「有効」：通信相手からのビデオカメラ操作を許可します。
– 「無効」（デフォルト）：通信相手からのビデオカメラ操作を許可しません。

「パン方向」：【◀】【▶】で、リモコンのボタンを押したときに自分側のビデオカメラが動く方向を選ぶ

– 「通常」（デフォルト）：ビデオカメラ側から見た左右方向に動きます。
– 「逆方向」：被写体側から見た左右方向に動きます。

「固定カメラのリモコン受信」：【◀】【▶】で、リモコンでの操作を、固定カメラ側で受けるか本機側で受けるかを選ぶ

– 「有効」：リモコンでの操作を固定カメラ側で受けます。
– 「無効」（デフォルト）：リモコンでの操作を本機側で受けます。

お知らせ

- 固定カメラが接続されていない場合、または固定カメラの機種によっては、「有効」を選んでいても、本機側でリモコン操作を受けます。

6 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

8 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

システムのメンテナンスをする

機器情報を表示する

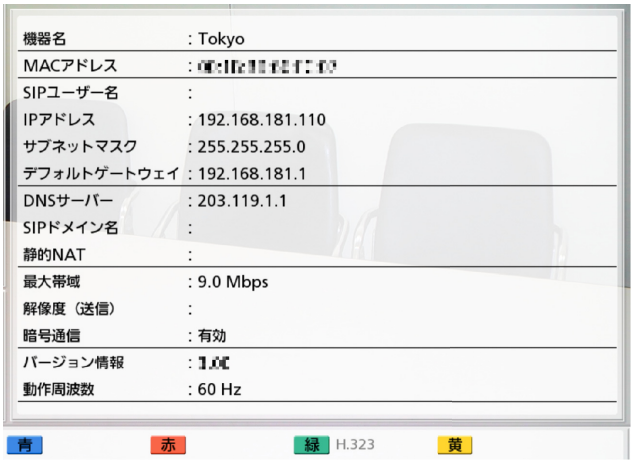
本機の設定情報を表示することができます。

1 【メニュー】を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**設定／保守をする**」を選び、【決定】を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を3回押す
- 4ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「**機器情報の表示**」を選び、【決定】を押す
- 機器情報表示画面が表示されます（93 ページ）。



5 【ホーム】を押す
- ホーム画面が表示されます。

拡張機能の確認を行う

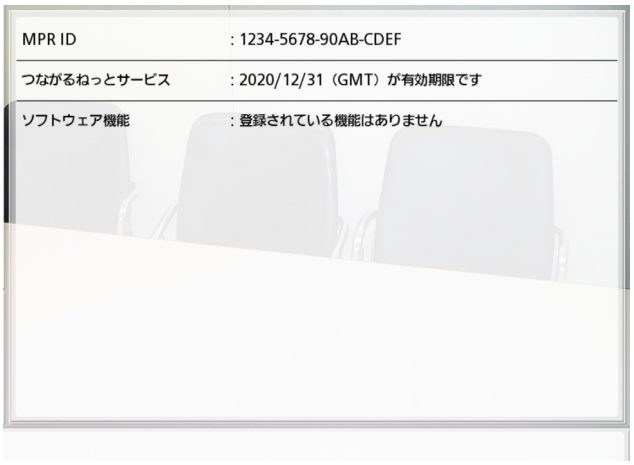
ソフトウェアの拡張（135 ページ）により有効にした機能を確認することができます。

1 【メニュー】を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**設定／保守をする**」を選び、【決定】を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を3回押す
- 4ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「**拡張機能の確認**」を選び、【決定】を押す
- 拡張機能の確認画面が表示されます。



お知らせ
- 「**ソフトウェア機能**」の詳細については 136 ページを参照してください。

5 【ホーム】を押す
- ホーム画面が表示されます。

ネットワーク接続の確認を行う

IPアドレスを指定して、ネットワーク接続を確認することができます。

お知らせ
- アドレス帳画面または履歴一覧画面からネットワーク接続の確認を行うことはできません。

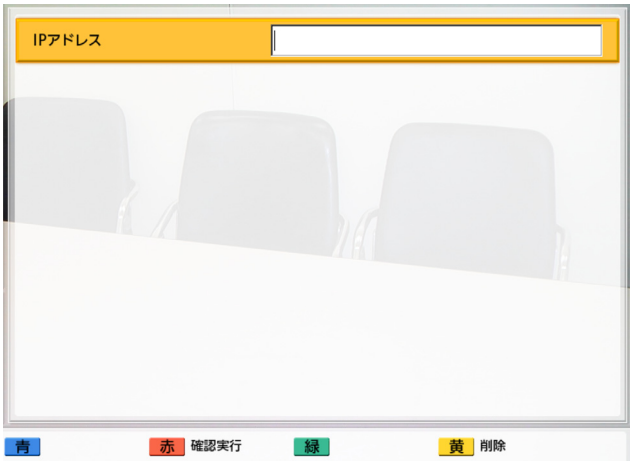
- NGNモード使用時は、販売店によりネットワーク接続の確認が行われます。詳細については、販売店へお問い合わせください。

1 【メニュー】を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を3回押す
- 4ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「ネットワークの確認」を選び、【決定】を押す
- ネットワーク接続の確認画面が表示されます。



5 IPアドレスを入力する

お知らせ
- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

6 【赤】を押す
- ネットワーク接続の確認を開始します。ネットワーク接続の確認が終わった後、確認が成功またはタイムアウトした場合は、結果の詳細が表示されます。確認が失敗した場合は、失敗を示すメッセージが表示されます。

7 【ホーム】を押す
- ホーム画面が表示されます。

自己診断を行う

相手側のテレビに表示される映像やスピーカーから聞こえる音声を、通信を開始する前に、自分側のテレビとスピーカーで確認することができます。

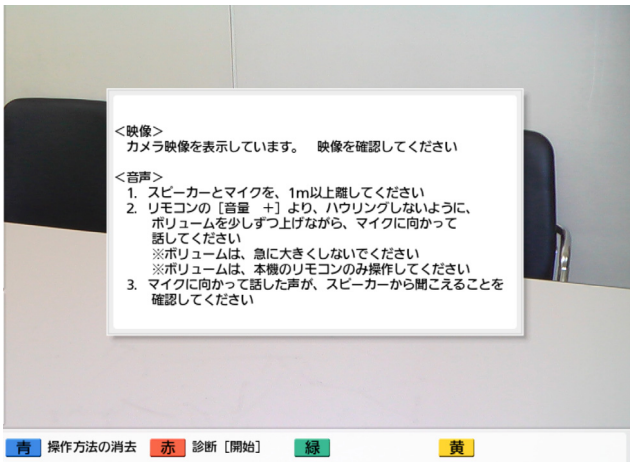
お知らせ
- ヘッドセットを接続している場合でも、自己診断を行うことができます。

1 【メニュー】を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を3回押す
- 4ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「自己診断」を選び、【決定】を押す
- 自己診断画面とダイアログボックスが表示されます。



お知らせ

- 【青】を押すと、ダイアログボックスを表示／非表示にできます。
- マイクをスピーカーから最低1m以上離してください。

5 【赤】を押す

- 自己診断を開始します。

お知らせ

- メインビデオカメラからの映像を確認してください。
- ハウリングを避けるため、音量はリモコンの【+】で少しずつ上げてください。
- マイクに向かって話し、スピーカーから音声が聞こえるか確認してください。
- 自己診断中は、すべての専用マイクが**「中央ステレオ」**になります。
- 自己診断中の音質は**「標準」**になります。
- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては自己診断の開始に時間がかかる場合があります。

6 【赤】を押す

- 自己診断を終了します。

お知らせ

- 【赤】を押さなかった場合、自己診断は約10分後に自動的に終了します。

7 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

リモートメンテナンスを行う

販売店によるリモートメンテナンスを実行するために、次の操作を行います。操作を行った後、リモートメンテナンスが終了するまで本機を使用することはできません。電源を一度切ったあと再度入れ直すと、リモートメンテナンスを終了し、本機を使用することができます。詳細については、販売店へお問い合わせください。

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で**「設定／保守をする」**を選び、**【決定】**を押す

- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を4回押す

- 5ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で**「リモートメンテナンス」**を選び、**【決定】**を押す

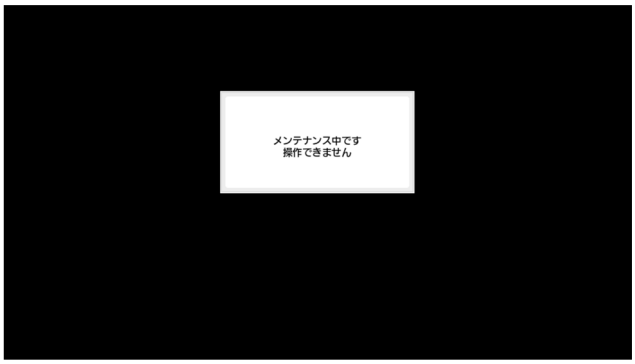
- リモートメンテナンスの開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- リモートメンテナンス画面が表示されます。

お知らせ

- NGNモード使用時は、ネットワークの状態によっては画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。



ライセンス情報を表示する

ライセンスやオープンソースソフトウェアについての情報を表示することができます。

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**設定／保守をする**」を選び、【**決定**】を押す

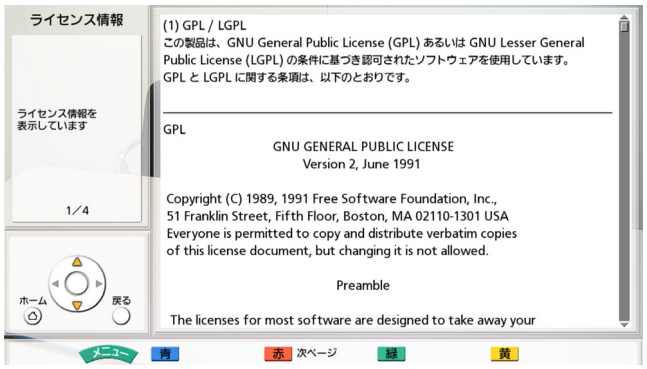
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を4回押す

- 5ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「**ライセンス情報**」を選び、【**決定**】を押す

- ライセンス情報表示画面が表示されます。



- 【**赤**】を押すと次の画面へ、【**青**】を押すと前の画面へ移動します。

5 【**ホーム**】を押す

- ホーム画面が表示されます。

使用許諾契約を表示する

使用許諾契約についての情報を表示することができます。

1 【**メニュー**】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**設定／保守をする**」を選び、【**決定**】を押す

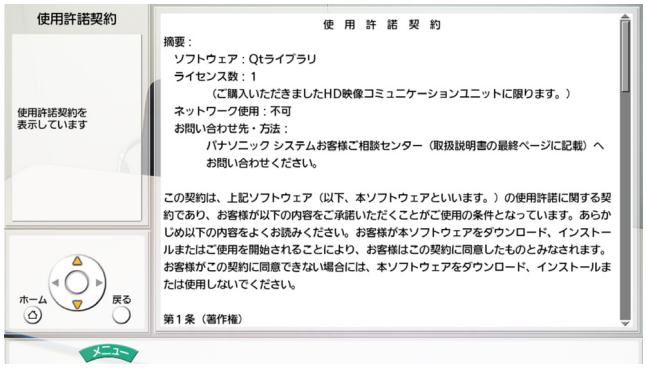
- システム設定画面が表示されます。

3 【▶】を4回押す

- 5ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「**使用許諾契約**」を選び、【**決定**】を押す

- 使用許諾契約表示画面が表示されます。



5 【**ホーム**】を押す

- ホーム画面が表示されます。

管理者メニューの設定をする

お知らせ

- 入力中に着信があると、応答するかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
  【◀】【▶】で、**「はい」**、**「いいえ」**を選び、**【決定】**を押す
  - **「はい」**を選ぶと着信に応答し、入力中の内容は反映されず、破棄されます。
  - **「いいえ」**を選ぶと、入力を続けることができます。

管理者メニューにログインする

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「設定／保守をする」**を選び、**【決定】**を押す

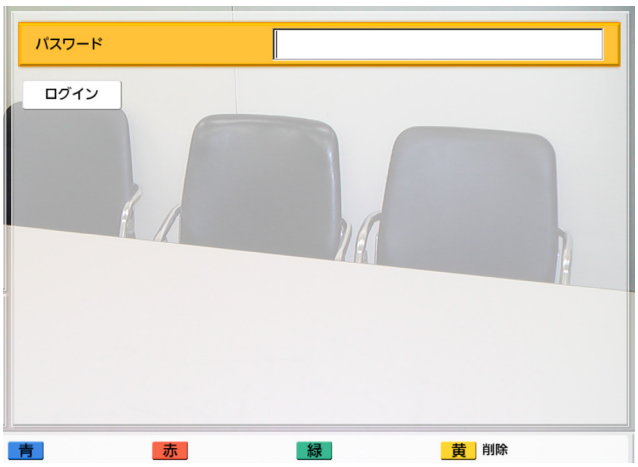
- システム設定画面が表示されます。

3 **【▶】**を3回押す

- 4ページ目が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で**「管理者でログイン」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者ログイン画面が表示されます。



5 **【▲】【▼】**で**「パスワード」**を選び、パスワード（数字4～10桁）を入力する

お知らせ

- パスワードは、設置時に設定した管理者メニューログイン用パスワードを入力してください。
- パスワードをお忘れになった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

6 **【▲】【▼】**で**「ログイン」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

管理者パスワードの設定をする

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「パスワードの設定」**を選び、**【決定】**を押す

- パスワード設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、パスワード（4～10桁）を入力する

「現在のパスワード入力」：現在のパスワードを入力する（デフォルト：00000000）

「新しいパスワードの入力」：新しいパスワードを入力する

「新しいパスワードの再入力」：新しいパスワードを再度入力する

お知らせ

- 設置時にログインパスワードを初期値から変更してください。
- パスワードは大切に保管してください。

4 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

6 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

暗号通信の設定をする

お知らせ

- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 第三者により暗号通信の設定を変更される恐れがあります。管理者パスワードの管理や、暗号通信の設定の権限を一般ユーザーに与えるときはご注意ください。
- SIPでの通信で暗号鍵が設定されていない場合は、暗号通信を有効にすることができません。
- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。
- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で**「暗号通信の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- 暗号通信設定画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

お知らせ

- 通信タイプ設定画面（122 ページ）で**「SIPの使用」**を**「しない」**に設定している場合、**「設定するユーザー（SIP）」**、**「暗号通信（SIP）」**、**「暗号鍵（SIP）」**は設定できません。
- NGNモード使用時、または通信タイプ設定画面（122 ページ）で**「H.323の使用」**を**「しない」**に設定している場合、**「設定するユーザー（H.323）」**、**「暗号通信（H.323）」**は設定できません。

「設定するユーザー（SIP）」／「設定するユーザー（H.323）」：【◀】【▶】で**「管理者」**（デフォルト）、**「一般」**を選ぶ

- **「管理者」**を選ぶと、ネットワーク管理者のみ暗号通信の有効／無効を設定することができます。
- **「一般」**を選ぶと、一般ユーザーでも暗号通信の有効／無効を設定することができます（105 ページ、141 ページ）。

「暗号通信（SIP）」／「暗号通信（H.323）」：【◀】【▶】で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ

– **「有効」**：暗号通信が有効です。

– **「無効」**（デフォルト）：暗号通信が無効です。

お知らせ

- **「暗号通信（SIP)」／「暗号通信（H.323)」**の設定が相手と一致しない場合は、通信は開始されません。
- この設定は**「設定するユーザー（SIP)」／「設定するユーザー（H.323)」**で**「管理者」**を選んでいるときのみ設定可能です。

「暗号鍵（SIP)」：暗号鍵（4～256文字［英数字、半角スペース、記号］）を入力する（147 ページ）

お知らせ

- & < > , " は入力できません。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク（*）で表示されます。設定した暗号鍵を画面で確認することができなくなりますので、暗号鍵はメモに控えるなどして大切に保管してください。
- **「暗号鍵（SIP)」**の設定が相手と一致しない場合は、暗号通信を有効にしていても、通信は開始されません。
- 暗号鍵がアスタリスク（*）で表示されているときに**【黄】**を押すと、暗号鍵のすべての文字が削除されます。

4 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

6 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

バージョンアップ確認の設定をする

ソフトウェアのバージョンアップを行う前に、最新のバージョンを確認するための設定を行います。

お知らせ

- バージョンアップの確認や、ネットワークから最新バージョンのダウンロードを行うためには、DNSサーバーの設定が必要です（102 ページ）。
- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「バージョン確認の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- バージョン確認設定画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

「プロキシサーバーアドレス」：プロキシサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

「プロキシサーバーポート」：プロキシサーバーのポート番号（1～65535）を入力する

「起動時のバージョン確認」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

- **「する」**を選ぶと、起動時に自動でアップデートの確認を行います。利用可能なアップデートがある場合は、ホーム画面にダイアログボックスが表示されます。
- **「しない」**を選ぶと、起動時に自動でアップデートの確認は行いません。

4 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

6 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

接続モードを設定する

1 管理者メニューにログインする （119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「接続モードの設定」を選び、【決定】を押す

- 接続モード設定画面が表示されます。

3 【決定】を押し、【▲】【▼】で設定したい接続モードを選び、再度【決定】を押す

「標準モード」：インターネットまたはイントラネット回線で通信を行います。
「NGNモード」：NGN回線で通信を行います。
「つながるねっとサービスモード」：つながるねっとサービスを利用して通信を行います。

お知らせ

- 言語設定画面で日本語以外を選択している場合でも、接続モードの設定画面でNGNモードを選択すると、再起動後に画面が日本語で表示されます。その後NGNモード以外の接続モードに変更しても、日本語表示は継続されるので、日本語以外の言語で表示したい場合は、言語設定画面で再度選択してください（113 ページ）。
- 接続モードの設定が一致していない相手と、通信はできません。
- NGNモードを選択している場合、MCU接続／他社機接続／H.323の使用はできません。
- 「つながるねっとサービスモード」を利用するためには、アクティベーションキーにより「つながるねっとサービス」を有効にする必要があります。

  詳細については、以下のホームページを参照してください。
  http://panasonic.biz/com/visual/tsunagaru/

4 【緑】を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- 接続モードを変更する場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

通信タイプの設定をする

お知らせ

- 標準モード使用時（122 ページ）のみ設定可能です。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 【▶】を押す

- 次のページが表示されます。

3 【▲】【▼】で「**通信タイプの設定**」を選び、【**決定**】を押す

- 通信タイプ設定画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「**SIPの使用**」:【◀】【▶】で「**する**」(デフォルト)、「**しない**」を選ぶ

お知らせ

- 「**しない**」を選んだ場合、「**SIPサーバーの使用**」で「**する**」を選んでいても、SIPサーバーは使用できません(124 ページ)。
- 3.00より古いソフトウェアバージョン(3.00は含みません)を使用している相手に発信する場合、H.323は使用できません。「**する**」を選ぶ必要があります。

「**H.323の使用**」:【◀】【▶】で「**する**」(デフォルト)、「**しない**」を選ぶ

お知らせ

- 「**しない**」を選んだ場合、「**ゲートキーパーの使用**」と「**H.460の使用**」で「**する**」を選んでいても、ゲートキーパーとH.460は使用できません(125 ページ)。

「**優先する通信タイプ**」:【◀】【▶】で「**SIP**」(デフォルト)、「**H.323**」を選ぶ

お知らせ

- ここで選んだ通信タイプが、ホーム画面の表示情報や発信時の通信タイプのデフォルト値などに反映されます。

5 【**緑**】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 【**ホーム**】を押す

- ホーム画面が表示されます。

SIPの設定をする

イントラネットにおいてSIPサーバーを使用することで、IPアドレスだけではなくSIP-URI(SIPユーザー名@SIPドメイン名)による発着信が可能になります。

お知らせ

- 標準モード使用時(122 ページ)、および通信タイプ設定画面で「**SIPの使用**」を「**する**」に設定している場合のみ設定可能です。
- MCU接続または他社機接続の場合、SIPサーバーを経由したSIP-URIによる通信は動作保証外です。
- MCUの会議室番号@IPアドレスを入力してMCU接続を行う場合は、「**SIPサーバーの使用**」および「**ゲートキーパーの使用**」(125 ページ)を「**しない**」に設定する必要があります。
- SIPサーバーの故障、またSIP設定が正しくない(SIPサーバー側または本体側)などの理由により、通信ができなくなっている場合、ホーム画面にSIPユーザー名は表示されず、「**サーバー未登録**」と表示されます。この場合、SIPによる通信だけでなくIPアドレスによる通信もできません。ネットワーク管理者にご相談ください。

1 管理者メニューにログインする(119 ページ)

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 【▶】を押す

- 次のページが表示されます。

3 【▲】【▼】で「**SIPの設定**」を選び、【**決定**】を押す

- SIP設定画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「**SIPサーバーの使用**」:【◀】【▶】で「**する**」、「**しない**」（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- SIPサーバーを使用して通信するためには、「**する**」を選び「**SIPサーバーアドレス**」、「**SIPユーザー名**」、「**SIPドメイン名**」の設定が必要です。
- 「**する**」を選ぶには、「**ゲートキーパーの使用**」（125 ページ）で「**しない**」を選んでいる必要があります。

「**SIPサーバーアドレス**」: SIPサーバーのIPアドレス（またはホスト名）を入力する

お知らせ

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001
- ホスト名を入力するためには、DNSサーバーの設定が必要です（102 ページ）。
- ホスト名で入力可能な文字と文字数は37 ページを参照してください。

「**SIPユーザー名**」: SIPユーザー名を入力する。英数字、記号 . = * + _ - $ ~ ! ? / ' ( )（半角で最大60文字）で入力可能。

「**SIPドメイン名**」: SIPドメイン名を入力する。英数字、記号 . -（半角で最大128文字）で入力可能。

お知らせ

- 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

「**ダイジェスト認証**」:【◀】【▶】でダイジェスト認証を有効にするかどうかを選ぶ

– 「**有効**」: ダイジェスト認証を有効にします。
– 「**無効**」（デフォルト）: ダイジェスト認証を無効にします。

「**認証用ID**」: 認証用ID（半角で1～60文字［英数字、半角スペース、記号］）を入力する（147 ページ）。& < > , " は入力不可。

「**認証用パスワード**」: 認証用パスワード（半角で0～60文字［英数字、半角スペース、記号］）を入力する（147 ページ）。& < > , " は入力不可。

お知らせ

- SIPサーバーを使用して通信するためには、「**ダイジェスト認証**」、「**認証用ID**」、「**認証用パスワード**」の設定が必要な場合があります。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 「**認証用ID**」、「**認証用パスワード**」の設定は、「**ダイジェスト認証**」で「**有効**」を選んでいるときのみ設定可能です。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク（*）で表示されます。設定した認証用パスワードを画面で確認することができなくなりますので、認証用パスワードはメモに控えるなどして大切に保管してください。
- 認証用パスワードがアスタリスク（*）で表示されているときに【**黄**】を押すと、認証用パスワードのすべての文字が削除されます。

「**SIPトランスポートプロトコル**」:【**決定**】を押し、【▲】【▼】でSIPによる通信に使用するプロトコ

ル（**UDP**、**TCP**、**自動 （接続先による切り替え）**、**自動(TCP／UDP)**［デフォルト］）を選ぶ

お知らせ

- **「自動 （接続先による切り替え）」**を選ぶと、SIPサーバーを使用した通信にはTCPが、SIPサーバーを使用しない通信にはUDPが使用されます。**「自動(TCP／UDP)」**を選ぶと、TCP、UDPの順で通信を試みます。通常は**「自動(TCP／UDP)」**に設定してください。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

H.323の設定をする

お知らせ

- 標準モード使用時（122 ページ）、および通信タイプ設定画面で**「H.323の使用」**を**「する」**に設定している場合のみ設定可能です。
- MCUの会議室番号@IPアドレスを入力してMCU接続を行う場合は、**「SIPサーバーの使用」**（124 ページ）および「**ゲートキーパーの使用**」を**「しない」**に設定する必要があります。
- ゲートキーパーおよびH.460サーバーの故障、またH.323設定が正しくない（ゲートキーパーおよびH.460サーバー側または本体側）などの理由により、通信ができなくなっている場合、ホーム画面にH.323内線番号／H.323名は表示されず、**「サーバー未登録」**と表示されます。この場合、ゲートキーパー、H.460サーバーによる通信だけでなくＩＰアドレスによる通信もできません。ネットワーク管理者にご相談ください。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「H.323の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- H.323設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

「ゲートキーパーの使用」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- この設定は**「H.323の使用」**（123 ページ）で**「する」**を選び、**「SIPサーバーの使用」**（124 ページ）で**「しない」**を選んでいるときのみ設定可能です。

「ゲートキーパーアドレス」：ゲートキーパーのIPアドレス（またはホスト名）を入力する

お知らせ

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001
- ホスト名を入力するためには、DNSサーバーの設定が必要です（102 ページ）。
- ホスト名で入力可能な文字と文字数は37 ページを参照してください。

「H.323名」：H.323名を入力する。英数字、記号 . = * + _ - $ ~ ! ? / ' ( )（半角で最大60文字）で入力可能。
「H.323内線番号」：H.323内線番号を入力する。数字、記号 # *（半角で最大20文字）で入力可能。

お知らせ

- 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

「認証」：**【◀】【▶】**で認証を有効にするかどうかを選ぶ

– **「有効」**：認証を有効にします。
– **「無効」**（デフォルト）：認証を無効にします。

「認証用ID」：認証用ID（半角で1～60文字［英数字、半角スペース、記号］）を入力する（147 ページ）。& < > , " は入力不可。
「認証用パスワード」：認証用パスワード（半角で0～60文字［英数字、半角スペース、記号］）を入力する（147 ページ）。& < > , " は入力不可。

お知らせ

- **「認証用ID」**、**「認証用パスワード」**の設定は、**「認証」**で**「有効」**を選んでいるときのみ設定可能です。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク（*）で表示されます。設定した認証用パスワードを画面で確認することができなくなりますので、認証用パスワードはメモに控えるなどして大切に保管してください。
- 認証用パスワードがアスタリスク（*）で表示されているときに**【黄】**を押すと、認証用パスワードのすべての文字が削除されます。

「H.460の使用」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

- この設定は**「静的NATの使用」**（127 ページ）で**「しない」**を選び、**「ゲートキーパーの使用」**で**「する」**を選んでいるときのみ設定可能です。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

静的NATの設定をする

お知らせ

- 設定を変更するためには、ポート番号の設定を含めたシステムの設定が必要になります。詳細は販売店にお問い合わせください。
- 標準モード使用時（122 ページ）のみ設定可能です。
- この設定は**「ネットワークの設定」**で**「IPアドレスの設定」**が**「手動」**に設定されている場合のみ設定可能です（103 ページ）。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

3 【▲】【▼】で「**静的NATの設定**」を選び、【**決定**】を押す

- 静的NAT設定画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「**静的NATの使用**」：【◀】【▶】で「**する**」、「**しない**」（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- 「**する**」を選ぶには、H.323設定画面の「**H.460の使用**」で「**しない**」を選んでいる必要があります（126 ページ）。
- 「**する**」を選んだ場合、ホーム画面の本体情報には、「**WAN側アドレス**」で設定したWAN側のIPアドレスが表示されます（32 ページ）。

「**WAN側アドレス**」：ルーターの WAN側のIPアドレスを入力する

お知らせ

- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001
- 「**外部取得**」と表示されている場合、WAN側のIPアドレスは設定できません。詳細については、販売店にお問い合わせください。

「**音声用RTP・RTCP**」：音声RTP/RTCPの先頭ポート番号（**5100**～**5194**）を入力する（デフォルト：**5100**）

「**映像用RTP・RTCP**」：映像RTP/RTCPの先頭ポート番号（**5200**～**5294**）を入力する（デフォルト：**5200**）

「**カメラ制御**」：ビデオカメラ制御用の先頭ポート番号（**5300**～**5394**）を入力する（デフォルト：**5300**）

「**SIP（2地点）**」：SIPサーバーを使用して通信するための、2地点用のポート番号（**5000**～**5099**）を入力する（デフォルト：**5060**）

お知らせ

- ポート番号を変更した場合、ホーム画面の本体情報には、IPアドレスと変更後のポート番号（IPアドレス：ポート番号）が表示されます（32 ページ）。

「**SIP（多地点）**」：SIPサーバーを使用して通信するための、多地点用のポート番号（**55000**～**55099**）を入力する（デフォルト：**55060**）

お知らせ

- 通信タイプ設定画面で「**SIPの使用**」を「**しない**」に設定している場合（123 ページ）、この設定は変更できません。

「**H.245**」：H.245用の先頭ポート番号（**5500**～**5595**）を入力する（デフォルト：**5500**）

お知らせ

- 通信タイプ設定画面で「**H.323の使用**」を「**しない**」に設定している場合（123 ページ）、この設定は変更できません。
- 以下の項目については、入力した先頭ポート番号に自動的に値を加算して、利用可能な範囲や値を表示します。
  - 「**音声用RTP・RTCP**」
  - 「**映像用RTP・RTCP**」
  - 「**カメラ制御**」
  - 「**H.245**」

5 【**緑**】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

コーデックの設定をする

コーデックの有効／無効を設定します。H.323使用時は、**「H.323／映像方式（H.264）」**、**「H.323／音声方式」**でコーデックごとに有効／無効を設定します。SIP使用時は、**「SIP／映像・音声方式」**で有効となるコーデックのパターンを選択します。

お知らせ

- コーデックの設定を変更すると、通信ができなくなる可能性があります。詳細については、販売店にお問い合わせください。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 **【▶】**を押す

- 次のページが表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「コーデックの設定」**を選び、**【決定】**を押す

- コーデック設定画面が表示されます。

4 以下の項目を選び、入力する

「H.323／映像方式（H.264）」／**「H.323／音声方式」**：**【▲】【▼】**で変更する項目を選び、**【決定】**を押す

- チェックのあり、なしが切り替わります。チェックのないコーデックは無効になります。
- デフォルトは**「H.323／音声方式」**の**「G.722.1 Annex C（24 kbps）」**、**「G.722.1 Annex C（48 kbps）」**が無効です。それ以外は有効です。

お知らせ

- **「H.323／映像方式（H.264）」**の**「Baseline Profile（Single NAL Unit）」**と**「H.323／音声方式」**の**「G.722」**は設定できません。

「SIP／映像・音声方式」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で映像・音声方式（**拡張設定**［デフォルト］、**基本設定**）を選ぶ

- **「拡張設定」**、**「基本設定」**を選択したときに有効となるコーデックは次のとおりです。

	コーデック	拡張設定	基本設定
映像	Baseline Profile (Single NAL Unit)	有効	有効
	Baseline Profile (Non-Inter - leaved)	有効	無効
	High Profile (Non-Interleaved)	有効	無効
	High Profile (HDコム用)	有効	有効
音声	G.711 (A-Law)	有効	無効
	G.711 (μ-Law)	有効	無効
	G.722	有効	有効[*1]
	G.722.1	有効	有効
	G.722.1 Annex C (24 kbps)	有効	無効
	G.722.1 Annex C (48 kbps)	有効	有効[*1]
	AAC-LD (HDコム用)	有効	有効

[*1] QoSなし

お知らせ

- 2.40以降（2.40を含みます）かつ3.10より古い（3.10を含みません）ソフトウェアのバージョンからバージョンアップした場合、デフォルトは**「基本設定」**になります。
- 2.30以前のソフトウェアのバージョン（2.30を含みます）からバージョンアップした場合、設定値にはデフォルトで「－」が表示されます。この場合、有効なコーデックは次のとおりです。
  映像：Baseline Profile（Single NAL Unit）、High Profile（HDコム用）
  音声：G.722、AAC-LD（HDコム用）

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

ホーム画面が表示されます。

音声入出力の設定をする

お知らせ

- 音声の調整を行うための設定です。
- **「エコーキャンセラー」**と**「オートゲインコントロール」**は、通常は**「有効」**にしてください。**「無効」**にすると、通信時に音質が低下する可能性があります。
- **「自音声の出力」**は通常は**「しない」**にしてください。
- マイクを接続した状態で自音声をテレビのスピーカーから出力すると、ハウリングすることがあります。マイクが設置された場所で、自音声をスピーカーから出力しないでください。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を押す

- 2ページ目が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「音声入出力の設定」**を選び、**【決定】**を押す

- 音声入出力設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

「エコーキャンセラー」：**【◀】【▶】**でエコーキャンセラー機能を有効にするかどうかを選ぶ

– **「有効」**（デフォルト）：エコーキャンセラー機能を有効にします。
– **「無効」**：エコーキャンセラー機能を無効にします。

「オートゲインコントロール」：**【◀】【▶】**でオートゲインコントロール機能を有効にするかどうかを選ぶ

– **「有効」**（デフォルト）：オートゲインコントロール機能を有効にします。
– **「無効」**：オートゲインコントロール機能を無効にします。

「自音声の出力」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**で通信中の自拠点の音声の出力先を選ぶ

– **「しない」**（デフォルト）：自拠点の音声を出力しません。
– **「RCA」**：自拠点の音声をRCAに出力します。
– **「HDMI」**：自拠点の音声をHDMIに出力します。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

GUIの設定をする

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

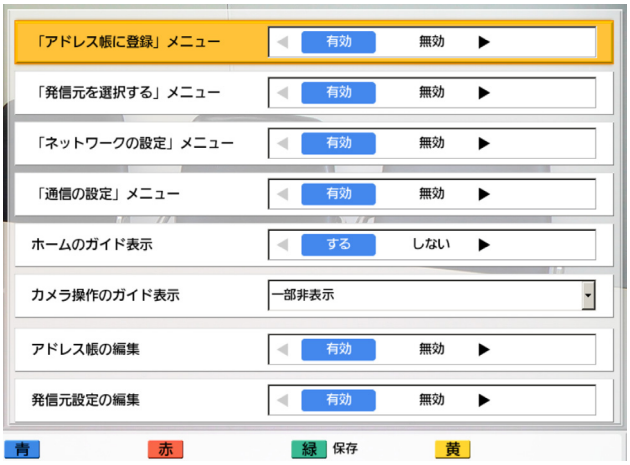
標準モード以外使用時：

【▶】を押す

- 2ページ目が表示されます。

3 【▲】【▼】で「**GUIの設定**」を選び、【**決定**】を押す

- GUI設定画面が表示されます。



4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「**アドレス帳に登録**」**メニュー**：【◀】【▶】で「**有効**」（デフォルト）、「**無効**」を選ぶ

- 「**無効**」を選ぶと、メニュー画面で「**アドレス帳に登録**」を選択しても、アドレス帳登録画面を表示しません。

「**発信元を選択する**」**メニュー**：【◀】【▶】で「**有効**」（デフォルト）、「**無効**」を選ぶ

- 「**無効**」を選ぶと、メニュー画面で「**発信元を選択する**」を選択しても、発信元選択画面を表示しません。

「**ネットワークの設定**」**メニュー**：【◀】【▶】で「**有効**」（デフォルト）、「**無効**」を選ぶ

- 「**無効**」を選ぶと、メニュー画面で「**ネットワークの設定**」を選択しても、ネットワークの設定画面を表示しません。

「**通信の設定**」**メニュー**：【◀】【▶】で「**有効**」（デフォルト）、「**無効**」を選ぶ

- 「**無効**」を選ぶと、メニュー画面で「**通信の設定**」を選択しても、通信設定画面を表示しません。

「**ホームのガイド表示**」：【◀】【▶】で「**する**」（デフォルト）、「**しない**」を選ぶ

- 「**しない**」を選ぶと、ホーム画面のガイド表示を非表示にします。

「**カメラ操作のガイド表示**」：【**決定**】を押し、【▲】【▼】で「**一部非表示**」（デフォルト）、「**全て非表示**」を選ぶ

- 通信中のカメラ操作画面で、リモコンの【**表示**】を押してガイドエリアを非表示にしたときの動作を設定します。
  - 「**一部非表示**」：操作名とリモコンのカラーボタンの説明以外を非表示にします。
  - 「**全て非表示**」：全てのガイドエリアを非表示にします。

「**アドレス帳の編集**」：【◀】【▶】で「**有効**」（デフォルト）、「**無効**」を選ぶ

- 「**無効**」を選ぶと、アドレス帳の新規登録、編集、削除は行えません。

「**発信元設定の編集**」：【◀】【▶】で「**有効**」（デフォルト）、「**無効**」を選ぶ

- 「**無効**」を選ぶと、発信元の新規登録、編集、削除は行えません。

5 【**緑**】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 【**ホーム**】を押す

- ホーム画面が表示されます。

HDMI制御の設定をする

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を押す

- 2ページ目が表示されます。

3 【▲】【▼】で「**HDMI制御**」を選び、【**決定**】を押す

- HDMI制御設定画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「**ワンタッチプレイ機能**」:【◀】【▶】で「**有効**」、「**無効**」(デフォルト)を選ぶ

お知らせ

- 通常は「**無効**」にしてください。「**有効**」にすると、接続されるビデオカメラによっては、映像が自動的に切り替わってしまいます。

「**スタンバイ機能**」:【◀】【▶】で「**有効**」、「**無効**」(デフォルト)を選ぶ

お知らせ

- 「**有効**」にすると、本体がスクリーンスタンバイ状態になった場合、接続されるビデオカメラによっては、ビデオカメラ(メイン、サブ)も同期してスクリーンスタンバイ状態になります。ビデオカメラの機種によって動作が異なりますので、詳細については、販売店にお問い合わせください。

5 【**緑**】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 【**ホーム**】を押す

- ホーム画面が表示されます。

データをエクスポートする

履歴、動作ログ、アドレス帳などをUSBメモリーに保存します。保存された動作ログは、トラブルが発生した場合の原因を特定するのに使用されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

お知らせ

- 本機では、マスストレージクラス (FAT16、またはFAT32フォーマット)対応のUSBメモリーを使用できます。
- 次のUSBメモリーは使用できません。
  - U3スマートドライブ(U3プラットフォームに対応したUSBメモリー)
  - セキュリティー機能を持つUSBメモリー
  - NTFSフォーマットのUSBメモリー
  - 複数LUN (Logical Unit Number)を持つUSBメモリー
  - 複数パーティションのUSBメモリー
- 全てのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- USBメモリーを再度接続する場合は、一度USBメモリーを完全に取り外してから、再度接続してください。
- USBメモリーに十分な空き容量(10 MByte以上)があることを確認してから操作を行ってください。

1 USBメモリーを、本体背面のUSB端子に接続する(20 ページ)

お知らせ

- USBメモリーが正しく接続されていることを確認してください。

2 管理者メニューにログインする(119 ページ)

- 管理者メニュー画面が表示されます。

3 標準モード使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を押す

- 2ページ目が表示されます。

4 【▲】【▼】で「**データのエクスポート**」を選び、【決定】を押す

- データのエクスポート画面が表示されます。

5 【決定】を押す

- データのエクスポートが開始されます。

お知らせ

- データのエクスポート中は、USBメモリーを取り外さないでください。故障や障害が発生する原因になります。
- USBメモリーに保存されるデータのファイル名は「hdvclogall_XXXX.tar」です。「XXXX」は使用しているソフトウェアのバージョンや保存した日時によって表示が異なります。
- hdvclogall_XXXX.tarに含まれるアドレス帳（address.xml）、発信元データ（room.xml）、構成データ（config.xml）は本機にインポートすることができます（134 ページ）。
- 本機からエクスポートしたアドレス帳（address.xml）の編集については、販売店にご相談ください。

6 保存の結果（成功/失敗）を確認し、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

7 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

8 USBメモリーを取り外す

お知らせ

- USBメモリー内のデータ流出などを回避するために、USBメモリーを廃棄（または譲渡、返却）される際には、USBメモリー内に保存されたデータを必ず消去してください。

データをインポートする

本機からエクスポートしたアドレス帳などのデータを、USBメモリーから本機にインポートします。

お知らせ

- 本機では、マスストレージクラス （FAT16、またはFAT32フォーマット）対応のUSBメモリーを使用できます。
- 次のUSBメモリーは使用できません。
  - U3スマートドライブ（U3プラットフォームに対応したUSBメモリー）
  - セキュリティー機能を持つUSBメモリー
  - NTFSフォーマットのUSBメモリー
  - 複数LUN （Logical Unit Number）を持つUSBメモリー
  - 複数パーティションのUSBメモリー
- 全てのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- USBメモリーを再度接続する場合は、一度USBメモリーを完全に取り外してから、再度接続してください。

1 インポートするデータを格納したUSBメモリーを準備する

- インポートするファイル名は固定です。
  - アドレス帳：address.xml
  - 発信元データ：room.xml
  - 構成データ：config.xml
- データはUSBメモリーのルートディレクトリ、またはルートディレクトリ直下のフォルダ

（フォルダ名「01」～「16」）に格納してください。

2 USBメモリーを、本体背面のUSB端子に接続する（20 ページ）

お知らせ

- USBメモリーが正しく接続されていることを確認してください。

3 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

4 標準モード使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を押す

- 2ページ目が表示されます。

5 【▲】【▼】で**「データのインポート」**を選び、**【決定】**を押す

- データのインポート画面が表示されます。

6 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「USBディレクトリ名」：インポートするデータが格納されたディレクトリを**「ルート」**、**「/01」**～**「/16」**から選びます。

「データ」：インポートするデータを**「全て」**、**「アドレス帳」**、**「発信元データ」**、**「構成データ」**から選びます。

7 【緑】を押す

- データのインポートとインポート後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

8 【◀】【▶】で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- インポート内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

拡張機能を有効にする

ソフトウェアの拡張により、機能を有効にすることができます。機能を有効にするためには、Registration Key（レジストレーションキー）を販売店より入手し登録する必要があります。MPR ID、アクティベーションキーカードに記載されているActivation Key No.（アクティベーションキーナンバー）およびRegistration ID（レジストレーションID）を販売店に伝えてください。それらの情報を元に販売店がキー管理システムへ登録を行い、発行されたRegistration Key（レジストレーションキー）をお知らせします。

MPR IDを確認する

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を3回押す

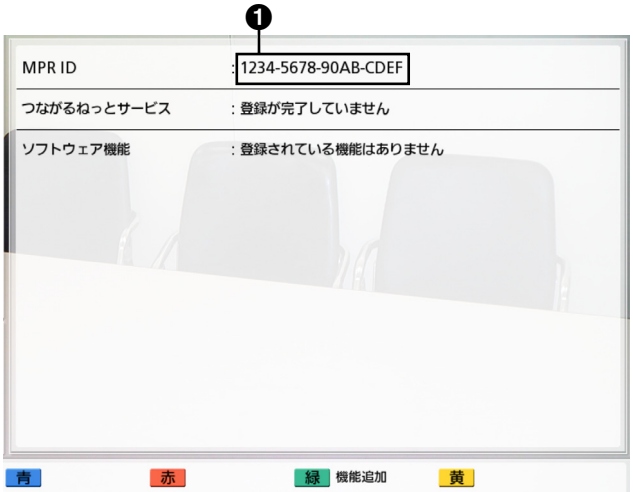
- 4ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

3 【▲】【▼】で**「ソフトウェアの拡張」**を選び、**【決定】**を押す

- ソフトウェア拡張画面が表示されます。**「MPR ID」**（❶）の表示を確認してください。



Registration Key（レジストレーションキー）を登録する

入手したRegistration Key（レジストレーションキー）を本体に登録することにより、拡張機能を有効にします。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を3回押す

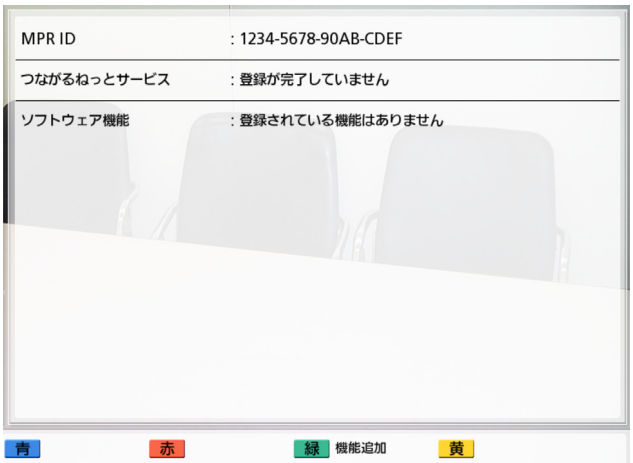
- 4ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

3 【▲】【▼】で「**ソフトウェアの拡張**」を選び、【**決定**】を押す

- ソフトウェア拡張画面が表示されます。

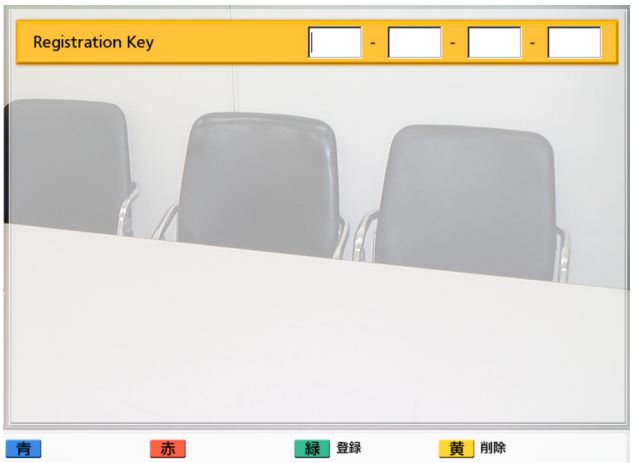


お知らせ

- 「**ソフトウェア機能**」には有効にした機能の情報が表示されます。詳細は次のとおりです。
  - 「**4地点接続拡張**」：多地点発信機能が有効になっています（KX-VC300のみ）
  - 「**1080フルHD拡張**」：フルHD解像度での映像送信機能が有効になっています（KX-VC300のみ）
  - 「**片方向配信拡張**」：片方向配信機能が有効になっています
  - 「**登録されている機能はありません**」：有効になっている機能がありません

4 【**緑**】を押す

- Registration Key（レジストレーションキー）登録画面が表示されます。



5 Registration Key（レジストレーションキー）（16桁）を入力する

6 【**緑**】を押す

- 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- 入力したRegistration Key（レジストレーションキー）が無効の場合、「**Registration Keyの認証に失敗しました**」と表示されます。手順**5**からやり直してください。発行されたRegistration Key（レジストレーションキー）を正しく入力しても、上記のメッセージが表示される場合は、販売店にお問い合わせください。
- Registration Key（レジストレーションキー）の登録は、一度につきひとつのみ可能です。複数の機能を有効にするため複数のRegistration Key（レジストレーショ

ンキー）を登録するには、登録毎に再起動が必要になります。

- 有効になっている機能を拡張機能の確認画面でも確認することができます（115 ページ）。

ソフトウェアを更新する

お知らせ

- USBからソフトウェア更新を行う場合は、販売店にご相談のうえ、更新を行ってください。
- USBからソフトウェア更新を行う場合は、次の点にご注意ください。
  - 新しいソフトウェアは、USBメモリーのルートディレクトリに保存してください。
  - ソフトウェアのファイル名は変更しないでください。
  - あらかじめUSBメモリーを本体背面のUSB端子に接続しておいてください。
  - 更新を行うためには、更新前のソフトウェアのバージョンが3.00以上（3.00を含みます）である必要があります。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）

- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を3回押す

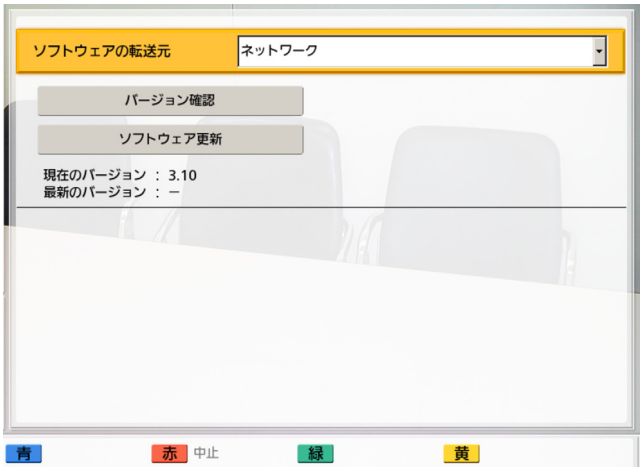
- 4ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を2回押す

- 3ページ目が表示されます。

3 【▲】【▼】で「**ソフトウェアの更新**」を選び、【**決定**】を押す

- バージョンアップ画面が表示されます。



4 【▲】【▼】で「**ソフトウェアの転送元**」を選び、【**決定**】を押す

5 【▲】【▼】で「**ネットワーク**」、「**USB**」を選び、【**決定**】を押す

- 「**ネットワーク**」：ネットワークからソフトウェアを更新します。
- 「**USB**」：USBからソフトウェアを更新します。

お知らせ

- NGNモード使用時は、USBからのみソフトウェア更新が可能です。自動的に「**USB**」が選択され、設定を変更することはできません。
- 「**USB**」を選ぶ場合、詳細については販売店にお問い合わせください。

6 **「起動時のバージョン確認」を「する」に設定している場合（121 ページ）：**
最新のソフトウェアバージョンが「**最新のバージョン**」に表示されます。バージョンアップがある場合は、手順**7**にすすんでください。
「起動時のバージョン確認」を「しない」に設定している場合（121 ページ）または手順5で「ソフトウェアの転送元」を「USB」に設定している場合：

【▲】【▼】で「**バージョン確認**」を選び、【**決定**】を押す

- バージョンアップの確認を開始します。最新のソフトウェアバージョンが「**最新のバージョン**」に表示されます。バージョンアップがある場合は、手順**7**にすすんでください。

7 【▲】【▼】で「**ソフトウェア更新**」を選び、【**決定**】を押す

- ソフトウェアの更新を確認するダイアログボックスが表示されます。

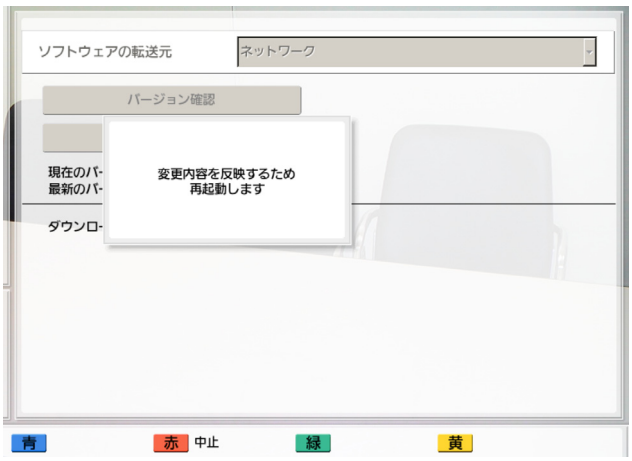
お知らせ

- ダイアログボックス内の注意事項をよく確認してから、次の手順にすすんでください。

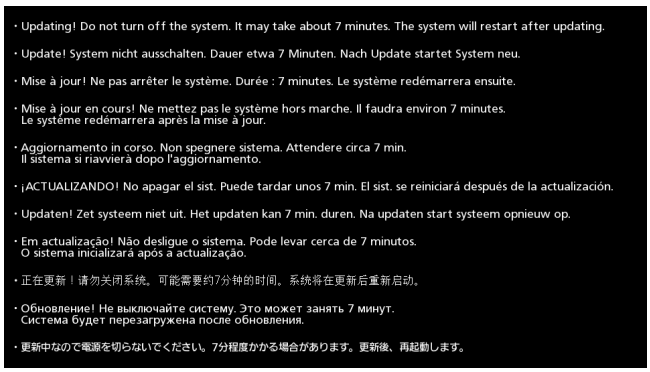
8 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す

- 自動的に最新バージョンのダウンロードが開始されます。
- ダウンロードが完了すると、設定内容を反映させるため、本機は自動的に2回再起動されます。それぞれの再起動が始まる前には、次の画面が表示されます。

1回目の再起動前の画面



2回目の再起動前の画面



2回目の再起動後、本機は最新バージョンのソフトウェアで起動します。

お知らせ

- 最新のファームウェアおよび取扱説明書（操作編）の入手方法については、販売店にお問い合わせください。
- バージョンアップの確認や、最新バージョンのダウンロードに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。【**決定**】を押して本機を再起動してください。
  次の点を実行してみてください。
  a. ネットワーク設定（102 ページ）（発信元選択時は発信元設定 ［140 ページ］）で、「**DNSの設定**」または「**優先DNSサーバー**」の設定を確認してください。その後、再度ソフトウェアの更新を行ってください。

  「**DNSの設定**」が「**自動**」に設定されている場合は、DHCPサーバーに問題がある可能性がありますのでネットワーク管理者にご相談ください。

  b. 上記の方法でもうまくいかない場合は、回線が混み合っている可能性があります。しばらく時間をおいてから、再度ソフトウェアの更新を行ってください。

  何度実行してもうまくいかない場合は、ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。販売店にご相談ください。

ビデオカメラを初期化する

お知らせ

- 非通信中、自分側に接続されたビデオカメラのみ初期化が可能です。

- 対応しているビデオカメラの機種については、販売店にお問い合わせください。

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）
- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を3回押す
- 4ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を2回押す
- 3ページ目が表示されます。

3 【▲】【▼】で「**カメラの初期化**」を選び、【**決定**】を押す
- ビデオカメラの初期化画面が表示されます。

4 【◀】【▶】で初期化するビデオカメラ（「**メイン**」（デフォルト）、「**サブ**」）を選ぶ

5 【**赤**】を押す
- ビデオカメラ初期化の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す
- 初期化完了後、管理者メニュー画面が表示されます。

7 【**ホーム**】を押す
- ホーム画面が表示されます。

システムの初期化を行う

1 管理者メニューにログインする（119 ページ）
- 管理者メニュー画面が表示されます。

2 標準モード使用時：
【▶】を3回押す
- 4ページ目が表示されます。

標準モード以外使用時：
【▶】を2回押す
- 3ページ目が表示されます。

3 【▲】【▼】で「**システムの初期化**」を選び、【**決定**】を押す
- システム初期化の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【**決定**】を押す
- システムの初期化を完了するために、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ
- NGNモード使用時は、ネットワーク状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

- 初期化後、すべての設定とアドレス帳、通信履歴に保存されている情報は破棄されます。
- ソフトウェアの拡張（135 ページ）により有効にした機能は破棄されません。

発信元の設定をする

最大10パターンまで発信元を登録することができます。ネットワークや接続モードの設定を変更することなく、1台の本機を複数の会議室で使用することができます。

お知らせ

- 管理者メニューの設定で、メニュー画面から発信元選択画面を表示しないようにすることができます（131 ページ）。
- 管理者メニューの設定で、発信元選択画面から発信元の設定を新規登録、編集、削除しないようにすることができます（131 ページ）。

発信元を登録する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信元を選択する」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で**「#未使用#」**を選び、**【青】**を押す

- 発信元設定画面が表示されます。

4 **【▲】【▼】**で以下の項目を選び、入力する

- 項目は3画面に渡って表示されます。**【赤】**を押すと次の画面へ、**【青】**を押すと前の画面へ移動し、すべての項目を表示することができます。

- いずれかの画面で【緑】を押すと、3画面すべての設定内容が保存されます。

お知らせ

- 3画面すべてで必要な設定が行われていない場合、いずれの画面で【緑】を押しても設定内容の保存はできません。3画面すべてで必要な設定を行ってから保存をしてください。設定が必要な項目は次のとおりです。
  - 「発信元名」
  - 「IPアドレス」（「IPアドレスの設定」で「手動」に設定した場合）
  - 「サブネットマスク」（「IPアドレスの設定」で「手動」に設定した場合）
- 「発信元名」を選んでいる場合は、【赤】を押しても次の画面は表示されません。
- NGNモード使用時は、【赤】を押しても次の画面は表示されません。1ページ目の画面のみ表示されます。

「接続モード」：【決定】を押し、【▲】【▼】で設定したい接続モード（標準モード、NGNモード、つながるねっとサービスモード）を選ぶ

お知らせ

- ネットワーク設定が完了していない接続モードを選択した場合、設定を保存することができません。発信元設定の前に、接続モードを変更し（122 ページ）ネットワーク設定を行ってください（102 ページ）。

「発信元名」：発信元の名前を入力する

お知らせ

- & < > , ” を使用したい場合は、カナモード（全角）で入力してください。

「最大帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で最大帯域（256 kbps、384 kbps、512 kbps、768 kbps、1.0 Mbps、1.2 Mbps、1.5 Mbps、2.0 Mbps、2.5 Mbps、3.0 Mbps、3.5 Mbps、4.0 Mbps、4.5 Mbps、5.0 Mbps、5.5 Mbps、6.0 Mbps、6.5 Mbps、7.0 Mbps、7.5 Mbps、8.0 Mbps、8.5 Mbps、9.0 Mbps、10.0 Mbps）を選ぶ

お知らせ

- 通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。
- 販売店により設定された最大帯域より大きい値を設定することはできません。詳細については、販売店へお問い合わせください。
- 3地点通信を行う場合は、「1.0 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。
- 4地点通信を行う場合は、「1.5 Mbps」以上の値を設定してください。小さい値を設定した場合、映像や音声の品質に問題が生じることがあります。

「暗号通信（SIP）」／「暗号通信（H.323）」：【◀】【▶】で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ

- 「有効」：暗号通信を有効にします。
- 「無効」：暗号通信を無効にします。

お知らせ

- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。
- 「暗号通信（SIP）」／「暗号通信（H.323）」の設定ができない場合は、ネットワーク管理者にご連絡ください。
- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。
- 「暗号通信（H.323）」は、標準モード使用時のみ設定可能です。

「暗号鍵（SIP）」：暗号鍵（4～256文字［英数字、半角スペース、記号］）を入力する（147 ページ）

お知らせ

- & < > , " は入力できません。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク（*）で表示されます。設定した暗号鍵を画面で確認することができなくなりますので、暗号鍵はメモに控えるなどして大切に保管してください。
- 「暗号鍵（SIP）」の設定が相手と一致しない場合は、暗号通信を有効にしていても、通信は開始されません。

- 暗号鍵がアスタリスク（*）で表示されているときに【黄】を押すと、暗号鍵のすべての文字が削除されます。

「画質」：【◀】【▶】で映像の動きのなめらかさと解像度のどちらを優先させるかを選ぶ

– **「動き優先」**：動きのなめらかさを優先させます。
– **「解像度優先」**：画質を優先させます。

お知らせ

- 通信参加者の中に、2.30より古いバージョンのソフトウェア（2.30は含みません）を使用している相手がいる場合、常に**「動き優先」**になります。

「最大解像度」：【決定】を押し、【▲】【▼】で通信中のメインビデオカメラとサブビデオカメラの最大解像度を選ぶ

– **「フルHD」**：最大解像度： 1920 × 1080
– **「HD」**：最大解像度： 1280 × 720
– **「自動」**：利用可能な帯域に基づいて、**「フルHD」**または**「HD」**を選びます。

お知らせ

- 推奨設定値は**「自動」**または**「HD」**です。
- KX-VC300をご使用の場合、**「最大解像度」**を**「フルHD」**に設定、または**「画質」**を**「動き優先」**に設定して**「最大解像度」**を**「自動」**に設定するためには、アクティベーションキーカード（KX-VCS401）によりフルHD解像度での映像送信機能を有効にする必要があります（135 ページ）。
- **「画質」**で**「解像度優先」**に設定している場合、**「フルHD」**、**「HD」**は最大解像度で固定となります。ネットワークの状態に応じて解像度を切り替えたい場合は、**「自動」**を設定してください。
- 低帯域ネットワークを使用したり、帯域を低く設定したりしている場合、**「画質」**を**「解像度優先」**に設定すると、映像の表示が遅れる可能性があります。
- **「画質」**で**「動き優先」**に設定している場合、**「フルHD」**を設定し、帯域が低い通信相手と通信を行うと、**「HD」**または**「自動」**を設定した場合よりも、低い解像度になる可能性があります。
- 3地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。
- 4地点通信中は、**「フルHD」**に設定していても、メインビデオカメラとサブビデオカメラは自動的に**「HD」**になります。
- MCU接続または他社機接続の場合、いずれを選んでも動作には影響しません。

「IPアドレスの設定」：【◀】【▶】で発信元のIPアドレス情報（**「IPアドレス」**、**「サブネットマスク」**、**「デフォルトゲートウェイ」**）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

– **「自動」**：IPアドレス情報を自動的に取得します。
– **「手動」**（デフォルト）：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- **「自動」**に設定していても、ネットワーク障害の発生などによりIPアドレス情報を取得できない場合があります。この場合、ホーム画面の右上に**「アドレス未取得」**と表示されます。ネットワーク管理者にご相談ください。
- **「自動」**を選ぶには、**「静的NATの使用」**で**「しない」**を選んでいる必要があります。

「IPアドレス」：発信元のIPアドレスを入力する
「サブネットマスク」：サブネットマスクを入力する
「デフォルトゲートウェイ」：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する

お知らせ

- **「IPアドレス」**、**「サブネットマスク」**、**「デフォルトゲートウェイ」**は、**「IPアドレスの設定」**を**「手動」**に設定している場合のみ入力可能です。
- **「IPアドレス」**、**「サブネットマスク」**、**「デフォルトゲートウェイ」**の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
  例：「192.168.0.1」の場合：
  （正）192.168.0.1
  （誤）192.168.000.001

「DNSの設定」：【◀】【▶】でDNSサーバーのIPアドレス情報（**「優先DNSサーバー」**、**「代替DNSサーバー」**）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

– **「自動」**：IPアドレス情報を自動的に取得します。
– **「手動」**（デフォルト）：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- **「自動」**を選ぶには、**「IPアドレスの設定」**を**「自動」**に設定している必要があります。

「優先DNSサーバー」：優先DNSサーバーのIPアドレスを入力する
「代替DNSサーバー」：代替DNSサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- **「優先DNSサーバー」**、**「代替DNSサーバー」**は、**「DNSの設定」**を**「手動」**に設定している場合のみ入力可能です。
- **「優先DNSサーバー」**、**「代替DNSサーバー」**の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。
「.001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001

「SIPサーバーの使用」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

– **「する」**を選ぶと、SIPサーバーを利用して通信することができます。
– **「しない」**を選ぶと、SIPサーバーを利用して通信することができません。

お知らせ

- SIP設定画面でSIPの設定が行われていないと、**「する」**を選ぶことはできません（123 ページ）。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- **「する」**を選ぶには、**「ゲートキーパーの使用」**で**「しない」**を選んでいる必要があります。
- SIPサーバーの故障、またSIP設定が正しくない（SIPサーバー側または本体側）などの理由により、通信ができなくなっている場合、ホーム画面にSIPユーザー名は表示されず、**「サーバー未登録」**と表示されます。この場合、SIPによる通信だけでなくIPアドレスによる通信もできません。
ネットワーク管理者にご相談ください。

「SIPトランスポートプロトコル」：**【決定】**を押し、**【▲】【▼】**でSIPによる通信に使用するプロトコル（**UDP**、**TCP**、**自動（接続先による切り替え）**、**自動(TCP／UDP)**［デフォルト］））を選ぶ

お知らせ

- **「自動（接続先による切り替え）」**を選ぶと、SIPサーバーを使用した通信にはTCPが、SIPサーバーを使用しない通信にはUDPが使用されます。**「自動(TCP／UDP)」**を選ぶと、TCP、UDPの順で通信を試みます。通常は**「自動(TCP／UDP)」**に設定してください。
- NGNモード使用時は、この設定を行うことはできません。

「ゲートキーパーの使用」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- **「する」**を選ぶには、**「SIPサーバーの使用」**で**「しない」**を選んでいる必要があります。
- H.323の設定画面でゲートキーパーの設定が行われていないと、**「する」**を選ぶことはできません（125 ページ）。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ゲートキーパーおよびH.460サーバーの故障、またH.323設定が正しくない（ゲートキーパーおよびH.460サーバー側または本体側）などの理由により、通信ができなくなっている場合、ホーム画面にH.323内線番号／H.323名は表示されず、**「サーバー未登録」**と表示されます。
この場合、ゲートキーパー、H.460サーバーによる通信だけでなくＩＰアドレスによる通信もできません。ネットワーク管理者にご相談ください。

「H.460の使用」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- **「する」**を選ぶには、**「ゲートキーパーの使用」**で**「する」**を選び、**「静的NATの使用」**で**「しない」**を選んでいる必要があります。
- H.323の設定画面でゲートキーパーの設定が行われていないと、**「する」**を選ぶことはできません（125 ページ）。詳細につい

ては、ネットワーク管理者にご相談ください。

「静的NATの使用」：**【◀】【▶】**で**「する」**、**「しない」**（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- **「する」**を選ぶには、**「IPアドレスの設定」**で**「手動」**を選び、**「H.460の使用」**で**「しない」**を選んでいる必要があります。
- 静的NATの設定画面でルーターのWAN側IPアドレスの設定が行われていないと、**「する」**を選ぶことはできません（127 ページ）。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

「優先する通信タイプ」：**【◀】【▶】**で**「SIP」**、**「H.323」**を選ぶ

お知らせ

- 「標準モード」使用時（140 ページ）のみ設定可能です。
- デフォルトは通信タイプ設定画面の**「優先する通信タイプ」**で設定した項目になります（122 ページ）。

5 **【緑】**を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

7 **【ホーム】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

発信元を選択する

1 **【メニュー】**を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信元を選択する」**を選び、**【決定】**を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

現在の設定	発信元名	接続モード
	room 1	標準
	room 2	標準
	room 3	標準
	room 4	NGN
	room 5	NGN
	room 6	つながるねっとサービス
	room 7	つながるねっとサービス
	room 8	つながるねっとサービス
	#未使用#	
	#未使用#	

青 編集　赤 削除　緑 発信元に設定　黄 設定解除

3 **【▲】【▼】**で使用したい発信元を選ぶ

お知らせ

- 選択中の発信元には、**「現在の設定」**に「➡」が表示されます。
- 発信元が登録されていない場合は**「#未使用#」**が表示されます。
- 通信タイプ設定画面で**「SIPの使用」**が**「しない」**に設定された場合（123 ページ）、SIP サーバーの使用が有効に設定された発信元は選択できません。また、**「H.323の使用」**が**「しない」**に設定された場合、ゲートキーパーの使用が有効に設定された発信元は選択できません。

4 **【緑】**を押す

- 発信元の一時利用を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す

- ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- 現在使用中の接続モードと、選択した発信元の接続モードが異なる場合、変更内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- 接続モードを変更する場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
- NGNモードを選択している発信元から発信した場合、言語設定画面で日本語以外を選択している場合でも、再起動後、画面は日本語で表示されます。その後、NGNモード以外を選択している発信元から発信しても日本語表示は継続されるので、日本語以外の言語で表示したい場合は、言語設定画面で再度選択してください（113 ページ）。
- 発信元選択中は、本体情報には機器名ではなく、**「発信元名」**に入力した名前が表示されます。
- 電源を切ると、システム設定画面で設定したネットワーク設定に戻ります。
- システム設定画面で設定したネットワーク設定に戻すためには、電源を一度切ったあと再度入れ直すか、次の手順に従ってください。
  1. 手順1～2をくり返す
  2. **【▲】【▼】**で選択中の発信元を選ぶ
  3. **【黄】**を押す
     - システム設定画面で設定したネットワーク設定に戻すかどうか確認するダイアログボックスが表示されます。
  4. **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
     - ホーム画面が表示されます。

     お知らせ

     - 発信元選択で一時利用していた接続モードとシステム設定画面で設定した接続モードが異なる場合、変更内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

発信元情報を編集する

1 **【メニュー】**を押す
- メニュー画面が表示されます。

2 **【▲】【▼】**で**「発信元を選択する」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信元選択画面が表示されます。

3 **【▲】【▼】**で編集したい発信元を選ぶ

4 **【青】**を押す
- 発信元編集画面が表示されます。

5 **【▲】【▼】**で編集したい項目を選び、編集する

6 **【緑】**を押す
- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

7 **【◀】【▶】**で**「はい」**を選び、**【決定】**を押す
- 発信元選択画面が表示されます。

8 **【ホーム】**を押す
- ホーム画面が表示されます。

発信元情報を削除する

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「**発信元を選択する**」を選び、【決定】を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

3 【▲】【▼】で削除したい発信元を選ぶ

<u>お知らせ</u>

- 通信タイプ設定画面で「**SIPの使用**」が「**しない**」に設定された場合（123 ページ）、SIP サーバーの使用が有効に設定された発信元は選択できません。また、「**H.323の使用**」が「**しない**」に設定された場合、ゲートキーパーの使用が有効に設定された発信元は選択できません。

4 【赤】を押す

- 削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 【◀】【▶】で「**はい**」を選び、【決定】を押す

- 発信元選択画面が表示されます。

6 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

文字や数字を入力する

リモコンでカタカナ、アルファベット、数字を入力することができます。（リモコンで漢字を入力することはできません。漢字を入力したい場合は、お手数ですが販売店までご相談ください。）
入力可能な文字や数字は次のとおりです。設定により選択した言語、また、選択した接続モードによって入力可能な文字は異なります。入力したい文字や数字が表示されるまで、該当するボタンを繰り返し押します。同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するには、【▶】を押してカーソルを右に移動させてください。

表1　日本語

ボタン	カナモード（全角）	英字モード（半角）		数字モード（半角）
		大文字優先モード	小文字優先モード	
1 ア	アイウエオァィゥェォ	1	1	1
2 カ ABC	カキクケコ	ABCabc2	abcABC2	2
3 サ DEF	サシスセソ	DEFdef 3	defDEF3	3
4 タ GHI	タチツテトッ	GHIghi4	ghiGHI4	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKLjkl5	jklJKL5	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNOmno6	mnoMNO6	6
7 マ PQRS	マミムメモ	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7
8 ヤ TUV	ヤユヨャュョ	TUVtuv8	tuvTUV8	8
9 ラ WXYZ	ラリルレロ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9
0 ワヲン ー	ワヲンヮー（全角スペース）	0（半角スペース）	0（半角スペース）	0
• ゛゜ ＊@	゛（濁点）゜（半濁点）	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	．＠：；”＝＊＋＜＞＃＿－＆＄￥％～￣！？／‘（），［］｛｜｝’	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表2　米語／英語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	ABCabc2	abcABC2	2	AÀÁÂÃÄÅ ÆBCÇaàá âãäåæbcç 2	aàáâãäåæ bcçAÀÁÂ ÃÄÅÆBC Ç2	AÁÄĄBCĆ Čaáäąbcć č2	aáäąbcćč AÁÄĄBCĆ Č2
3 サ DEF	DEFdef3	defDEF3	3	DEÈÉÊËF deèéêëf3	deèéêëfD EÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚF dďeéęěf3	dďeéęěfD ĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIghi4	ghiGHI4	4	GĞHIÌÍÎÏĨĬ İgğhiìíîïĩıı 4	gğhiìíîïĩıı GĞHIÌÍÎÏĨĬİ 4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjkl Íľł5	jklÍľłJKLĹ ĽŁ5
6 ハ MNO	MNOmno6	mnoMNO6	6	MNÑOÒÓ ÔÕÖØŒ mnñoòóô õöøœ6	mnñoòóôõ øœMNÑ OÒÓÔÕÖ ØŒ6	MNŃŇOÓ ÖŐmnńňo óöő6	mnńňoóöő MNŃŇOÓ ÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSpqr s7	pqrsPQR S7	7	PQRSŞßp qrsşß7	pqrsşßP QRSŞß7	PQRŔŘSŚ Špqrŕřsśš 7	pqrŕřsśšP QRŔŘSŚŠ 7
8 ヤ TUV	TUVtuv8	tuvTUV8	8	TUÙÚÛÜŨ Vtuùúûüũ v8	tuùúûüũv TUÙÚÛÜŨ V8	TŤUÚÜŮŰ Vtťuúüůűv 8	tťuúüůűvT ŤUÚÜŮŰV 8
9 ワ WXYZ	WXYZwxy z9	wxyzWXY Z9	9	WŴXIJYŶ Zwŵxijyŷz 9	wŵxijyŷz WŴXIJYŶ Z9	WXYỲÝZŹ ŻŽwxyỳýz źżž9	wxyỳýzźżž WXYỲÝZŹ ŻŽ9
0 ワヲン	0（スペース）	0（スペース）	0	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
・゛゜ ＊@	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>
# 記号	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'

表3　ドイツ語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	AÄBCaäbc2	aäbcAÄBC2	2	AÀÁÂÃÄÅÆBCÇaàáâãäåæbcç2	aàáâãäåæbcçAÀÁÂÃÄÅÆBCÇ2	AÁÄĄBCĆČaáäąbcćč2	aáäąbcćčAÁÄĄBCĆČ2
3 サ DEF	DEFdef3	defDEF3	3	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚFdďeéęěf3	dďeéęěfDĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIghi4	ghiGHI4	4	GĞHIÌÍÎÏĨĬİgğhiìíîïĩĭı4	gğhiìíîïĩĭıGĞHIÌÍÎÏĨĬİ4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjklĺľł5	jklĺľłJKLĹĽŁ5
6 ハ MNO	MNOÖmnoö6	mnoöMNOÖ6	6	MNÑOÒÓÔÕÖØŒmnñoòóôõöøœ6	mnñoòóôõöøœMNÑOÒÓÔÕÖØŒ6	MNŃŇOÓÖŐmnńňoóöő6	mnńňoóöőMNŃŇOÓÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSßpqrsß7	pqrsßPQRSß7	7	PQRSŞßpqrsşß7	pqrsşßPQRSŞß7	PQRŔŘSŚŠpqrŕřsśš7	pqrŕřsśšPQRŔŘSŚŠ7
8 ヤ TUV	TUÜVtuüv8	tuüvTUÜV8	8	TUÙÚÛÜŨVtuùúûüũv8	tuùúûüũvTUÙÚÛÜŨV8	TŤUÚÜŮŰVtťuúüůűv8	tťuúüůűvTŤUÚÜŮŰV8
9 ラ WXYZ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9	WŴXIJYŶZwŵxijyŷz9	wŵxijyŷzWŴXIJYŶZ9	WXYỲÝZŹŻŽwxyỳýzźżž9	wxyỳýzźżžWXYỲÝZŹŻŽ9
0 ワヲン _	0（スペース）	0（スペース）	0	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
゛゜ ＊@	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表4　本国フランス語／カナダフランス語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	AÀÂÆBCÇaàâæbcç2	aàâæbcçAÀÂÆBCÇ2	2	AÀÁÂÃÄÅÆBCÇaàáâãäåæbcç2	aàáâãäåæbcçAÀÁÂÃÄÅÆBCÇ2	AÁÄĄBCĆČaáäąbcćč2	aáäąbcćčAÁÄĄBCĆČ2
3 サ DEF	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	3	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚFdďeéęěf3	dďeéęěfDĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIÎÏghiîï4	ghiîïGHIÎÏ4	4	GĞHIÌÍÎÏĨĬİgğhiìíîïĩĭı4	gğhiìíîïĩĭıGĞHIÌÍÎÏĨĬİ4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjklÍľł5	jklÍľłJKLĹĽŁ5
6 ハ MNO	MNOÔŒmnoôœ6	mnoôœMNOÔŒ6	6	MNÑOÒÓÔÕÖØŒmnñoòóôõöøœ6	mnñoòóôõöøœMNÑOÒÓÔÕÖØŒ6	MNŃŇOÓÖŐmnńňoóöő6	mnńňoóöőMNŃŇOÓÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7	PQRSŞßpqrsşß7	pqrsşßPQRSŞß7	PQRŔŘSŚŠpqrŕřsśš7	pqrŕřsśšPQRŔŘSŚŠ7
8 ヤ TUV	TUÙÛÜVtuùûüv8	tuùûüvTUÙÛÜV8	8	TUÙÚÛÜŨVtuùúûüũv8	tuùúûüũvTUÙÚÛÜŨV8	TŤUÚÜŮŰVtťuúüůűv8	tťuúüůűvTŤUÚÜŮŰV8
9 ワ WXYZ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9	WŴXIJYŶZwŵxijyŷz9	wŵxijyŷzWŴXIJYŶZ9	WXYỲÝZŹŻŽwxyỳýzźżž9	wxyỳýzźżžWXYỲÝZŹŻŽ9
0 ワヲ ン _	0（スペース）	0（スペース）	0	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
・ ゛゜ ＊@	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表5　イタリア語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	AÀBCaàbc2	aàbcAÀBC2	2	AÀÁÂÃÄÅÆBCÇaàáâãäåæbcç2	aàáâãäåæbcçAÀÁÂÃÄÅÆBCÇ2	AÁÄĄBCĆČaáäąbcćč2	aáäąbcćčAÁÄĄBCĆČ2
3 サ DEF	DEÈÉFdeèéf3	deèéfDEÈÉF3	3	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚFdďeéęěf3	dďeéęěfDĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIÌghii4	ghiiGHIÌ4	4	GĞHIÌÍÎÏĨĬİgğhiìíîïĩĭı4	gğhiìíîïĩĭıGĞHIÌÍÎÏĨĬİ4	GHIÍghii4	ghiiGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjklĺľł5	jklĺľłJKLĹĽŁ5
6 ハ MNO	MNOÒÓmnoòó6	mnoòóMNOÒÓ6	6	MNÑOÒÓÔÕÖØŒmnñoòóôõöøœ6	mnñoòóôõöøœMNÑOÒÓÔÕÖØŒ6	MNŃŇOÓÖŐmnńňoóöő6	mnńňoóöőMNŃŇOÓÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7	PQRSŞßpqrsşß7	pqrsşßPQRSŞß7	PQRŔŘSŚŠpqrŕřsśš7	pqrŕřsśšPQRŔŘSŚŠ7
8 ヤ TUV	TUÙVtuùv8	tuùvTUÙV8	8	TUÙÚÛÜŨVtuùúûüũv8	tuùúûüũvTUÙÚÛÜŨV8	TŤUÚÜŮŰVtťuúüůűv8	tťuúüůűvTŤUÚÜŮŰV8
9 ラ WXYZ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9	WŴXIJYŶZwŵxijyŷz9	wŵxijyŷzWŴXIJYŶZ9	WXYỲÝZŹŻŽwxyỳýzźżž9	wxyỳýzźżžWXYỲÝZŹŻŽ9
0 ワヲン _	0（スペース）	0（スペース）	0	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
・゛゜ ＊@	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表6　スペイン語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	AÁBCaábc2	aábcAÁBC2	2	AÀÁÂÃÄÅÆBCÇaàáâãäåæbcç2	aàáâãäåæbcçAÀÁÂÃÄÅÆBCÇ2	AÁÄĄBCĆČaáäąbcćč2	aáäąbcćčAÁÄĄBCĆČ2
3 サ DEF	DEÉFdeéf3	deéfDEÉF3	3	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚFdďeéęěf3	dďeéęěfDĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4	4	GĞHIÌÍÎÏĨĬİgğhiìíîïĩĭı4	gğhiìíîïĩĭıGĞHIÌÍÎÏĨĬİ4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjklĺľł5	jklĺľłJKLĹĽŁ5
6 ハ MNO	MNÑOÓmnñoó6	mnñoóMNÑOÓ6	6	MNÑOÒÓÔÕÖØŒmnñoòóôõöøœ6	mnñoòóôõöøœMNÑOÒÓÔÕÖØŒ6	MNŃŇOÓÖŐmnńňoóöő6	mnńňoóöőMNŃŇOÓÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7	PQRSŞßpqrsşß7	pqrsşßPQRSŞß7	PQRŔŘSŚŠpqrŕřsśš7	pqrŕřsśšPQRŔŘSŚŠ7
8 ヤ TUV	TUÚÜVtuúüv8	tuúüvTUÚÜV8	8	TUÙÚÛÜŨVtuùúûüũv8	tuùúûüũvTUÙÚÛÜŨV8	TŤUÚÜŮŰVtťuúüůűv8	tťuúüůűvTŤUÚÜŮŰV8
9 ワ WXYZ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9	WŴXIJYŶZwŵxijyŷz9	wŵxijyŷzWŴXIJYŶZ9	WXYỲÝZŹŻŽwxyỳýzźżž9	wxyỳýzźżžWXYỲÝZŹŻŽ9
0 ワヲ ン _	0（スペース）	0（スペース）	0	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
゛゜ ＊@	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表7　オランダ語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	AÁÄBCaáäbc2	aáäbcAÁÄBC2	2	AÀÁÂÃÄÅÆBCÇaàáâãäåæbcç2	aàáâãäåæbcçAÀÁÂÃÄÅÆBCÇ2	AÁÄĄBCĆČaáäąbcćč2	aáäąbcćčAÁÄĄBCĆČ2
3 サ DEF	DEÈÉËFdeèéëf3	deèéëfDEÈÉËF3	3	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚFdďeéęěf3	dďeéęěfDĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIÍÏghiíï4	ghiíïGHIÍÏ4	4	GĞHIÌÍÎÏĨĬİgğhiìíîïĩĭı4	gğhiìíîïĩĭıGĞHIÌÍÎÏĨĬİ4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjklĺľł5	jklĺľłJKLĹĽŁ5
6 ハ MNO	MNOÓÖmnoóö6	mnoóöMNOÓÖ6	6	MNÑOÒÓÔÕÖØŒmnñoòóôõöøœ6	mnñoòóôõöøœMNÑOÒÓÔÕÖØŒ6	MNŃŇOÓÖŐmnńňoóöő6	mnńňoóöőMNŃŇOÓÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7	PQRSŞßpqrsşß7	pqrsşßPQRSŞß7	PQRŔŘSŚŠpqrŕřsśš7	pqrŕřsśšPQRŔŘSŚŠ7
8 ヤ TUV	TUÚÜVtuúüv8	tuúüvTUÚÜV8	8	TUÙÚÛÜŨVtuùúûüũv8	tuùúûüũvTUÙÚÛÜŨV8	TŤUÚÜŮŰVtťuúüůűv8	tťuúüůűvTŤUÚÜŮŰV8
9 ラ WXYZ	WXIJYZwxijyz9	wxijyzWXIJYZ9	9	WŴXIJYŶZwŵxijyŷz9	wŵxijyŷzWŴXIJYŶZ9	WXYỲÝZŹŻŽwxyỳýzźżž9	wxyỳýzźżžWXYỲÝZŹŻŽ9
0 ワヲン _	0（スペース）	0（スペース）	0	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
゛゜ ＊@	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表8　ポルトガル語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	AÁÂÃÀBCÇaáâãàbcç2	aáâãàbcçAÁÂÃÀBCÇ2	2	AÀÁÂÃÄÅÆBCÇaàáâãäåæbcç2	aàáâãäåæbcçAÀÁÂÃÄÅÆBCÇ2	AÁÄĄBCĆČaáäąbcćč2	aáäąbcćčAÁÄĄBCĆČ2
3 サ DEF	DEÉÊFdeéêf3	deéêfDEÉÊF3	3	DEÈÉÊËFdeèéêëf3	deèéêëfDEÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚFdďeéęěf3	dďeéęěfDĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4	4	GĞHIÌÍÎÏĨĬİgğhiìíîïĩĭı4	gğhiìíîïĩĭıGĞHIÌÍÎÏĨĬİ4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjklĺľł5	jklĺľłJKLĹĽŁ5
6 ハ MNO	MNOÓÔÕmnoóôõ6	mnoóôõMNOÓÔÕ6	6	MNÑOÒÓÔÕÖØŒmnñoòóôõöøœ6	mnñoòóôõöøœMNÑOÒÓÔÕÖØŒ6	MNŃŇOÓÖŐmnńňoóöő6	mnńňoóöőMNŃŇOÓÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7	PQRSŞßpqrsşß7	pqrsşßPQRSŞß7	PQRŔŘSŚŠpqrŕřsśš7	pqrŕřsśšPQRŔŘSŚŠ7
8 ヤ TUV	TUÚÜVtuúüv8	tuúüvTUÚÜV8	8	TUÙÚÛÜŨVtuùúûüũv8	tuùúûüũvTUÙÚÛÜŨV8	TŤUÚÜŮŰVtťuúüůűv8	tťuúüůűvTŤUÚÜŮŰV8
9 ワ WXYZ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9	WŴXIJYŶZwŵxijyŷz9	wŵxijyŷzWŴXIJYŶZ9	WXYỲÝZŹŻŽwxyỳýzźżž9	wxyỳýzźżžWXYỲÝZŹŻŽ9
0 ワヲ ン ー	0（スペース）	0（スペース）	0	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
・ ゛゜ ＊@	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

表9　ロシア語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	キリル文字モード		数字モード	ラテン文字モード	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1
2 カ ABC	АБВГабвг2	абвгАБВГ2	2	AÁÂÃÀBCÇ aáâãàbcç2	aáâãàbcç AÁÂÃÀBCÇ2
3 サ DEF	ДЕЁЖЗдеёжз3	деёжзДЕЁЖЗ3	3	DEÉÊFdeéêf3	deéêfDEÉÊF3
4 タ GHI	ИЙКЛийкл4	ийклИЙКЛ4	4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ。 JKL	МНОПмноп5	мнопМНОП5	5	JKLjkl5	jklJKL5
6 ハ MNO	РСТУрсту6	рстуРСТУ6	6	MNOÓÔÕmnoóôõ6	mnoóôõMNOÓÔÕ6
7 P マ QRS	ФХЦЧфхцч7	фхцчФХЦЧ7	7	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7
8 ヤ TUV	ШЩЪЫшщъы8	шщъыШЩЪЫ8	8	TUÚÜVtuúüv8	tuúüvTUÚÜV8
9 W ラ XYZ	ЬЭЮЯьэюя9	ьэюяЬЭЮЯ9	9	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9
0 ワヲ ン ー	0（スペース）ҐЄІЇЎґєіїў	0（スペース）ґєіїўҐЄІЇЎ	0	0（スペース）	0（スペース）
• ゛゜ ＊@	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>	.@:;"=*+<>
# 記号	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'	#_-&$\%~^!?/`(),[]{|}'

次ページへ続く

前ページからの続き

ボタン	拡張文字1（西欧系）		拡張文字2（東欧系）	
	大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1
2 カ ABC	AÀÁÂÃÄÅ ÆBCÇaàá âãäåæbcç 2	aàáâãäåæ bcçAÀÁÂ ÃÄÅÆBC Ç2	AÁÄĄBCĆ Čaáäąbcć č2	aáäąbcćč AÁÄĄBCĆ Č2
3 サ DEF	DEÈÉÊËF deèéêëf3	deèéêëfD EÈÉÊËF3	DĎEÉĘĚF dďeéęěf3	dďeéęěfD ĎEÉĘĚF3
4 タ GHI	GĞHIÌÍÎÏĨĬ İgğhiìíîïĩĭı 4	gğhiìíîïĩĭı GĞHIÌÍÎÏĨĬİ 4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽŁjkl ĺľł5	jklĺľłJKLĹ ĽŁ5
6 ハ MNO	MNÑOÒÓ ÔÕÖØŒ mnñoòóô õöøœ6	mnñoòóôõ öøœMNÑ OÒÓÔÕÖ ØŒ6	MNŃŇOÓ ÖŐmnńňo óöő6	mnńňoóöő MNŃŇOÓ ÖŐ6
7 マ PQRS	PQRSŞßp qrsşß7	pqrsşßP QRSŞß7	PQRŔŘSŚ Špqrŕřsśš 7	pqrŕřsśšP QRŔŘSŚŠ 7
8 ヤ TUV	TUÙÚÛÜŨ Vtuùúûüũ v8	tuùúûüũv TUÙÚÛÜŨ V8	TŤUÚÜŮŰ Vtťuúüůűv 8	tťuúüůűvT ŤUÚÜŮŰV 8
9 ラ WXYZ	WŴXIJYŶ Zwŵxijyŷz 9	wŵxijyŷz WŴXIJYŶ Z9	WXYỲÝZŹ ŻŽwxyỳýz źżž9	wxyỳýzźżž WXYỲÝZŹ ŻŽ9
0 ワヲン	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）	0（スペース）
゛゜ ＊@	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>	.@:;"=*+ <>
# 記号	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'	#_-&$\% ~^!?/`(), []{|}'

表10　中国語（NGNモード選択時を除く）

ボタン	ラテン文字モード		数字モード
	大文字優先モード	小文字優先モード	
1	1	1	1
2 ABC	ABCabc2	abcABC2	2
3 DEF	DEFdef3	defDEF3	3
4 GHI	GHIghi4	ghiGHI4	4
5 JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5
6 MNO	MNOmno6	mnoMNO6	6
7 PQRS	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7
8 TUV	TUVtuv8	tuvTUV8	8
9 WXYZ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9
0 _	0　(Normal space)	0　(Normal space)	0
• @ *	.@:;”=*+<>	.@:;”=*+<>	.@:;”=*+<>
#	#_-&$\%~^!?/‘(),[]{|}’	#_-&$\%~^!?/‘(),[]{|}’	#_-&$\%~^!?/‘(),[]{|}’

入力モードを切り替える

【青】または**【赤】**を押すたびに、次のように順番に入力モードが切り替わります。

- **【青】**：
  （日本語選択時）カナモード → 英字モード → 数字モード
  （日本語／ロシア語以外選択時）ラテン文字モード → 数字モード → 拡張文字1モード → 拡張文字2モード
  （ロシア語選択時）キリル文字モード → 数字モード → ラテン文字モード → 拡張文字1モード → 拡張文字2モード
  （中国語選択時）ラテン文字モード → 数字モード
- **【赤】**：
  （カナモード／数字モード以外選択時）小文字優先モード → 大文字優先モード

現在選択中の入力モードはガイドエリアに表示されます。
例：カナモードを選択中

入力した文字や数字を削除する

【黄】を押すと、入力した文字や数字を削除できます。カーソルの位置によって削除される文字や数字が次のように異なります。

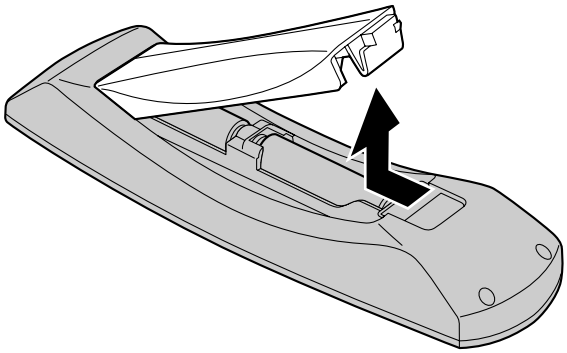
- カーソルの位置が入力文字・数字の最後：直前の1文字や数字を削除
- カーソルの位置が入力文字・数字の途中：直後の1文字や数字を削除

文字や数字を挿入する

【◀】【▶】で挿入したい位置にカーソルを移動させ、文字や数字を入力します。入力した文字や数字は、移動させたカーソルの前後の文字や数字の間に挿入されます。

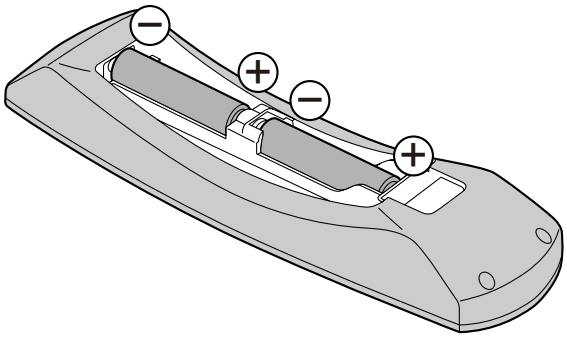
リモコンの電池を交換する

1 ふたを開ける



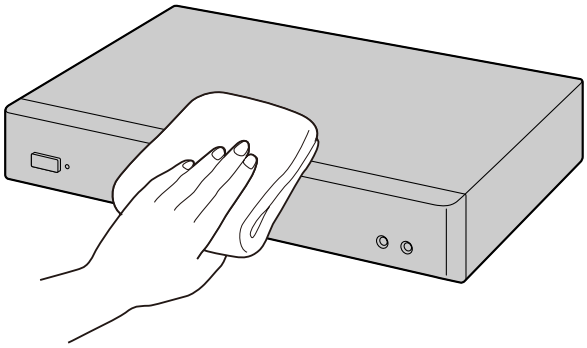
2 単3形乾電池を取り出す

3 交換用の単3形乾電池を（－）側から入れ、ふたを閉める



お手入れ

お手入れをするときは、電源プラグやケーブルを抜き、電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままお手入れをすると、誤動作の原因になります。



- 機器は、乾いた柔らかい布でふいてください。
  汚れがひどい場合、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- お手入れには下記のものは使わないでください。変色、変質の原因になります。
  - 石油
  - みがき粉
  - アルコール
  - シンナー
  - ベンジン
  - ワックス
  - 熱湯
  - 粉せっけん
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。

困ったとき

トラブルが起きたときは、こちらをお読みください。点検を行う前に、本体が正しく接続されているか、電源プラグを差し込んでいる電源コンセントから電源が供給されているか確認してください。

基本動作について

こんなとき	原因と対応
電源が入らない	• 電源プラグが電源コンセントに接続されていません。 → 電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
画面が表示されない	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（20 ページ）。自己診断を行い、本体に接続しているビデオカメラとテレビの動作を確認してください（116 ページ）。 • メインビデオカメラの電源が入っていません。 → メインビデオカメラの電源を入れてください。 • テレビの電源が入っていません。またはテレビの入力切替の設定が異なっています。 → テレビの電源を入れてください。テレビの入力切替の設定を変更してください。 • スクリーンスタンバイ状態です。 → リモコンを操作するか、着信があるとスクリーンスタンバイ状態が解除され、映像が表示されます。 **お知らせ** • ネットワーク管理者がスクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定することができます（107 ページ）。 • HDCP（不正コピー防止技術）に対応した機器を接続したときは、青い画面が表示されたり、青と黒の画面を繰り返すなど映らない場合があります。 → 正常に映らない場合は、HDCPに対応した機器を接続しないでください。

こんなとき	原因と対応
映像の上／下または左／右が欠けているように見える	• テレビが、すべてを表示できる設定になっていません。 → パナソニック（株）製テレビをご使用の場合は、テレビの画面表示モードが「フル」になっていることを確認してください。 → パナソニック（株）製以外のテレビをご使用の場合は、販売店にご相談ください。 • MCU接続または他社機接続の場合、相手側の機器によっては、映像の一部が切れて表示されることがあります。 → 販売店にご相談ください。 **お知らせ** • 3地点通信中の**レイアウト1**では、左右が切れて表示されます（57 ページ）。4地点通信中の**レイアウト2**では、映像の端が切り取られ、中央部が表示されます（60 ページ）。
映像の横縦比が正しく表示されない	• MCU接続または他社機接続の場合、相手側の機器によっては、映像の横縦比が正しく表示されないことがあります。 → 映像の横縦比を調整してください（56 ページ）。
操作しても動かない／動作がおかしい	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（20 ページ）。 • エラーが発生しています。 → 電源を切って再起動してください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。

こんなとき	原因と対応
リモコンが動かない	• リモコンの電池が切れています。 → 新しい電池に交換してください。 • リモコンの動作範囲外で操作しています。 → リモコンの動作範囲内で操作していることを確認してください（19 ページ）。 • リモコンIDが本体とリモコンとで一致していません。 → 本体とリモコンのリモコンIDが一致するよう設定を変更してください。次の手順を行ってください。 **1.** 電源を一度切ったあと再度入れ直して本機を再起動する • ホーム画面が表示されます。本体のリモコンIDを確認してください（32 ページ）。 **お知らせ** • リモコンIDがホーム画面に表示されていない場合は、販売店へお問い合わせください。 **2.** [・]と[#]を同時に押したままにする **3.** ボタンを離して2秒以内にホーム画面に表示されているIDと一致する番号（**1**～**3**）を押す **お知らせ** • 上記の手順を行ってもリモコンが動かない場合は、販売店へお問い合わせください。 • 固定カメラが、リモコンからの信号を受信する設定になっています。 → 固定カメラのリモコン受信部にリモコンを向けて操作を行ってください。 → **「固定カメラのリモコン受信」**を**「無効」**に設定してください（114 ページ）。 • 本体が、リモコンからの信号を受信する設定になっています。 → 本体のリモコン受信部にリモコンを向けて操作を行ってください（19 ページ）。 → **「固定カメラのリモコン受信」**を**「有効」**に設定してください（114 ページ）。

こんなとき	原因と対応
リモコンで自分側のビデオカメラ（メインまたはサブビデオカメラ）を操作できない	• 自分側のビデオカメラが、本体がサポートしているビデオカメラではありません。 → 本体がサポートしているビデオカメラを使用してください。詳細については、販売店にお問い合わせください。 • 自分側のビデオカメラがサポートしていない機能を操作しようとしています。例えば、ズーム機能のみサポートしているビデオカメラに対してパン操作を行おうとしています。 → 操作しようとしている機能を自分側のビデオカメラがサポートしているか確認してください。 • 自分側でメインビデオカメラとサブビデオカメラを両方接続している場合、操作できないときがあります。 → 操作できないビデオカメラのHDMIケーブルを一度抜いて、再度接続し直してください。
リモコンで相手側のビデオカメラ（メインまたはサブビデオカメラ）を操作できない	• 相手側のビデオカメラが、本体がサポートしているビデオカメラではありません。 → 本体がサポートしているビデオカメラを使用するように相手に伝えてください。詳細については、販売店に問い合わせるように相手に伝えてください。 • 相手側の**「通信相手からのカメラ制御」**が**「無効」**に設定されています（114 ページ）。 → 相手側に**「通信相手からのカメラ制御」**を**「有効」**に設定するように伝えてください。 • 相手側のビデオカメラがサポートしていない機能を操作しようとしています。例えば、ズーム機能のみサポートしているビデオカメラに対してパン操作を行おうとしています。 → 操作しようとしている機能を相手側のビデオカメラがサポートしているか確認してください。 • 相手側でメインビデオカメラとサブビデオカメラを両方接続している場合、操作できないときがあります。 → 操作できないビデオカメラのHDMIケーブルを一度抜いて、再度接続し直すように相手に伝えてください。 • 互換性のないソフトウェアのバージョンを使用している通信参加者がいます。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。ソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。 • 相手が他社製のテレビ会議システムを使用しています。 → 他社製のテレビ会議システムの場合、操作ができなかったり、誤動作を起こす可能性があります。

こんなとき	原因と対応
相手とつながらない	• LANケーブルが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（20 ページ）。相手のIPアドレスを指定して、ネットワーク接続の確認を行い、相手との接続を確認してください（115 ページ）。 • 最大帯域の設定が正しくありません。 → 512 kbpsに設定している場合、3地点通信はできません。512 kbpsまたは768 kbpsに設定している場合、4地点通信はできません。最大帯域の設定を確認し、ご使用の環境に合った設定を行ってください。 → 他社機接続の場合、双方の帯域設定によっては通信できません。最大帯域の設定を確認し設定を変更するか、適切な設定に変更するように相手に伝えてください（104 ページ、141 ページ）。こちら側の設定を変更した場合、変更後の情報を発信元に登録することをおすすめします（140 ページ）。 • 通信タイプの設定が正しくありません。 → 通信タイプの設定を相手と合わせてください（122 ページ）。 • SIPの設定が正しくありません。 → SIPの設定を確認してください（123 ページ）。SIPの設定を確認後、それでも相手とつながらない場合はネットワーク管理者にご相談ください。 • ダイジェスト認証用のIDとパスワードが正しく設定されていません。 → **「認証用ID」**と**「認証用パスワード」**が正しく設定されているか確認してください（124 ページ）。 • **「SIPトランスポートプロトコル」**の設定が相手と異なります。 → **「SIPトランスポートプロトコル」**の設定を相手と合わせてください（124 ページ、143 ページ）。 • 発信元の設定が正しくありません。 → 発信元の設定を確認してください。ご使用の環境に合った設定を行ってください（140 ページ）。 • IPアドレスが正しく入力されていません。 → 相手のIPアドレスを正しく入力したか確認してください。 • SIP-URI（またはSIPユーザー名）／H.323内線番号／H.323名が正しく入力されていません。 → 相手のSIP-URI（またはSIPユーザー名）／H.323内線番号／H.323名を正しく入力したか、また、規格に準拠した値を入力したか確認してください。 • MCUの会議室番号@IPアドレスが正しく入力されていません。 → 接続するMCUの会議室番号およびIPアドレスを正しく入力したか確認してください。

こんなとき	原因と対応
	• MCUの会議室番号@IPアドレスを入力して発信する場合、**「SIPサーバーの使用」**または**「ゲートキーパーの使用」**を**「する」**に設定しています。 → **「SIPサーバーの使用」**と**「ゲートキーパーの使用」**を**「しない」**に設定してください（123 ページ、125 ページ）。 • インターネット接続が確立（リンクアップ）していません。 → 接続するハブ、ルーターなどによっては、リンクアップに 10 秒以上かかるものがあります。 • 互換性のないソフトウェアのバージョンを使用している相手と通信をしようとしています。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。ソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。 • MCU接続または他社機接続で通信をしようとしています。 → MCU接続または他社機接続の場合、相手側の機器によっては、暗号通信ができなかったり、誤動作を起こしたりする可能性があります。その場合は販売店にご相談ください。 • MCU接続または他社機接続の場合、対応していない機種に接続しようとしています。 → 発信履歴から問題のある機器名を確認し、販売店にご相談ください。 • ホスト名が正しくIPアドレスに変換されていません。 → ネットワーク設定（102 ページ）（発信元選択時は発信元設定［140 ページ］）で、**「DNSの設定」**または**「優先DNSサーバー」**の設定を確認してください。

こんなとき	原因と対応
映像が乱れる	• ハブやルーターの設定が本機と異なっています。 → 販売店にご相談ください。 • パケットロスが発生しています。（ネットワークが混雑しています。） → ネットワーク状況アイコンの表示を確認してください（35 ページ）。アンテナの数が0～1本の状態が続く場合は、**【状況表示】**を 2 回押して、**「ロス率」**と**「帯域」**をご確認のうえ、ネットワーク管理者または販売店にご相談ください（93 ページ）。 • 最大帯域の設定が正しくありません。 → 3地点通信中は、1 Mbps以上の帯域が必要です。**「最大帯域」**を**「1.0 Mbps」**以上の値に設定を変更してください（104 ページ、141 ページ）。 → 4地点通信中は、1.5 Mbps以上の帯域が必要です。**「最大帯域」**を**「1.5 Mbps」**以上の値に設定を変更してください（104 ページ、141 ページ）。 → MCU接続または他社機接続の場合、相手側の機器によっては、帯域不足などにより映像が乱れることがあります。その場合は販売店にご相談ください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。
通信中の最大帯域が変わっている	• 標準モード使用時の通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。 • NGNモード使用時は、通信中は発信側の最大帯域が適用されます。通信相手の契約タイプによっては、発信側の設定より低い帯域になる場合があります。 → ご利用の回線に問題が発生する場合は、販売店にご相談ください。
パソコンの画面やサブビデオカメラの映像が共有できない	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（79 ページ、87 ページ）。ホーム画面で**【PC】**または**【サブカメラ】**を押して、パソコン画面やサブビデオカメラの映像を確認してください（79 ページ、87 ページ）。 • パソコンの解像度とリフレッシュレートが本機に対応していません。 → 本機に対応している解像度とリフレッシュレートに設定してください（80 ページ）。
サブビデオカメラの静止画を表示する時、鮮明な画像が表示されるのに時間がかかる	• 静止画の送信に時間がかかっています。パケットロスが発生しています。 → **「静止画送信時の解像度」**を**「HD」**に変更してください（106 ページ）。

音声について

こんなとき	原因と対応
相手に自分の声が聞こえない	• マイクのケーブルが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（20 ページ）。自己診断を行い、本体に接続しているマイクの動作を確認してください（116 ページ）。 • マイクがマイクオフになっています。 → リモコンの**【マイクオフ】**を押すか、専用マイクのマイクオフボタンを押して、マイクオフを解除してください（75 ページ）。 • **「着信時のマイクオフ」**が**「する」**に設定されています。 → 応答して通信を開始した時のマイクがマイクオフになります。設定を確認してください（106 ページ）。 • マイクが遮られています。 → 通信中は、物や手でマイクを遮らないでください。 • マイクから離れすぎています。 → マイクの近くで話をしてください。 • 専用デジタルマイクを5台以上カスケード接続しています。 → 接続台数を4台以下にしてください。 • ヘッドセットが接続されています。 → ヘッドセットを接続している場合は、専用マイクからの音声入力が機能しなくなりますので、専用マイクを使って通信する場合は、ヘッドセットを外してください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。
音が途切れる	• マイクから離れすぎています。 → マイクの近くで話をしてください。 • 通信中に本体やマイクを動かしています。 → 通信中は、本体やマイクを動かさないでください。 • マイクが遮られています。 → 通信中は、物や手でマイクを遮らないでください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。

こんなとき	原因と対応
音声が聞こえない・小さい	• 本機の音量の設定が小さすぎます。 → 音量を大きくしてください（74 ページ）。 **お知らせ** • 通信開始時の音量を設定することができます。設定を確認してください（108 ページ）。 • 通信中の相手がマイクオフになっています。 → 相手にマイクオフを解除するように伝えてください。 • テレビの音量の設定が小さすぎます。 → テレビの音量を大きくしてください。 • ヘッドセットが接続されています。 → ヘッドセットを接続している場合は、テレビやスピーカーからの音声出力が機能しなくなりますので、ヘッドセットを外してください。
ハウリングが発生する	• マイクがテレビ・スピーカーに近づきすぎています。 → マイクをテレビ・スピーカーから1 m以上離してください。 • テレビの音量の設定が大きすぎます。 → テレビの音量を小さくしてください。
音が途切れる／エコー（自分の声がスピーカーから聞こえる現象）が発生する	• 通信開始直後は、本機が使用環境に適応していない場合があります。 → 通信開始直後は、相手と交互にお話ください。本機が使用環境に合わせて両者の声を聞き取りやすくなるように自動的に調整します。
相手にノイズが聞こえる	• 専用マイクのケーブルが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（26 ページ）。
相手の映像と逆のスピーカーから声が聞こえる（画面の右側に映っている相手の声が左側から聞こえるなど）	• スピーカーが正しく配置されていません。 → テレビの両側にスピーカーを配置し、左右が正しく接続されているか確認してください。 • 相手側のスピーカーが正しく配置されていません。 → 相手にテレビの両側にスピーカーを配置するように伝えてください。マイク位置の設定がおまかせ設定の場合、会議室の前方にテレビ、後方にスピーカーを配置すると、マイクの集音位置が左右逆になり、相手側の映像と逆のスピーカーから声が聞こえます。 • 相手側のマイク位置の手動設定が正しくありません。 → 相手にマイク位置の手動設定内容を確認するように伝えてください。マイク位置の手動設定の左右はメインビデオカメラから見た左右です。また、**「中央ステレオ」**に設定する場合は、専用デジタルマイクのコネクターをテレビ側に向けて設置してください（109 ページ）。

機能の設定について

こんなとき	原因と対応
本機の設定ができない	• 通信中です。 → 通信を終えてから、本機を設定してください。 • 着信中です。 → 着信に応答するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。**【終了】**を押して着信を切断してから、本機を設定してください。 → 本機の設定を編集中に着信すると、編集内容を保存せずに着信に応答するかどうかを確認するダイアログボックスが表示され、一時的に編集ができなくなります。編集を継続したい場合は、応答を拒否してください。

こんなメッセージが出たら

表示メッセージ	原因と対応
暗号設定が異なるため通信できませんでした	• 暗号通信の有効／無効の設定が相手と一致していません。 → 暗号通信の設定を相手と合わせてください（105 ページ、120 ページ）。
暗号鍵が一致しないため通信できませんでした	• 暗号鍵の設定が相手と一致していません。 → 暗号鍵の設定を相手と合わせてください（121 ページ）。
メインカメラの入力信号を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（20 ページ）。 • メインビデオカメラからの入力信号不正です。 → 接続したメインビデオカメラから正常な入力信号が受信できません。販売店にお問い合わせください。
アドレス帳に空きがないため登録できません	• アドレス帳に空きがありません。 → 不要な登録先を削除してください（99 ページ）。
IPアドレスが正しくありません	• IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。

表示メッセージ	原因と対応
サブネットマスクが正しくありません	• サブネットマスクとして無効な値を入力しています。 → 正しいサブネットマスクを入力してください。 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。 「.000」のような入力はしないでください。 例：「255.255.255.0」の場合： （正）255.255.255.0 （誤）255.255.255.000
デフォルトゲートウェイが正しくありません	• デフォルトゲートウェイとして無効な値を入力しています。 → 正しいデフォルトゲートウェイを入力してください。 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。 「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001
日時の入力が正しくありません	• 有効な入力範囲以外の値を入力しています。 → 2012/1/1～2035/12/31の値で入力してください。
PCが接続されていません 接続を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（79 ページ）。 • パソコンの電源が切れています。 → パソコンの電源を入れてください。 • パソコンの外部ディスプレイ端子から信号が出力されていません。 → パソコンの画面の出力先が外部ディスプレイになるように、パソコンの設定を変更してください。
サブカメラが接続されていません 接続を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（87 ページ）。 • サブビデオカメラの電源が切れています。 → サブビデオカメラの電源を入れてください。
サブカメラの入力信号を確認してください	• ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（87 ページ）。 • サブビデオカメラからの入力信号不正です。 → 接続したサブビデオカメラから正常な入力信号が受信できません。販売店にお問い合わせください。

表示メッセージ	原因と対応
画面の解像度を 確認してください	• パソコンの解像度とリフレッシュレートが本機に対応していません。 → 本機に対応している解像度とリフレッシュレートに設定してください（80 ページ）。 • 通信参加者の中に3.00より古いソフトウェアバージョン（3.00は含みません）を使用している相手がいる場合、HDまたはWXGAでのパソコン信号入力はできません。 → パソコンの解像度をVGA、SVGA、XGAに設定してください（80 ページ）。
nはすでに使用されています **お知らせ** • nにはIPアドレスが表示されます。	• 使用するネットワーク上に、入力したアドレスがすでに設定された機器があります。 → 同一ネットワーク上ではIPアドレスが重複しないように設定してください。
冷却用ファンが停止しました 速やかに電源を切ってください	• CPU冷却用のファンが停止しました。 → 速やかに電源を切り、販売店にご相談ください。
メインカメラの設定を確認してください ＜カメラの設定確認＞ カメラ本体を操作し、HDMI出力を1080iに設定してください ＜セーフモード＞ リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のビデオカメラを検知しました。 → ビデオカメラの設定をHD解像度（1920 × 1080i）に変更してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
メインカメラの設定を確認してください ＜カメラの確認＞ 動作周波数が60Hzのカメラを使用してください ＜セーフモード＞ リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• 本体の動作周波数と異なるビデオカメラを検知しました。 → 本体の動作周波数と同じビデオカメラを使用してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。

表示メッセージ	原因と対応
サブカメラの設定を確認してください <カメラの設定確認> カメラ本体を操作し、HDMI出力を1080iに設定してください <セーフモード> リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のビデオカメラを検知しました。 → ビデオカメラの設定をHD解像度（1920 × 1080i）に変更してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
サブカメラの設定を確認してください <カメラの確認> 動作周波数が 60Hzのカメラを使用してください <セーフモード> リモコンの［#］を押すと、再起動後、セーフモードとなります	• 本体の動作周波数と異なるビデオカメラを検知しました。 → 本体の動作周波数と同じビデオカメラを使用してください。 **お知らせ** • 通信中にセーフモードへ移行した場合、通信は切断されます。 • NGNモード使用時にセーフモードへ移行した場合、ネットワークの状態によっては再起動に時間がかかる場合があります。
ソフトウェアのバージョンが異なるため通信できませんでした	• 互換性のないソフトウェアのバージョンを使用している相手と通信をしようとしています。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。ソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。
組み合わせ不一致のため通信できませんでした	• 多地点通信において、通信参加者の中に通信ができない相手が含まれています。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。ソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。
サポート外のため通信できませんでした	• サポートしていない機能で接続しようとしました。 → 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。ソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。接続可能なバージョン、機能の詳細については、販売店へお問い合わせください。 • サポートしていないMCUまたは他社製のテレビ会議システムの機種と接続しようとしました。 → 接続可能なMCUまたは他社製のテレビ会議システムの機種の詳細については、販売店へお問い合わせください。
サポート外のため通信を切断しました	• 通信相手の機器がサポートしていないコーデックを使用しています。 → 通信相手の機器の設定を確認してください。

表示メッセージ	原因と対応
本体の設定（n2）と異なるリモコンID（n1）を受信しました 本体の設定と同じリモコンで［ホーム］を押してください または、以下の手順でリモコンを設定してください **1** ［・］と［#］を同時に押して離してください **2** 2秒以内に、［n2］を押してください **3** リモコンの［ホーム］を押して、この表示が消えれば変更完了です ※この表示が消えない場合は、リモコンの電池を確認し、本体近くで、もう一度設定してください **お知らせ** • ここでは、リモコンのリモコンID（1、2、3）をn1と記載しています。 • ここでは、本体のリモコンID（1、2、3）はn2と記載しています。	• 本体とリモコンのリモコンIDが一致しません。 → 画面上の手順に従って、リモコンのリモコンIDを変更して本体と合わせてください。 → リモコンのリモコンIDが変更できない場合は、販売店へお問い合わせください。 → 近くで複数のリモコンIDを使用している場合や、このメッセージを表示させない場合は、**「IDの不一致確認」**を**「しない」**に設定してください（112 ページ）。
発信先アドレスが正しくありません	• IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。 • アドレス情報として無効な値を入力しています。 → 正しい宛先を入力してください（37 ページ）。

表示メッセージ	原因と対応
発信先を確認してください	• 相手のIPアドレスが自分のIPアドレスと同じです。 → 正しいIPアドレスを登録してください。 • 多地点通信において、通信参加者の中に、同一のIPアドレスを使用している相手が含まれています。 → 正しいIPアドレスを登録してください。
優先DNSサーバーが正しくありません	• IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPアドレスを入力してください。IPアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
代替DNSサーバーが正しくありません	
DNSサーバーには異なるアドレスを入力してください	• 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのアドレスが同じです。 → 異なるアドレスを入力してください（102 ページ）。
あとn秒で通信を終了します 通信を継続する場合は、［はい］を押してください **お知らせ** • 設定した時間の残り1分前になった時、このメッセージが表示されます。最初に表示される時、nは「60」と表示されています。残りの時間が減り始めます。	• **「最長通信時間」**で設定した時間が残り1分となっています（106 ページ）。 → **「はい」**を選ぶと、**「最長通信時間」**で設定した時間分の通信時間を延長することができます。**「いいえ」**を選ぶと、通信は切断されます。
ネットワークの設定が正しくありません	• NGNモード使用時に、一時的に通信が行えない状態が発生しています。 → LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。ホーム画面に電話番号が表示されるのを待って、再度発信してください。 **お知らせ** • ホーム画面に電話番号が表示されるまで、最大で約10分かかる場合があります。
接続拒否されました	• NGNモード使用時に、相手に接続拒否されたか、相手側の本体に電源が入っていないか、またはLANケーブルが正しく接続されていません。 → 相手側の本体に電源が入っており、ホーム画面に電話番号が表示されていることを確認するように相手に伝えてください。

表示メッセージ	原因と対応
切断されました	• NGNモード使用時に、相手と通信ができない場合、本体が原因を特定できずに、通信が切断されました。 → 電話番号が正しいか確認してください。しばらく待って再度発信し、それでも接続できない場合は、販売店にご相談ください。 • MCU接続時または他社機接続時に通信が切断されました。 → MCU接続または他社機接続の場合、相手側の機器によっては、暗号通信ができなかったり、誤動作を起こしたりする可能性があります。その場合は販売店にご相談ください。 • MCUまたは他社機接続時に相手と通信ができない場合、本体が原因を特定できずに、通信が切断されました。 → しばらく待って再度発信し、それでも接続できない場合は、販売店にご相談ください。
通信できませんでした	• 相手側の機器が一般電話であるか、相手側でテレビ電話の契約がされていません。 → 電話番号が正しいか確認してください。相手側に、回線の契約を確認するように伝えてください。
ネットワークに接続できません (XXXX XXXX) **お知らせ** • 「XXXX XXXX」にはエラーコード（数字）が表示されます。	• LANケーブルが正しく接続されていないため、通信ができません。 → LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。ホーム画面にIPアドレス／SIPユーザー名／電話番号などが表示されるのを待って、再度発信してください。それでも接続できない場合は、エラーコードをお控えのうえ、販売店にご相談ください。 **お知らせ** • LANケーブルが正しく接続されていないことが原因で、通信が行えない状態が発生した場合、LANケーブルを正しく接続し直しても、最大で約10分IPアドレス／SIPユーザー名／電話番号などが表示されず、通信を行えない場合があります。
接続先の帯域設定値が低いため通信できませんでした	• 相手側の最大帯域の設定が多地点通信（3地点、4地点）が可能な値になっていません。 → 最大帯域の設定を変更するように相手に伝えてください。
サポート外のためPC共有できませんでした	• 相手がサポートできない解像度のため、パソコン画面を共有することができません。 → 相手が対応可能な解像度に設定を変更してください。 → ネットワーク管理者にご相談ください。
トーン信号は送信できません。	• 相手側の機器がトーン信号に対応していないため、トーン信号を送信できません。 → 相手側の機器の設定を確認するように伝えてください。

表示メッセージ	原因と対応
現在この操作はできません	• 自分側のビデオカメラが、本体がサポートしているビデオカメラではありません。 → 本体がサポートしているビデオカメラを使用してください。詳細については、販売店にお問い合わせください。 • 自分側のビデオカメラがサポートしていない機能を操作しようとしています。例えば、ズーム機能のみサポートしているビデオカメラに対してパン操作を行おうとしています。 → 操作しようとしている機能を自分側のビデオカメラがサポートしているか確認してください。 • 発信元を選択中に、通信タイプを変更しようとしています。 → 発信元の選択を解除してから通信タイプの変更を行ってください。
SIPサーバーアドレスが正しくありません	• SIPサーバーアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいSIPサーバーアドレスを入力してください。SIPサーバーアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
SIPドメイン名が正しくありません	• SIPドメイン名として無効な値を入力しています。 → 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。
WAN側アドレスが正しくありません	• ルーターのWAN側IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいWAN側IPアドレスを入力してください。WAN側IPアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。

表示メッセージ	原因と対応
ゲートキーパーアドレスが正しくありません	• ゲートキーパーアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいゲートキーパーアドレスを入力してください。ゲートキーパーアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
動作ログの保存に失敗しました	• 本機に対応していないUSBメモリーを使用しています。 → 本機に対応しているUSBメモリーを使用してください（133 ページ）。 • 使用しているUSBメモリーの空き容量が不足しています。 → USBメモリーに十分な空き容量（5 MByte以上）があることを確認してから操作を行ってください。
初期設定がされていないため設定できません	• 発信元設定において、ネットワーク設定が完了していない接続モードを選択し保存しようとしました。 → 発信元設定の前に、接続モードを変更し（122 ページ）ネットワーク設定を行ってください（102 ページ）。
障害が発生しました 電源を入れ直してください ※自動的に再起動する場合があります	• 本体内部のソフトウェアの起動に失敗しました。 • 本体内部のフラッシュメモリーへのデータの書き込みに失敗しました。 → 約20秒経過しても自動的に再起動しない場合、電源を一度切り再度入れて本機を再起動してください。再起動後も同じメッセージが表示される場合は、販売店にご相談ください。
WAN側アドレスの取得に失敗しました	• 外部サーバーからのWAN側アドレス取得に失敗しました。 → 販売店にご相談ください。
管理者権限によりこの操作はできません	• 管理者メニューによって操作が制限されています。 → ネットワーク管理者にご相談ください。

その他

こんなとき	原因と対応
画面に「セーフモード」が表示される **お知らせ** • 「セーフモード」が表示中は、ネットワークへの接続ができませんので、通信や一部の設定（自己診断、ネットワーク接続の確認など）は行うことができません。	• SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のビデオカメラを検知しました。 → ビデオカメラを本体から外し、電源を一度切ったあと再度入れ直して本機を再起動してください。ビデオカメラの設定が HD 解像度（1920 × 1080i）になっていることを確認し、再度本体に接続してください。 • SD 解像度（640 × 480p、720 × 480p）のテレビを検知しました。 → テレビを本体から外し、電源を一度切ったあと再度入れ直して本機を再起動してください。テレビの設定が HD 解像度（1920 × 1080i）になっていることを確認し、再度本体に接続してください。 • ビデオカメラまたはテレビの動作周波数が本体の動作周波数の設定と異なります。 → 本体の設定と同じ動作周波数のビデオカメラまたはテレビを使用してください。詳細については、販売店へお問い合わせください。

おもなシステム仕様

映像	圧縮方式		H.264
		対応解像度	• 1920 × 1080p • 1920 × 1080i • 1280 × 720p • 1280 × 540p • 960 × 540p • 768 × 432p • 704 × 480p • 512 × 288p • 352 × 240p
	カメラ入力の対応解像度		1920 × 1080i
	PC信号入力の対応解像度		VGA、SVGA、XGA、HD、WXGA
音声	圧縮方式		MPEG-4 AAC LD、G.711、G.722、G.722.1/G.722.1 Annex C
		音声帯域	• MPEG-4 AAC LD：約200 Hz～約14 kHz（KX-VC300）、約200 Hz～約20 kHz（KX-VC600） • G.711：約200 Hz～約3.4 kHz • G.722、G.722.1：約200 Hz～約7 kHz • G.722.1 Annex C：約200 Hz～約14 kHz
		チャンネル数	• MPEG-4 AAC LD：2 • G.711、G.722、G.722.1、G.722.1 Annex C：1
		ビットレート	• MPEG-4 AAC LD：32 kbit/s（モノラルのみ）、64 kbit/s、96 kbit/s（1CHあたり） • G.711：64 kbit/s • G.722：64 kbit/s • G.722.1：32 kbit/s • G.722.1 Annex C：48 kbit/s、24 kbit/s
	音声処理機能		ステレオエコーキャンセラー
	マイク		バウンダリーマイクロホン（デジタルインターフェイスタイプ） KX-VCA001（別売品）（KX-VC600のみ使用可能） バウンダリーマイクロホン（アナログインターフェイスタイプ） KX-VCA002（別売品）

		標準集音範囲	KX-VCA001：半径約2 m、360° KX-VCA002：半径約1.5 m、300°
		カスケード接続数	4台まで（KX-VCA001のみ）
		集音方式	KX-VCA001：ステレオ／モノラル[*1] KX-VCA002：ステレオ／モノラル[*2]
通信	呼制御		SIP、H.323
	その他		AV QoS制御、暗号通信（AES）
外部I／F	映像入力		HDMI（カメラ）× 2、RGB（PC）× 1（3入力を切り替え）
	映像出力		HDMI × 1、RCA（コンポーネント）× 1
	音声入力		KX-VC300：専用アナログマイク端子 × 1、RCA（ステレオ） × 1、ステレオミニプラグ（ヘッドセット）× 1 KX-VC600：専用アナログマイク端子 × 1、専用デジタルマイク端子 × 1、RCA（ステレオ） × 1、ステレオミニプラグ（ヘッドセット）× 1
	音声出力		RCA（ステレオ）× 1（テレビへの音声出力はHDMI）、ステレオミニプラグ（ヘッドセット）× 1
	ネットワーク		RJ45 × 1
	その他		• カメラ制御用シリアルRS-232C × 1（KX-VC600のみ）（使用しません） • メンテナンス用シリアルRS-232C × 1（使用しません） • USB × 1（USBマスストレージクラス、FAT16／FAT32フォーマット）
外形寸法（幅×奥行き×高さ）			約320 mm × 約230 mm × 約60 mm
質量			約2.0 kg
使用電源			AC 100 ～ 240 V、1.2 ～ 0.6 A、 50／60 Hz
本体入力電源			DC 16 V、2.5 A
消費電力			最大時：約23 W（KX-VC300）、約39 W（KX-VC600）
動作温度			0 ℃ ～ 40 ℃
動作湿度			10 % ～ 90 %（結露なきこと）

[*1] 次の条件をすべて満たす場合、相手側に送る音声はステレオになります。それ以外の場合はモノラルになります。
- HD映像コミュニケーションユニットとSIPでの２地点通信中で、帯域が約1.8 Mbps以上の場合
- ステレオで集音するように、マイク位置を自動または手動で設定した場合（108 ページ、109 ページ）

[*2] 次の条件をすべて満たす場合、相手側に送る音声はステレオになります。それ以外の場合はモノラルになります。
- HD映像コミュニケーションユニットとSIPでの２地点通信中で、帯域が約1.8 Mbps以上の場合
- 専用デジタルマイクと同時に接続しない場合

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

お買い上げ先	
電　話	（　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「困ったとき」（161 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名　HD 映像コミュニケーションユニット

●品　番　KX-VC300/KX-VC600

●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間 ： お買い上げ日から本体 1 年間
ただし、リモコンの乾電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料　診断・修理・調整・点検などの費用

部品代　部品および補助材料代

出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

・正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理をさせていただきます。ただし、落雷や停電などの外部要因、または本装置の故障、誤動作等で、本装置が使えなかったことによる付随的被害の補償については、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
・説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告無しに変更することがあります。

索引

英数字

GUIの設定　131
H.323の設定をする　125
KX-VCS301（4地点接続拡張用アクティベーションキーカード）　95
KX-VCS302（片方向配信拡張用アクティベーションキーカード）　95
KX-VCS401（1080フルHD拡張用アクティベーションキーカード）　95
MCUに接続する　53
MPR IDを確認する　135
Registration Key（レジストレーションキーを登録する）　136
SIPの設定をする　123

あ行

アクティベーションキー　95
アクティベーションキーカード、1080フルHD拡張用（KX-VCS401）　95
アクティベーションキーカード、4地点接続拡張用（KX-VCS301）　95
アクティベーションキーカード、片方向配信拡張用（KX-VCS302）　95
宛先を直接入力して発信する　43
アドレス帳に登録　96
アドレス帳から発信する　41
アドレス帳を削除　99
アドレス帳を編集　98
暗号通信の設定　120
安全上のご注意　11
アンプ／アクティブスピーカー　30
音の設定　108
音質　78
音量　74
お手入れ　160

か行

拡張機能を有効にする　95, 135
　多地点発信を有効にする（KX-VC300のみ）　95
　フルHD解像度での映像送信を有効にする（KX-VC300のみ）　95
各部のなまえとはたらき　19
画面の見かた　32
画面レイアウトを変更する（2地点通信中）　55
画面レイアウトを変更する（3地点通信中）　57
画面レイアウトを変更する（4地点通信中）　60
管理者パスワードの設定　119
機器情報　93, 115
機器名称の設定　101
言語の設定　113
コーデックの設定　129
困ったとき　161

さ行

サブビデオカメラの映像を共有する　87
自己診断を行う　116
システムの初期化を行う　139
自動応答　51
手動応答　50
仕様　180
肖像権　16
状態ランプ　24
情報の保護　16
スクリーンスタンバイ　25
スクリーンスタンバイの設定　107
セキュリティー　16
接続
　アンプ／アクティブスピーカー　30
接続状況　92
接続端子　20
専用マイク　24

た行

他社製のテレビ会議システムと接続する　52
多地点発信を有効にする（KX-VC300のみ）　95
短縮ダイヤルで発信する　38
着信に応答する　50
通信タイプの設定　122
通信の設定　104
通信履歴から発信する　46
電源ボタン　19
電池交換　159
同梱物　17

な行

日時の設定　102
ネットワークの設定　102
ネットワーク接続の確認を行う　115
ノイズを減らす（KX-VC600のみ）　77

は行

バージョンアップ確認の設定　121

バウンダリーマイクロホン
　専用アナログマイク　24, 26
　専用デジタルマイク　24, 26
パソコンの画面を共有する　79
発信する　38
発信元の設定　140
ビデオカメラを操作する　63
プライバシー　16
フルHD解像度での映像送信を有効にする
（KX-VC300のみ）　95
ヘッドセット　29
別売品　24
ボタン
　電源　19
　リモコン　22

ま行

マイク位置の設定（KX-VC600のみ）　108
マイクオフ　75
文字入力　147

ら行

リモートメンテナンスを行う　117
リモコン　22
リモコンの設定　111

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531　福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2011

PNQX3798UA　DD0411AK5093